CEATEC JAPAN 2014 実施報告書

NEXT – 夢を生みだし、未来を描け

シーテックジャパン2014

10.7 火 ▶10.11 土 幕張メッセ

■主　催：CEATEC JAPAN 実施協議会

CIAJ 一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会

JEITA 一般社団法人電子情報技術産業協会

CSAJ 一般社団法人コンピュータソフトウェア協会

CEATEC JAPAN 2014
トピックス

■来場者数、約1万人増加（前年比）

会期5日間を通して来場者数が約1万人（前年比6.8%）増加した。

• Visitors

来場者：150,912名

※リピータを含まない登録来場者／登録プレスと出展関係者の総数

■最先端IT・エレクトロニクス技術、電子部品・デバイスが一堂に会す唯一無二の総合展

新しいライフスタイルを彩る多様なIT･エレクトロニクス技術や最先端の電子部品･デバイス技術が一堂に会し、その進化と業界を超えた利活用を、豊富な企画力をもとに「わかりやすく工夫」した展示･企画が展開された。

• Exhibitors

出展者：547社／団体

■テクノロジとイノベーションを支える様々な企画が展開

特別企画展示のNEXTイノベーションプラザでは、新しい取り組みとしてベンチャーエリアの設置などと共にオープンステージで40余りのセッションを開催した。また、技術者同士の交流を目指したテーマ別のわかりやすいブースガイドツアーも初めて展開した。CEATECコンファレンスでは、100件以上のセッションに、述べ17,500名余りの聴講者が集まった。自動運転、IoT、ウェアラブル、ヘルスケアなどのテーマセッションは定員を上回り盛況であった。

• Conference

コンファレンス聴講者：17,558名

※国際会議場開催セッション聴講者述べ数

• NEXT Innovation Plaza

オープンステージ聴講者：4,271名

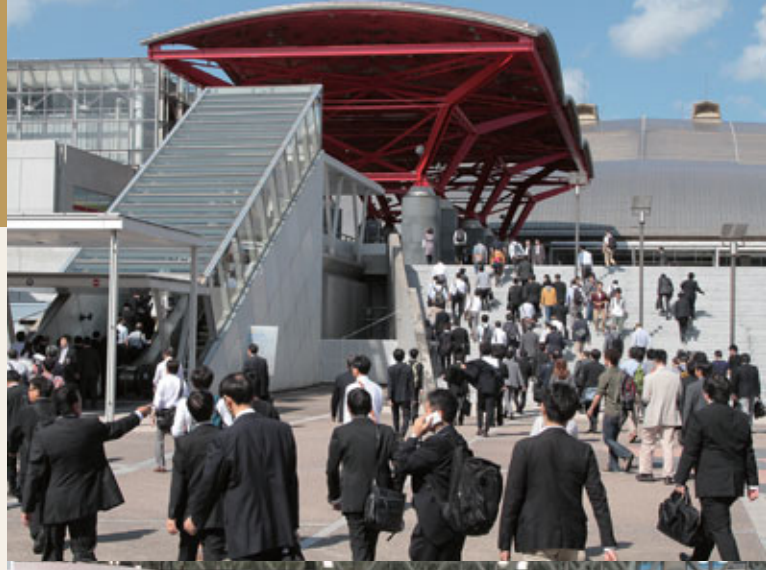
※展示ホール4 セッション聴講者述べ数

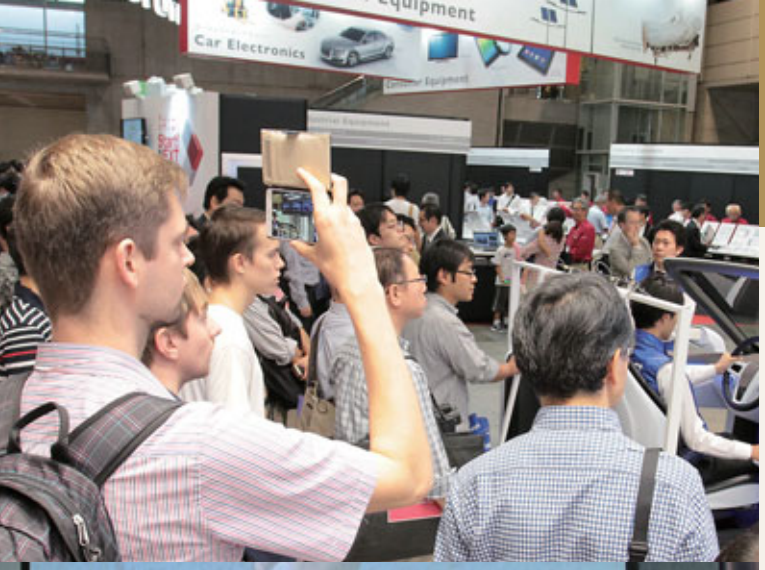
■世界のメディアが注目

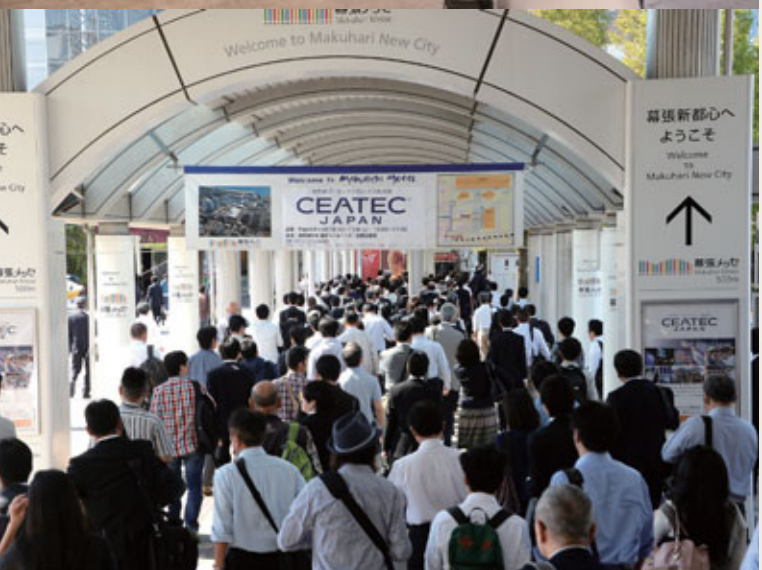
映像関連技術･ICT関連技術、各種センサ技術に加え、新機軸のロボット、ウエアラブル、次世代カー、モビリティや、各種センサ技術に国内外のメディアから注目が集まった。海外メディアにおいてもBBC WORLDの生中継、フランス2の放映を始めとする多くのメディアが取り上げ、広範な情報展開が積極的に行われた。

• Press Visitors

登録来場プレス：1,546名







CEATEC JAPAN 2014
トピックス

■さまざまな国／地域から参加

台湾、中国、韓国、香港、アメリカ、ヨーロッパ地域からはもとより、シンガポール、インド、インドネシア、スリランカ、フィリピンなどアジア各国からも出展があり、全世界から24ヵ国／地域の出展があった。

• Exhibitors

海外出展者：
150 社／団体（24カ国／地域）

※全出展者より内訳として算出
※国／地域数は日本を除く

■国内外のエグゼクティブ、キーパーソンが一堂に

ユーザ・出展企業／団体のトップ、政府関係者、学術関係者など、国内外から多数のエグゼクティブやキーパーソンが来訪。ブース視察、コンファレンス、パネルディスカッションへの参加などを通じ、最新・最先端の技術を体感し、IT・エレクトロニクスの今後の利活用について熱い議論を戦わせた。

• VIP

VIP 登録来訪者：655 名

CEATEC JAPAN 2014は、10月7日（火）から10月11日（土）までの5日間、千葉市・幕張メッセにおいて、経済産業省、総務省、日本放送協会など25省庁・団体の後援、51団体の協賛により開催した。

今年で15回目を迎えた CEATEC JAPAN は、「NEXT- 夢を生みだし、未来を描け」をテーマに、「ライフ＆ソサエティ ステージ」、「キーテクノロジ ステージ」、特別企画「NEXT イノベーション プラザ」、「コンファレンス」などに業界を代表するキーパーソンや今後の技術革新を担うエンジニアなどが集い、様々な産業やアプリケーションに向けてシームレスに展開する IT・エレクトロニス技術の動向を見据えるとともに、多種多様なビジネス展開につながる情報交流の場として活用された。

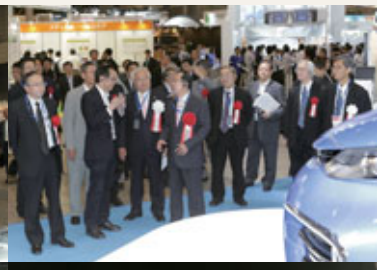
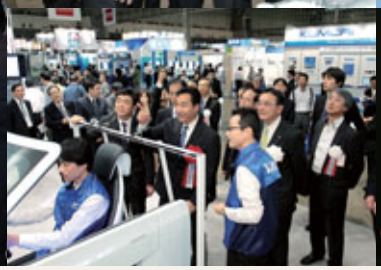
展示では、これまでのデジタル家電を軸とした展示から、さらに、IT・エレクトロニクスの進化と幅の広さが伺える自動車やロボット、ウエアラブルに関する技術など、様々な分野での活躍が期待される IT・エレクトロニクスの広がりと期待感を感じられる展開が数多く見られた。

開催テーマの「NEXT- 夢を生みだし、未来を描け」を象徴するかのように、未来・社会・暮らし・快適・安全・スマート・環境・健康・対話型と、これからの IT・エレクトロニクス技術の展望・未来・可能性・当該産業の将来価値を実感できる場となった。

CEATEC JAPAN 2014 オープン！

平成26年10月7日（火）、最先端 IT・エレクトロニクス総合展である CEATEC JAPAN2014 が盛大に開幕しました。
ホテルニューオータニ幕張「鶴の間」では、オープニングレセプションが開催され、幕開けを飾るテープカットセレモニーや、CEATEC AWARD2014の各大臣賞の発表、表彰式がとり行われました。

オープニングレセプション会場には経済産業省、総務省、内閣府などの政府関係者、国会議員、NHK などの放送局、学術関係者、ユーザー企業、出展企業のトップなど業界を代表するエグゼクティブ、キーパーソン431名が出席しました。
オープニングレセプションの前後では数多くの VIP がブース視察をされ、IT･エレクトロニクスの利活用による既存産業の拡大、さらには他分野との融合による新産業の創出につながるさまざまなテクノロジとイノベーションのパワーを共有しました。

■主催者代表挨拶

「IT エレクトロニクス産業の展望・未来・可能性・将来価値を実感できる場に」

CEATEC JAPAN 実施協議会　会長　佐々木 則夫

CEATEC JAPAN は、最先端の IT エレクトロニクスの最新情報を発信する展示会として、国内外から大きく注目されており、15回目を迎える今年は、世界24カ国・地域から出展します。情報通信産業は、経済を牽引するとともに、産業・雇用を支える基幹産業のひとつです。世界が抱える課題に ICT の利活用で対応し、安心・安全・快適な社会を実現し、未来を切り開いていきたいと考えます。

今回は「NEXT- 夢を生みだし、未来を描け」をテーマに、最先端技術とイノベーションを集結して、これからの IT エレクトロニクス産業の展望、未来、可能性、将来価値を実感できる場を提供し、また、他産業との融合により成長が期待されるモビリティ、ヘルスケア、エネルギー、ウエアラブル、ロボティクスなど、技術革新や新しいライフスタイルなどを発信します。また、特別企画展示である NEXT イノベーションプラザにおいては、IT エレクトロニクスの技術力と新事業の創出をアピールします。（以上、抜粋）

■来賓挨拶

「2020年に向けて、世界最先端の社会全体 ICT 化を推進」

総務副大臣　西銘 恒三郎 様

現在の日本の最重要課題として、デフレ脱却、経済再生は最優先であり、景気回復の実感を日本全国に届けることが内閣の使命です。経済の好循環を着実に回転させるためにも、経済活動の基盤となっている ICT の力を伸ばすことが重要です。今回の展示会が新しい ICT 活用の起爆剤となるよう成長を祈念しています。

ICT による技術革新の力により世界で最もアクティブな国を実現するためにも、今年6月、スマートジャパン ICT 戦略を取りまとめました。この戦略は日本再興戦略としても大きな役割を担っています。2020年に開催されるオリンピック・パラリンピックでは、世界各国の人々に世界最高水準の ICT 環境を楽しんでもらうとともに、国内外に日本の高い技術力と企画力をアピールする重要な機会となります。2020年に向けて、産学、関係省庁と連携しながら、世界最先端の社会全体 ICT 化を推進していきたい。（以上、抜粋）

「CEATEC JAPAN が激烈な化学反応を引き起こす場となり新しい成長戦略へ」

経済産業副大臣　山際 大志郎 様

安倍政権が発足して約2年。アベノミクスの3本目の矢である成長戦略は、これまでの成長戦略とは異なり、日々進化をさせていくものであり、その最も重要なパートを IT が担っています。

日本は世界に先駆けて多くの課題に直面しています。エネルギー問題、老朽化したインフラ問題、超高齢化社会、これらの課題を確実に解決していくことが、日本経済を再生させていくものであり、IT 分野がこれらの課題解決の糸口となる最も重要なパートであると確信しています。

エネルギー、モビリティ、ヘルスケア、農業など、IT とは今まで直接関係ない分野において、IT が活用されています。今回の展示でもこれら各分野の展示が多く見られます。各分野において、IT が触媒となって引き起こされる化学反応。この CEATEC JAPAN が、激烈な化学反応を引き起こす場として機能することを期待しています。また、その結果、新しい成長戦略が生まれることを期待しています。（以上、抜粋）

CEATEC AWARD 2014

今年で4回目となるCEATEC AWARDは、CEATEC JAPAN出展企業より応募された出展製品・技術・サービスについて、学術領域・メディア領域を代表する審査委員が厳正な審査により決定しています。今年は88件の応募があり、以下の各賞が授与されました。経済産業大臣賞、総務大臣賞は初日のオープニングレセプションで発表され、各部門賞の授賞式は10月9日に会場のオープンステージで行なわれました。受賞された各賞は国内外でも広く紹介され、年々その価値を高めています。

総務大臣賞

フルスペック8K液晶ディスプレイ
シャープ株式会社

経済産業大臣賞

【世界初】多数の需要家蓄電池を束ねてコミュニティグリッドを構築するエネルギークラウド技術　日本電気株式会社

グランプリ ライフスタイル・イノベーション部門

シースルーモバイルビューアー
MOVERIO BT-200、BT-200AV
エプソン販売株式会社

▼準グランプリ
ガラポンTV四号機
ガラポン株式会社

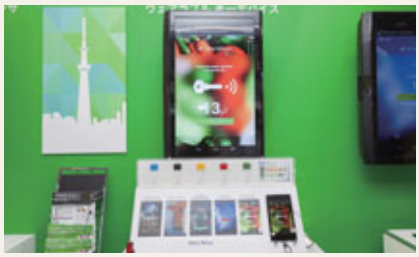
▼準グランプリ
ポータブルSIM
株式会社NTTドコモ

グランプリ ソーシャル・イノベーション部門

屋内位置情報サービス「TAGCAST」
株式会社タグキャスト

▼準グランプリ
アダプティブ・ドライビング・ビーム
スタンレー電気株式会社

▼準グランプリ
Wearable Key Device
ローム株式会社



グランプリ テクノロジ・イノベーション部門

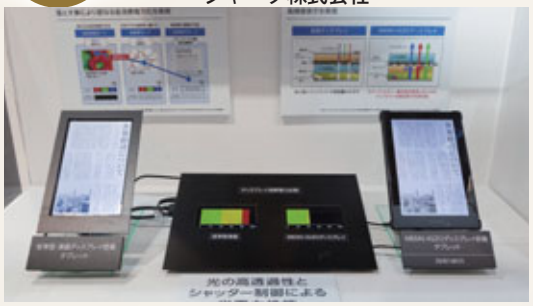
新動画圧縮規格HEVC再生用システムLSI
パナソニック株式会社 システムLSI事業部

▼準グランプリ
MEMS気圧センサ
株式会社村田製作所

▼準グランプリ
超薄板ガラス-樹脂積層体<Lamion®>/超薄板ガラス<G-Leaf®>
日本電気硝子株式会社

グランプリ
グリーン・イノベーション部門

MEMS-IGZO ディスプレイ搭載 タブレット
シャープ株式会社



▼準グランプリ
世界初！調色・調光型 メーク用有機EL照明「OLE-B01」
パイオニア株式会社

▼準グランプリ
環境発電型発電モジュール
オムロン株式会社

審査員特別賞

腹腔鏡下触診システム
名古屋工業大学 佐野・田中研究室

■審査委員総評

CEATEC AWARD2014 審査委員会　一般社団法人 電子情報通信学会 会長　**酒井善則** 氏

今年も IT･エレクトロニクス分野の川上から川下まで幅広い領域からの昨年を上回る応募があり、審査は白熱したものになった。グランプリ、準グランプリ、審査員特別賞を受賞された製品は、イノベーション性に富んだ優れた技術力を発揮したものであり、日本発のイノベーションを世界に発信するにふさわしい製品、技術であると審査委員会が評価するものである。

受賞した製品だけでなく、応募のあった数多くの製品は、IT エレクトロニクス分野の未来と可能性を予感させる多様なものであり、開発に携わった研究者、技術者の努力の結晶であると思う。今後とも CEATEC JAPAN と CEATEC AWARD のよりいっそうの発展を願うものである。（以上、抜粋）

■審査委員会構成メンバー（順不同）

酒 井 善 則 氏（一般社団法人電子情報通信学会 会長）
村 上 篤 道 氏（一般社団法人電子情報通信学会 企画室長・理事）
白 木 靖 寛 氏（公益社団法人応用物理学会 元会長）
相 澤 清 晴 氏（一般社団法人映像情報メディア学会 副会長）
中 田 登 志 之 氏（一般社団法人情報処理学会 副会長）
新　　誠 一 氏（一般社団法人電気学会）
室 山 哲 也 氏（日本放送協会 解説委員）
関 口 和 一 氏（日本経済新聞社 論説委員兼編集委員）
林　　哲 史 氏（日経 BP 社 日経 BP イノベーション ICT 研究所 副所長）
石 田 雅 也 氏（アイティメディア株式会社 EM インダストリー事業部 エグゼクティブプロデューサー）

米国メディアパネル・イノベーションアワード2014

世界中のテクノロジ・イノベーションに精通する6名ジャーナリストが、CEATECJAPAN 2014 会場で各ブースを取材し、ファイナリスト30件の中から、10部門の部門賞および、その中からグランプリを選考しました。表彰式は10月9日オープンステージで行なわれました。受賞された各賞は特に米国メディアで多く紹介され、世界中に伝播されています。

■受賞者一覧

部門	受賞製品／技術／サービス	受賞企業名
Grand-Prix	**卓球ロボット**	**オムロン株式会社**
Home Entertainment 分野	テクニクス R1	パナソニック株式会社
Electronic Components 分野	センサネットワークモジュール	アルプス電気株式会社
Digital imaging 分野	暗視カラーカメラ	シャープ株式会社
Computing and Networking 分野	USB POWER DELIVERY	ローム株式会社
Software 分野	卓球ロボット	オムロン株式会社
Mobile Technology 分野	メガネ型ウェアラブル「東芝グラス」	株式会社東芝
Transportation 分野	LED ヘッドライト	マツダ株式会社
Health and Household 分野	Wheelchair	WHILL 株式会社
Smart community 分野	サテライトプログラム	三菱電機株式会社
Industrial Design 分野	インホイールモーター X-mobility	株式会社デンソー

■米国メディアパネル（審査員）メンバー

マイケル・カネロス 氏（審査員長）　Michael Kanellos　**-Greenbiz.com,Forbes.com（Chairman）**
ヒュバート・ニューエン 氏　Hubert Nguyen　**- Co-founder, Ubergizmo.com**
ティム・スティーブンス 氏　Tim Stevens　**- Editor at Large, CNET**
リチャード・レイ 氏　Richard Lai　**- Senior Editor,Engadget**
津山 恵子 氏　Keiko Tsuyama（Ms.）　**- Freelance Journalist**
アシーム・チャブラ 氏 Aseem Chhabra　**- Freelance Journalist, Rediff.com, Quartz.com**

NEW

特別企画展示

NEXT イノベーションプラザ

“スマート”化が実現したエレクトロニクスと
情報通信技術によるプラットフォームづくり。
その先にある新たな社会モデルのビジョンを提案。

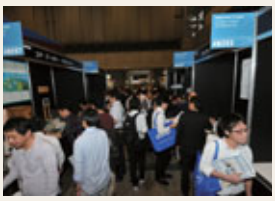
近未来の社会全般を鳥瞰しつつ、その先にある新たな社会モデルのビジョンやイノベーションを、モビリティ・エネルギー・ロボティクス・ヘルスケア・ウェアラブル・ソフトウェア＆コンテンツ、データマネージメント、セキュリティ＆サーベイランスなどをテーマに、様々な角度から提案しました。

モビリティ　エネルギー／環境　ロボティクス　ヘルスケア・医療　ウェアラブル　ソフトウェア／コンテンツ　データマネジメント　セキュリティ／サーベランス

NEW オープンステージ

会期中を通じて、出展企業をはじめ、今注目のベンチャー企業などが、多種多様な内容で全39セッションが行われ、CEATEC JAPAN の新たな情報発信の場として注目されました。
※ステージプログラムは P33～ P34を参照。

NEW ベンチャーエリア



Towoard2020(T3) プロジェクトや、独立行政法人情報通信研究機構の出展を含め、多彩な取り組みを見せる25のベンチャー企業や団体がブースを立ち上げました。展示コーナーには来場者が途絶えることがなく、新たなプレーヤの芽吹きによる社会変革への可能性が感じられました。※ミニステージプログラムは P35を参照。

NEW ユニバーシティエリア

国公立大学、共同研究室チームなど12のブースが日頃の研究成果を発表。ベンチャーエリアと隣接して日本の元気と未来への可能性をアピールしました。※ミニステージプログラムは P35を参照。

■デジタルヘルスケア・プラザ

企　画：Parsonal Connected Health Alliance
（展示ホール3）

NEW

■ CSAJ ソフトウエア イノベーションプラザ

企　画：一般社団法人コンピュータソフトウェア協会（CSAJ）
（展示ホール4）10/7（火）-10/10（金）

■クラウドコンピューティングプラザ

企　画：クラウド･ビジネス･アライアンス（CBA）
（展示ホール4）10/7（火）-10/10（金）

■商工会議所ビジネススクエア

企　画：東京商工会議所 他
（展示ホール4）10/7（火）-10/10（金）

■プログラマブルデバイスプラザ

企　画：プログラマブルデバイス委員会
（展示ホール4）10/7（火）-10/10（金）

NEW 技術者交流企画ガイドツアー

技術者交流促進イベントとして新たに実施した当ガイドツアーは、IT･エレクトロニクスを専門的に取り扱うジャーナリストがツアーガイドとして案内をするエネルギーマネジメントツアー、ウェアラブル＆ヘルスケアツアー、モビリティツアー、ガジェットツアーなどを企画し、総勢205名の来場者が参加しました。各ツアーともに出展ブースを訪問し、各社の技術紹介･質疑応答などを通じて交流を深めました。

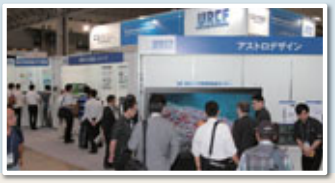
〔協力〕
EPSON EXCEED YOUR VISION　HONDA The Power of Dreams
EDN Japan　EE Times Japan　MONOist

特別企画展示（展示ホール2）

■8K スーパーハイビジョンとハイブリッドキャストのワクワクを体感
企　画：日本放送協会（NHK）、一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）

■ HATS PLAZA
企　画：一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会（CIAJ）

■コンテンツ・エクスペリエンス・ゾーン
企　画：超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム



土曜日特別イベント

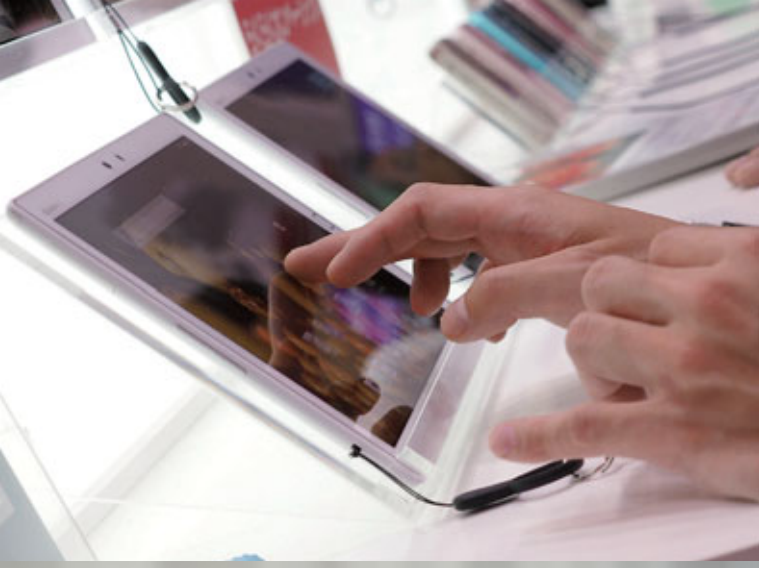
土曜日には次世代育成を主眼とした特別イベントを開催しました。会場内では、スケルトニクス株式会社、WHLL 株式会社の協力による体験イベントや「ジュニア＆キッズ 作って学ぶ体験教室」を開催し、IT･エレクトロニクス業界への興味･関心を促しました。業界研究セミナーでは今後の当該産業を担う学生に向けて、企業の第一線で活躍する技術者から直接、IT･エレクトロニクス業界で働くことの魅力を伝えました。

■全日本ロボット相撲大会　関東大会

10/11（土）　展示ホール4
主催：富士ソフト（株）、（公社）全国工業高等学校長協会
◎紙ヒコーキ教室：参加費無料

■ CEATEC JAPAN 2014学生向けイベント　業界研究セミナー

『世界のインフラに貢献するIT・エレクトロニクス業界の現状と未来』
10/11（土）13:00～15:00　国際会議場201会議室
主催：一般社団法人電子情報技術産業協会、
　　IT・エレクトロニクス人材育成検討会



Contents

CEATEC JAPAN 2014 トピックス *Topics*

開催トピックス…… 01

オープニングレセプション…… 03

CEATEC AWARD 2014 …… 05

米国メディアパネル･イノベーションアワード2014… 06

NEXT イノベーションプラザ …… 07

展示エリア *Exhibition*

展示カテゴリ…… 10

会場図…… 11

出展者リスト…… 15

ピックアップ 1 ー出展傾向 …… 17

ピックアップ 2 ー CEATEC ニュース …… 23

コンファレンス／セミナー *Conference/Seminar*

コンファレンスプログラム…… 27

ステージプログラム *Stage Program*

オープンステージプログラム …… 33

ベンチャーエリア／ユニバーシティエリア
ミニステージプログラム…… 34

実績データ *Results*

出展、アンケート結果…… 36

来場者内訳、アンケート結果…… 37

広報・プロモーション…… 39

公式 Website …… 41

開催概要…… 42

展示カテゴリ Exhibition Category

■ライフ＆ソサエティ ステージ

さまざまな産業に向けてシームレスに展開し、さまざまな生活シーンをシームレスにつなぐ、明日の暮らしと社会を提案する「ライフ＆ソサエティ ステージ」。我々の生活をより豊かに、より快適にするテクノロジ・プロダクト・サービスなどが紹介され、国内外から注目を集めた。

ホームエンタテインメント＆映像ネットワーク

スマートテレビ、デジタルテレビ、モニタ、レコーダ／プレーヤ、ホームサーバ、ストレージ、ホームプロジェクタ、ホームシアターシステム、オーディオ製品、サラウンドシステム、デジタルオーディオプレーヤ、ゲーム・プラットフォーム、CATV、地上波、BS、CS 放送関連サービス、IPTV、FTTH、ブロードバンド、次世代通信サービス、映像配信サービス、各種エンターテインメントコンテンツ、デジタルコンテンツ、次世代映像技術、業務用映像システム、大型映像システム、デジタルシネマ、デジタルサイネージ、その他関連製品、システム・サービス、ソフトウェア

パーソナルデジタルツール＆モバイルネットワーク

スマートフォン、携帯電話、PHS、モバイル PC、タブレット、電子書籍、スマートフォン／タブレットアプリケーション、スマートフォン／タブレットアプリケーション開発サービス、デジタルスチルカメラ、デジタルビデオカメラ、ポータブルゲーム機、ポータブルデジタルオーディオプレーヤ、電子辞書、無線ブロードバンドサービス（WiMAX、LTE、Wi-Fi）、無線通信技術・製品（Bluetooth®、Zgbee、NFC、TransferJet、他）、無線 LAN 関連技術・製品、パソコン、パソコン周辺機器（プリンタ、スキャナ、記録メディア、記録装置、他）、スマートフォン／タブレットアクセサリ、スマートフォン／タブレット周辺機器、その他関連製品、システム・サービス、ソフトウェア

スマートオフィス＆ビジネスネットワーク

クラウドコンピューティングサービス、SaaS、ASP、PaaS、IaaS ／ HaaS、データセンター（IDC）、仮想化ソリューション、グリッドコンピューティング、サーバ、ストレージ（メインフレーム、ミッドレンジ、IA サーバ、ネットワークストレージ）、OS、ミドルウェア、アプリケーション、データベース、BI、ETL、OLAP、DWH、ナレッジマネジメント、グループウェア、ERP、SCM、CRM、SFA、クライアント、パソコン、パソコン周辺機器、情報端末、OA 機器、ビジネス関連機器（ボタン電話装置、PBX、事業所用コードレスホン、ビジネスファクシミリ、PDA）、インフラ関連機器（局用交換機、デジタル伝送装置、固定通信装置、基地局通信装置）、インターネット関連機器（モデム、光アクセス機器、ハブ、ルータ、LAN・WAN）、ネットワークサービス、Web サービス、Web ／テレビ会議、ネットワークカメラ、ソフトフォン、IP-Phone、VoIP、IPv6関連、M2M 関連システム・サービス、M2M デバイス関連、情報セキュリティ、設計・開発、運用管理、アウトソーシング、コンサルティング、グリーン IT（省電力ハードウェア、省電力化ソフトウェア、サービス）、エコオフィス、その他関連製品、システム・サービス、ソフトウェア

スマートハウス

家庭用太陽光発電システム、家庭用燃料電池システム、家庭用蓄電システム、給電システム、HEMS、スマートハウス、ホームソリューション（PLC、他）、関連システム、ホームセキュリティシステム、ネットワーク家電、白物（生活）家電、住宅設備、その他関連システム・サービス、ソフトウェア

スマートモビリティ

EV、HEV、PHV、FCV 関連システム、バッテリ、車内ネットワークシステム、エネルギー供給システム（急速充電器、ワイヤレス充電システム、複数台充電システム、充電装置関連機器、バッテリーモータマネジメント関連）、ITS、テレマティクス、交通関連システム・サービス、カー AVC 機器（カーオーディオ、カーナビゲーションシステム、PND）、車載コンピュータ、センシング・モニタリング、その他関連製品、システム・サービス、ソフトウェア

スマートコミュニティ

再生可能エネルギー（太陽光、風力、水力、地熱、バイオマス）、新エネルギー関連、蓄電池、蓄電システム、燃料電池、スマートメータ、電力制御、スマートグリッド関連システム、通信ユニット、ホームワイヤレス、各種電力・エネルギー機器、BEMS 関連システム、ゼロエミッションビル（ZEB）、スマートタウン、次世代社会関連システム・サービス、エネルギーハーベスティング、その他関連製品、システム・サービス、ソフトウェア

社会・生活システム＆先端技術

ヘルスケア医療関連システム・サービス、社会福祉システム・サービス、セキュリティ技術・システム・サービス（個人認証、生体認証、映像監視、防災・自然災害対策、公共セキュリティ）、e ラーニング、教育関連システム・サービス、行政・金融関連システム・サービス、RFID システム（RFID リーダ／ライタ、RFID プリンタ、RF タグ、RF チップ）、流通・物流関連システム・サービス、トレーサビリティシステム、生産技術、社会インフラ技術、アグリテクノロジ、産業技術、ロボット技術、業務支援ロボット、生活支援ロボット、コミュニケーションロボット、宇宙科学技術、ナノテクノロジ、バイオメトリクス、バイオテクノロジ、科学技術、先端技術、研究発表、その他関連製品、システム・サービス、ソフトウェア、ライフ＆ソサエティ関連で上記に含まれないその他

■キーテクノロジ ステージ

世界最先端の電子部品・デバイスを紹介する「キーテクノロジ ステージ」。さまざまな産業・分野のイノベーションを支えている電子部品・デバイス・電池・原材料・装置などを紹介。「世界最先端の電子部品・デバイス展示会」として注目された。

電子部品・半導体・デバイス

- **受動部品関連**
  受動部品（抵抗器、コンデンサ、トランス、コイル、振動子、発振子、フィルタ）、ノイズ対策部品、その他受動部品関連
- **機構部品関連**
  接続部品（コネクタ、スイッチ、リレー）、プリント回路基板、プリント配線板、その他機構部品関連
- **機能部品関連**
  変換部品（音響部品、磁気ヘッド、モータ、センサ／アクチュエータ）、高周波部品（デジタルチューナ、RF モジュール）、その他機能部品関連
- **電源関連**
  アダプタ／チャージャー、スイッチング電源、その他電源関連
- **半導体・半導体デバイス関連**
  ディスクリート（個別半導体）、オプトエレクトロニクス（光デバイス）、マイクロ波デバイス、センサ／アクチュエータ、IC（メモリ・マイコン・ロジック IC、アナログ IC）、ハイブリッド IC、パワー半導体、ハードウェア設計ソリューション、ソフトウェア設計ソリューション、MEMS、その他半導体・半導体デバイス関連
- **ディスプレイデバイス関連**
  液晶ディスプレイ（LCD）、無機 / 有機 EL ディスプレイ（EL）、LED ディスプレイ、LED 素子（照明用、街路灯用、LCD バックライト用、車載用、携帯電話／モバイル機器用、遊技機用、信号機用）、FED ディスプレイ、蛍光表示管（VFD）、タッチパネル、その他ディスプレイデバイス関連

電池・原材料・装置

- **電池関連**
  燃料電池、リチウムイオン電池、ニッケル水素電池、太陽電池セル、モジュール、その他電池関連
- **材料・素材関連**
  金属材料・素材金属材料・素材、セラミックス材料・素材、実装材料・磁性材料、その他材料・素材関連
- **装置関連**
  電子計測器、検査・試験装置、製造装置、実装関連機器・システム、実装デバイス・部品、その他装置関連
- **社会システム＆先端技術関連**
  自動車用エレクトロニクス、環境・エネルギー関連技術、ヘルスケア医療関連技術、ナノエレクトロニクス、ナノテクノロジ、バイオメトリクス、バイオテクノロジ、科学技術、先端技術、要素技術、研究発表、産学、知財、人材、自治体、地域産業、電子技術系書籍・ソフト・サービス、その他技術関連、キーテクノロジー関連で上記に含まれないその他

■特別企画：NEXT イノベーションプラザ

“スマート”化が実現したエレクトロニクスと情報通信技術によるプラットフォームづくり。その先にある新たな社会モデルの様々なビジョンが紹介され、CEATEC JAPAN の新機軸として注目された。

モビリティ

EV、HEV、PHV、FCV、電動バイク、次世代ビークル、ネットワークサービス、ITS、テレマティクス、カーナビゲーション、PND、車載コンピュータ、車内ネットワーク、バッテリ、エネルギーシステム、スマートモビリティ社会システム、環境関連技術、安全関連技術、車載半導体、センサ、関連製品・部品・材料・技術・ソフトウェア等

エネルギー

蓄エネ（家庭用蓄電池）、省エネ（省エネ家電）、スマートハウス（スマートメータ）、HEMS、PLC 関連、創エネ（太陽光電池、家庭用燃料電池）、ホームアプライアンス、照明、デザイン家電、インテリア、コンテンツ、サービス等

ロボティクス

ヒューマノイドロボット、コミュニケーションロボット、サービスロボット、自律型輸送ロボット、生活支援ロボット、自立移動ロボット、その他関連ロボット、制御技術、応用システム、関連ソリューション、関連部品、関連ソフトウェア等

ヘルスケア

家庭用医療機器、ブレイン・マシン・インタフェース（BMI）、健康管理機器、フィットネス関連機器、その他健康づくり関連、遠隔医療システム、医療情報システム、関連端末関連製品・部品・材料・技術・ソフトウェア等

ウェアラブル

ウェアラブル端末、関連製品、ソフトアプリケーション、関連部品、関連技術等

ソフトウェア＆コンテンツ

ソフトウェア、スマートエデュケーション、在宅教育システム、電子書籍化ソース、動画 / 音楽コンテンツ・ストリーミング等

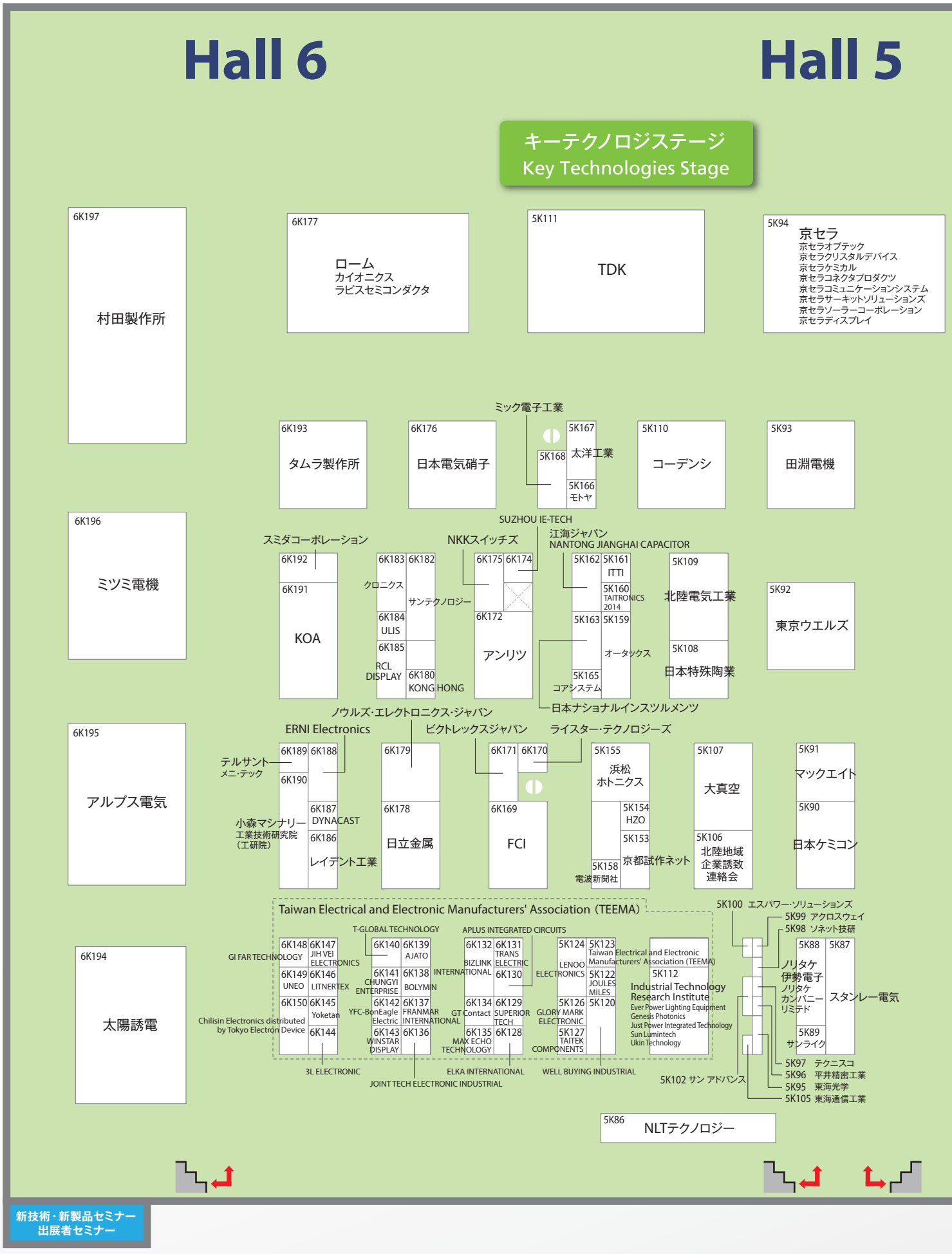
データマネージメント

自動データ解析～構築、食物生産、物流、スマート・ショッピング、ポスシステム、IC&RFID、キャッシュ・レジスター、ベンディング・マシーン、データマネジメントプラットフォーム、クラウド＆データストレージ、集中ホスティング等

セキュリティ＆サーベイランス

防災防犯、高齢者・子供・ペットのモニタリング、ワイヤレス通信、調査、追尾、公共インフラ、緊急対応等

会場図


Hall 6
Hall 5
キーテクノロジーステージ
Key Technologies Stage
6K197 村田製作所
6K177 ローム カイオニクス ラピスセミコンダクタ
5K111 TDK
5K94 京セラ 京セラオプテック 京セラクリスタルデバイス 京セラケミカル 京セラコネクタプロダクツ 京セラコミュニケーションシステム 京セラサーキットソリューションズ 京セラソーラーコーポレーション 京セラディスプレイ
ミック電子工業
6K193 タムラ製作所
6K176 日本電気硝子
5K167 5K168 太洋工業 5K166 モトヤ
5K110 コーデンシ
5K93 田淵電機
6K196 ミツミ電機
SUZHOU IE-TECH
スミダコーポレーション
NKKスイッチズ
江海ジャパン NANTONG JIANGHAI CAPACITOR
6K192 6K191 KOA
6K183 6K182 クロニクス サンテクノロジー
6K184 ULIS
6K185 RCL DISPLAY
6K180 KONG HONG
6K175 6K174 6K172 アンリツ
5K162 5K161 ITTI
5K160 TAITRONICS 2014
5K163 5K159 オータックス
5K165 コアシステム
5K109 北陸電気工業
5K108 日本特殊陶業
5K92 東京ウエルズ
日本ナショナルインスツルメンツ
6K195 アルプス電気
ノウルズ・エレクトロニクス・ジャパン
ERNI Electronics
ビクトレックスジャパン
ライスター・テクノロジーズ
テルサント メニ・テック
6K189 6K188 6K190
小森マシナリー 工業技術研究院（工研院）
6K187 DYNACAST
6K186 レイデント工業
6K179 6K178 日立金属
6K171 6K170 6K169 FCI
5K155 浜松ホトニクス
5K154 HZO
5K153 京都試作ネット
5K158 電波新聞社
5K107 大真空
5K106 北陸地域企業誘致連絡会
5K91 マックエイト
5K90 日本ケミコン
6K194 太陽誘電
Taiwan Electrical and Electronic Manufacturers' Association（TEEMA）
T-GLOBAL TECHNOLOGY
APLUS INTEGRATED CIRCUITS
GI FAR TECHNOLOGY
6K148 6K147 JIH VEI ELECTRONICS
6K149 UNEO 6K146 LITNERTEX
6K150 6K145 Yoketan
Chilisin Electronics distributed by Tokyo Electron Device 6K144
6K140 6K139 AJATO
6K141 CHUNGYI ENTERPRISE 6K138 BOLYMIN
6K142 YFC-BonEagle Electric 6K137 FRANMAR INTERNATIONAL
6K143 WINSTAR DISPLAY 6K136
6K132 BIZLINK INTERNATIONAL 6K131 TRANS ELECTRIC 6K130
6K134 GT Contact 6K129 SUPERIOR TECH
6K135 MAX ECHO TECHNOLOGY 6K128
5K124 LENOO ELECTRONICS 5K123 Taiwan Electrical and Electronic Manufacturers' Association (TEEMA)
5K122 JOULES MILES
5K126 GLORY MARK ELECTRONIC 5K120
5K127 TAITEK COMPONENTS
5K112 Industrial Technology Research Institute
Ever Power Lighting Equipment
Genesis Photonics
Just Power Integrated Technology
Sun Lumintech
Ukin Technology
5K100 エスパワー・ソリューションズ
5K99 アクロスウェイ
5K98 ソネット技研
5K88 5K87 ノリタケ伊勢電子 ノリタケカンパニーリミテド スタンレー電気
5K89 サンライク
5K97 テクニスコ
5K96 平井精密工業
5K95 東海光学
5K105 東海通信工業
5K102 サン アドバンス
3L ELECTRONIC
JOINT TECH ELECTRONIC INDUSTRIAL
ELKA INTERNATIONAL
WELL BUYING INDUSTRIAL
5K86 NLTテクノロジー
新技術・新製品セミナー 出展者セミナー

Hall 4

カスタマーラウンジ

NEXTイノベーションプラザ
オープンステージ

4 Hall 3

5K76
タイコ エレクトロニクス ジャパン

4N220
分解展示
コーナー

倉敷紡績 エレクトロニクス事業部　テクトロニクス　全国電子部品流通連合会

5K85
パナソニック

5K75

4K58

4K59

4K39

4K35
コンバート
コミュニケーションズ

4K20
ニッパツ
(日本発条)

パナソニック システムLSI事業部

イベントレジスト

浜井電球工業

多治見無線電機

CLOVER DISPLAY

5K73　5K72
ニッコー

5K84
日本航空
電子工業

5K74

5K69
日産化学工業

4K55　4K50
Shenzhen Xiehengda Electronics

4K49
アドバンテスト

4K57
エイム電子

4K31　4K19

4K34

4K30
ひょうご・神戸投資
サポートセンター

CHINA ELECTRONIC APPLIANCE CORP.
Zhejiang Wanma Group Special Electron Cable

4K11　4K10
Shenzhen Zeasset Electronic Technology

4K12　4K09
Shenzhen Jinghua Displays　Xiamen SET Electronics

4K13　4K08
NINGBO KEPO ELECTRONICS　Yuehua Holding Group

4K14　4K07
CHONGQING KAIGE ELECTRONICS　SHENZHEN LUGUANG ELECTRONIC TECHNOLOGY

4K15　4K06
DSC (GUANG ZHOU)　SHENZHEN RIFDA LCD

Shenzhen City KaizhongHedong New Materials

BOARD OF INVESTMENT OF SRI LANKA

臭素科学・環境フォーラム（日本）　メディアゾーン　日本工業新聞社

5K83
千葉県
千葉市

5K82
フジクラ

5K67　5K66
マウビック

5K64

5K68
興和電子工業

5K63
ルビコン

4K45
イード

4K44

4K43
オートメ新聞

4K48　4K40
SBクリエイティブ

4K27　4K26
リーダー電子

トランスフォーム・
ジャパン

4K22
THINKING ELECTRONIC INDUSTRIAL

4K02
シンク・
ラボラトリー

4K01
日本
オートマチック
マシン

レシップ エスエルピー　日刊工業新聞社

日本セック/Civic Media

5K81
スタンレー電気

5K62　5K61
ヤマト電子

5K60
コスモサウンド

5K77
NECトーキン

ベンチャーエリア

岩淵技術商事
SKRテクノロジー
ガラポン
ジゴフッツ
情報通信研究機構
　エイブルコンピュータ
　TM委員会
　プラスヴォイス
　MEDIAS
Toward 2020 (T3)プロジェクト
　アクセルスペース
　Pluto
WHILL
GUGEN
コア・ブースター・プロジェクト
スケルトニクス
フェアリーデバイセズ
FOVE
　オリィ研究所
Mashup Awards
Moff
Trigence Semiconductor
ナイトライド・セミコンダクター
ノア
Lab.3s

ユニバーシティエリア

神奈川工科大学 情報工学科
九州工業大学 佐藤研究室
京都大、電気通信大、神戸デジタル・ラボ産学連携開発チーム
京都大学エネルギー理工学研究所ADMIRE計画
慶應義塾大学 理工学部 桂研究室
神戸大学大学院理学研究科 木村研究室
東北大学 情報知能システム研究センター（IIS研究センター）
豊橋技術科学大学／大成建設
豊橋技術科学大学
名古屋工業大学 機械工学科 佐野・田中研究室
福井大学

4N140
CSAJ ソフトウェア イノベーションプラザ
豆蔵ホールディングス
豆蔵
ネクストスケープ
オービックビジネスコンサルタント
アール・アイ
RPG　テクニクス
きっとエイエスピー
CompTIA日本支局
サートプロ
サイボウズ
システム・テクノロジー・アイ
システムズナカシマ
日本事務器
NJCネットコミュニケーションズ
ビー・シー・エー
クロノス
BBソフトサービス
フォーラムエイト
ブルーポート
マジックソフトウェア・ジャパン
ナビット
ネクストキャディックス

※点線内は10月7日（火）～
　10月10日（金）の開催
※10月11日（土）は、
　全日本ロボット相撲大会などを開催

4 Hall 3

4N99
クラウドコンピューティングプラザ
アイビーコア研究所
アスペックス
アセンテック
イータブリュエムジャパン
ウェブサービス・ディベロップメント
NTTコミュニケーションズ
エフ・アイ・ティー・パシフィック
エム・ソフト
オープンコンピュートプロジェクトジャパン
かもめエンジニアリング
クラウド・ビジネス・アライアンス
三和コムテック
シンカ
スマイルワークス
中央システム
使えるねっと
ドヴァ
日本クラウドファイリング
日本システムウエア
日本ビジネスリード
ニューロネット
ネットワンシステムズ
バンテン
ビープラッツ
ビットリーブ
Future Facilities
Eugrid

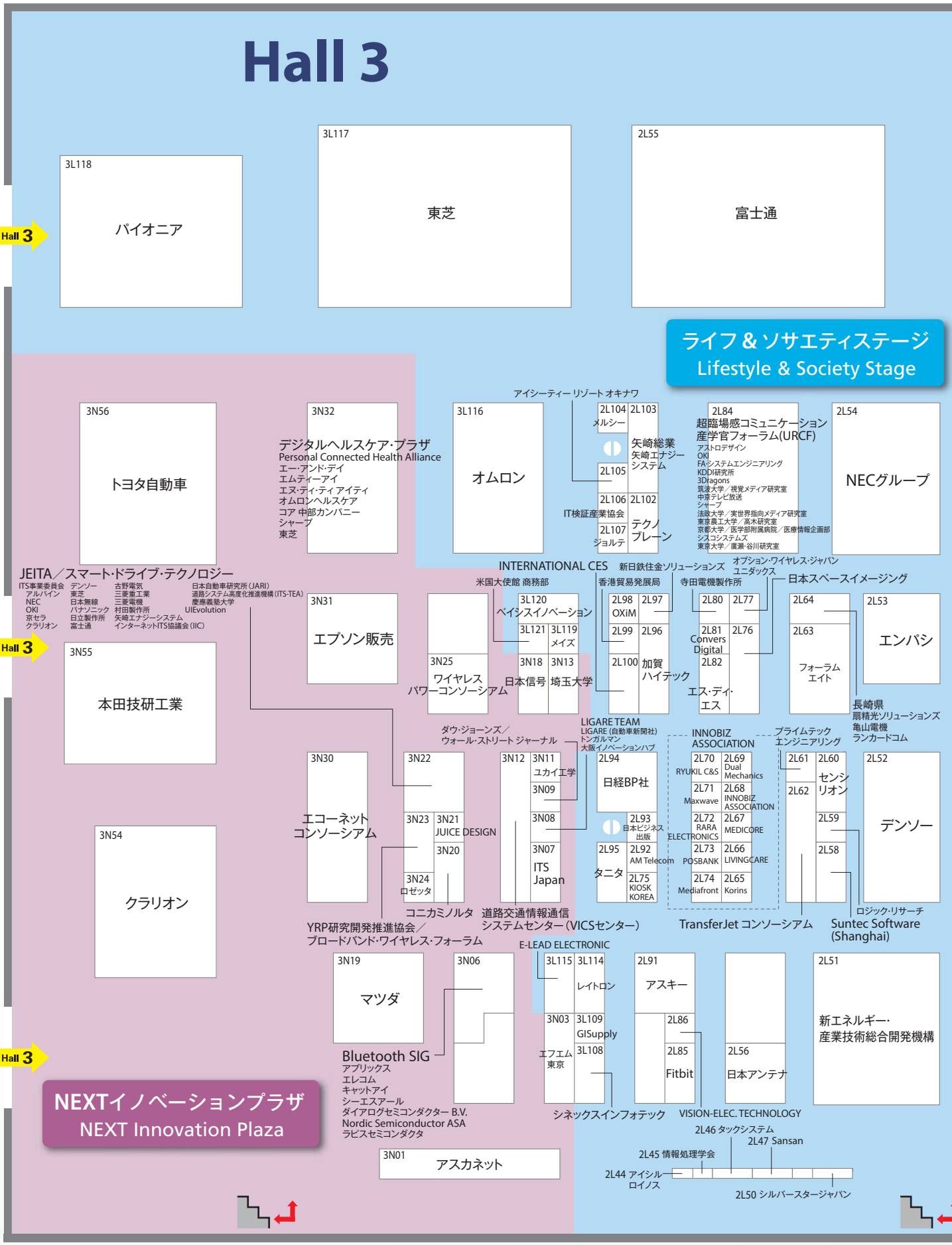
NEXTイノベーションプラザ
NEXT Innovation Plaza

4N78
商工会議所ビジネススクエア
RR Donnelley Japan
アイティーアスト
エイシス
NIS
オンリースタイル
グラップス
東京システムハウス
パソコンサポート屋
ビジネスメンター
ブラージュ
モステックジャパン
ユーテック
ラプロス

4 Hall 3

4N57
プログラマブル デバイスプラザ
アートワーク
カーボン・デザイン・システムズ・ジャパン
熊本大学（末吉研究室）
東京都立産業技術研究センター
プロトタイピング・ジャパン
ベリフィケーションテクノロジー
ラティスセミコンダクター

会場図


Hall 3
4 Hall 3
3L118 パイオニア
3L117 東芝
2L55 富士通
ライフ＆ソサエティステージ
Lifestyle & Society Stage
3N56 トヨタ自動車
3N32 デジタルヘルスケア・プラザ
Personal Connected Health Alliance
エー・アンド・デイ
エムティーアイ
エヌ・デイ・ティ アイティ
オムロンヘルスケア
コア 中部カンパニー
シャープ
東芝
3L116 オムロン
アイシーティー リゾート オキナワ
2L104 メルシー
2L103
2L105
矢崎総業
矢崎エナジーシステム
2L106
IT検証産業協会
2L102
2L107 ジョルテ
テクノブレーン
2L84 超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム(URCF)
アストロデザイン
OKI
FAシステムエンジニアリング
KDDI研究所
3Dragons
筑波大学／視覚メディア研究室
中京テレビ放送
シャープ
法政大学／実世界指向メディア研究室
東京農工大学／高木研究室
京都大学／医学部附属病院／医療情報企画部
シスコシステムズ
東京大学／廣瀬・谷川研究室
2L54 NECグループ
JEITA／スマート・ドライブ・テクノロジー
ITS事業委員会
アルパイン
NEC
OKI
京セラ
クラリオン
デンソー
東芝
日本無線
パナソニック
日立製作所
富士通
古野電気
三菱重工業
三菱電機
村田製作所
矢崎エナジーシステム
インターネットITS協議会 (IIC)
日本自動車研究所 (JARI)
道路システム高度化推進機構 (ITS-TEA)
慶應義塾大学
UIEvolution
INTERNATIONAL CES
新日鉄住金ソリューションズ
オプション・ワイヤレス・ジャパン
ユニダックス
米国大使館 商務部
香港貿易発展局
寺田電機製作所
日本スペースイメージング
3N31 エプソン販売
3N25 ワイヤレス パワーコンソーシアム
3L120 ベイシスイノベーション
3L121
3L119 メイズ
3N18 日本信号
3N13 埼玉大学
2L98 OXiM
2L97
2L99
2L96
2L100
加賀ハイテック
2L80
2L77
2L81 Convers Digital
2L76
2L82 エス・ディ・エス
2L64
2L63 フォーラムエイト
2L53 エンパシ
長崎県
扇精光ソリューションズ
亀山電機
ランカードコム
3N55 本田技研工業
ダウ・ジョーンズ／ウォール・ストリート ジャーナル
LIGARE TEAM
LIGARE (自動車新聞社)
トンガルマン
大阪イノベーションハブ
INNOBIZ ASSOCIATION
プライムテック エンジニアリング
3N30 エコーネット コンソーシアム
3N22
3N23
3N21 JUICE DESIGN
3N20
3N24 ロゼッタ
コニカミノルタ
3N12
3N11 ユカイ工学
3N09
3N08
3N07 ITS Japan
2L94 日経BP社
2L93 日本ビジネス出版
2L95 タニタ
2L92 AM Telecom
2L75 KIOSK KOREA
2L70 RYUKIL C&S
2L69 Dual Mechanics
2L71 Maxwave
2L68 INNOBIZ ASSOCIATION
2L72 RARA ELECTRONICS
2L67 MEDICORE
2L73 POSBANK
2L66 LIVINGCARE
2L74 Mediafront
2L65 Korins
2L61
2L62
2L60 センシリオン
2L59
2L58
2L52 デンソー
ロジック・リサーチ
Suntec Software (Shanghai)
TransferJet コンソーシアム
道路交通情報通信システムセンター（VICSセンター）
YRP研究開発推進協会／ブロードバンド・ワイヤレス・フォーラム
3N54 クラリオン
E-LEAD ELECTRONIC
3N19 マツダ
3N06
3L115
3L114 レイトロン
3N03 エフエム東京
3L109 GISupply
3L108
2L91 アスキー
2L86
2L85 Fitbit
2L56 日本アンテナ
2L51 新エネルギー・産業技術総合開発機構
Bluetooth SIG
アブリックス
エレコム
キャットアイ
シーエスアール
ダイアログセミコンダクター B.V.
Nordic Semiconductor ASA
ラピスセミコンダクタ
シネックスインフォテック
VISION-ELEC. TECHNOLOGY
2L46 タックシステム
2L47 Sansan
2L45 情報処理学会
2L44 アイシルー ロイノス
2L50 シルバースタージャパン
NEXTイノベーションプラザ
NEXT Innovation Plaza
3N01 アスカネット

Hall 2

Hall 1

2L43
三菱電機

1L07
NTTドコモ

1L02
シャープ

CHINA ELECTRONIC APPLIANCE CORP.

1L31 ShenZhen DBK Electronics
1L30 Hinen Electronics (Shenzhen)
1L29 Ash Cloud Shenzhen
1L32 Shenzhen Healthcare Electronic Technology
1L28
1L33 HGD Industry
1L27
1L34 Shenzhen Baolifeng Opto-elec
1L26 ZheJiang Hiye Electronics

SUZHOU BORTLY HARDWARE ILLUMINATION ELECTRIC APPLANCE

1L06
華為技術日本

China Electronics Fair/
China Information Technology Expo

2L42
HATS PLAZA
·PBXグループ
NEC
OKI
富士通
·MMグループ（HDTV等）
NTT
·FAXグループ
CIAJ 画像情報ファクシミリ委員会
·10G-EPONグループ
OKI
住友電気工業
富士通
三菱電機
·TTCグループ
情報通信技術委員会

1L21 長信ジャパン
1L22 Boon Trading Japan
協同コム
HYUNDAI IT JAPAN
1L23
1L18 ELIVISION
1L17
東広島市
1L25 東洋電機

1L13
愛知県
アイサンテクノロジー
愛知県立大学情報科学共同研究所
AZAPA
加藤製作所
原田車両設計
プロッツァ

1L05
アイシン精機

1L14
1L12
1L11 ヤマト
岩瀬運輸機工

IFA／国際コンシューマ·エレクトロニクス展

2L41
情報通信ネットワーク産業協会
情報通信アクセス協議会
岩崎通信機
シード·プランニング
都築電気
ナカヨ
日立情報通信エンジニアリング
ミライト
リコー

1L01
パナソニック

2L40
ニチコン

準天頂衛星システムサービス
2L39 青森県
2L38
2L37
タグキャスト

1L16
ピーエスシー
1L15
DXアンテナ

1L10 電波産業会
1L09 谷沢製作所
1L08
NSM Initiatives

1L04
北海道環境·エネルギー製品等販路開拓·拡大実行委員会
旭イノベックス
白井鋳鉄工業
環境設備計画
水素技術応用開発
土屋グループ
ディンプレックス·ジャパン
ネクステック
PVG Solutions
フレイン·エナジー
プレス工業
ホクスイ設計コンサル
北海道科学大学
ユニオンデーターシステム
両面発電太陽電池を活用したコスト吸収型
融雪システム開発事業コンソーシアム

2L36
NHK/JEITA
～8Kスーパーハイビジョンと
ハイブリッドキャストのワクワクを体感～

1L03
電子情報技術産業協会

出展者リスト（50音順・１字下げの出展者は共同出展です） Exhibitor Directory

LS ライフ＆ソサエティステージ　KT キーテクノロジステージ　NEXT NEXTイノベーションプラザ

あ

KT 6K188 ERNI Electronics GmbH & Co., KG
KT 6K185 RCL DISPLAY LTD.
LS 2L105 アイシーティー リゾート オキナワ
LS 2L44 (株)アイシル
(株)ロイノス
LS 1L05 アイシン精機(株)
LS 1L13 愛知県
アイサンテクノロジー(株)
愛知県立大学情報科学共同研究所
AZAPA(株)
(株)加藤製作所
原田車両設計(株)
(株)プロッツァ
NEXT 3N07 特定非営利活動法人ITS Japan
LS 2L106 (一社)IT検証産業協会
KT 5K161 ITTI COMPANY LIMITED
LS 2L39 青森県
KT 5K99 アクロスウェイ(株)
NEXT 3N01 (株)アスカネット
LS 2L91 アスキー
KT 4K49 (株)アドバンテスト
KT 6K195 アルプス電気(株)
KT 6K172 アンリツ(株)
KT 4K45 (株)イード
LS 3L115 E-LEAD ELECTRONIC CO., LTD.
LS 1L14 IFA／国際コンシューマ･エレクトロニクス展
KT 4K19 イベントレジスト
LS 1L12 (株)岩瀬運輸機工
LS 2L100 INTERNATIONAL CES
LS 2L68 INNOBIZ ASSOCIATION
2L69 Dual Mechanics Co., Ltd.
2L65 Korins Inc.
2L66 LIVINGCARE CO., LTD.
2L71 Maxwave Co., Ltd.
2L74 Mediafront
2L67 MEDICORE CO., LTD.
2L73 POSBANK
2L72 RARA ELECTRONICS CORPORATION
2L70 RYUKIL C&S
KT 6K184 ULIS
KT 5K154 HZO, Inc.
KT 4K57 エイム電子(株)
LS 2L92 AM Telecom Co., Ltd.
NEXT 3N30 (一社)エコーネットコンソーシアム
LS 2L82 エス･ディ･エス(株)
KT 5K100 エスパワー･ソリューションズ(株)
KT 4K40 SBクリエイティブ(株)
LS 2L54 NEC グループ
KT 5K77 NECトーキン(株)
LS 2L36 ＮＨＫ/ＪＥＩＴＡ　～８Ｋスーパーハイビジョンとハイブリッドキャストのワクワクを体感～
LS 1L08 NSM Initiatives LLC
KT 5K86 NLTテクノロジー(株)
KT 6K175 NKKスイッチズ(株)
LS 1L07 (株)NTTドコモ
NEXT 3N03 (株)エフエム東京
KT 6K169 FCI
NEXT 3N31 エプソン販売(株)
LS 1L18 ELIVISION
LS 2L53 (株)エンバシ
KT 5K159 オータックス(株)
KT 4K43 オートメ新聞(株)
LS 2L98 OXiM(株)
LS 2L77 オプション･ワイヤレス･ジャパン(株)
ユニダックス(株)
LS 3L116 オムロン(株)

か

LS 2L96 加賀ハイテック(株)
LS 2L75 KIOSK KOREA CO., LTD.
KT 5K94 京セラ(株)
京セラオプテック(株)
京セラクリスタルデバイス(株)
京セラケミカル(株)
京セラコネクタプロダクツ(株)
京セラコミュニケーションシステム(株)
京セラサーキットソリューションズ(株)
(株)京セラソーラーコーポレーション
京セラディスプレイ(株)
LS 1L23 (株)協同コム
HYUNDAI IT JAPAN(株)
KT 5K153 京都試作ネット
NEXT 4N99 クラウドコンピューティングプラザ
(株)アイピーコア研究所
(株)アスベックス
アセンテック(株)
(株)イーダブリュエムジャパン
(株)ウェブサービス･ディベロップメント
NTTコミュニケーションズ(株)
エフ･アイ･ティー･パシフィック(株)
(株)エム･ソフト
オープンコンピュートプロジェクトジャパン
かもめエンジニアリング(株)
クラウド･ビジネス･アライアンス
三和コムテック(株)
(株)シンカ
(株)スマイルワークス
中央システム(株)
使えるねっと(株)
(株)ドヴァ
日本クラウドファイリング(株)
日本システムウエア(株)
日本ビジネスリード(株)
ニューロネット(株)
ネットワンシステムズ(株)
(株)バンテン
ビープラッツ(株)
ビットリーブ(株)
Future Facilities(株)
Eugrid(株)
KT 4K59 倉敷紡績(株)　エレクトロニクス事業部
NEXT 3N54 クラリオン(株)
KT 5K74 CLOVER DISPLAY LIMITED
KT 6K183 クロニクス(株)
KT 5K165 コアシステム(株)
KT 5K68 興和電子工業(株)
KT 6K191 KOA(株)
KT 5K110 コーデンシ(株)
KT 5K60 (株)コスモサウンド
NEXT 3N20 コニカミノルタ(株)
KT 6K190 (株)小森マシナリー
工業技術研究院(工研院)
KT 6K180 KONG HONG CORPORATION LTD.
LS 2L81 ConversDigital Co., Ltd.
KT 4K35 (株)コンバートコミュニケーションズ

さ

NEXT 3N13 埼玉大学
KT 5K102 サン アドバンス(株)
LS 2L47 Sansan(株)
KT 6K182 (株)サンテクノロジー
LS 2L58 Suntec Software (Shanghai) Co., Ltd.
KT 5K89 サンライク(株)
LS 3L109 (株)GISupply
NEXT 4N140 CSAJ ソフトウェア イノベーションプラザ
(株)豆蔵ホールディングス
(株)豆蔵
(株)ネクストスケープ
(株)オービックビジネスコンサルタント
(株)アール･アイ
(有)RPG　テクニクス
(株)きっとエイエスピー
CompTIA日本支局
(株)サートプロ
サイボウズ(株)
(株)システム･テクノロジー･アイ
(株)システムズナカシマ
日本事務器(株)
NJCネットコミュニケーションズ(株)
ピー･シー･エー(株)
クロノス(株)
BBソフトサービス(株)
(株)フォーラムエイト
(株)ブルーポート
マジックソフトウェア･ジャパン(株)
(株)ナビット
ネクストキャディックス(株)
NEXT 3N22 JEITA／スマート･ドライブ･テクノロジー
ITS事業委員会
アルパイン(株)
NEC
OKI
京セラ(株)
クラリオン(株)
(株)デンソー
(株)東芝
日本無線(株)
パナソニック(株)
(株)日立製作所
富士通(株)
古野電気(株)
三菱重工業(株)
三菱電機(株)
(株)村田製作所
矢崎エナジーシステム(株)
インターネットITS協議会(IIC)
(一財)日本自動車研究所(JARI)
(一財)道路システム高度化推進機構(ITS-TEA)
慶應義塾大学
UIEvolution(株)
LS 3L108 シネックスインフォテック(株)
LS 1L02 シャープ(株)
KT 5K162 江海ジャパン(株)
NANTONG JIANGHAI CAPACITOR CO., LTD.
NEXT 3N21 (株)JUICE DESIGN
KT 5K66 臭素科学･環境フォーラム(日本)
KT 6K174 SUZHOU IE-TECH CO., LTD.
LS 2L38 準天頂衛星システムサービス(株)
NEXT 4N78 商工会議所ビジネススクエア
RR Donnelley Japan(株)
(株)アイティーアスト
(株)エイシス
(株)NIS
(株)オンリースタイル
(株)グラップス
東京システムハウス(株)
(一社)パソコンサポート屋
ビジネスメンター(株)
(株)プラージュ
モステックジャパン(株)
(株)ユーテック
(株)ラプロス
LS 2L45 (一社)情報処理学会
LS 2L41 (一社)情報通信ネットワーク産業協会
情報通信アクセス協議会
岩崎通信機(株)
(株)シード･プランニング
都築電気(株)
(株)ナカヨ
(株)日立情報通信エンジニアリング
(株)ミライト
(株)リコー
LS 2L107 (株)ジョルテ
LS 2L50 (株)シルバースタージャパン
LS 2L51 独立行政法人新エネルギー･産業技術総合開発機構
KT 4K22 THINKING ELECTRONIC INDUSTRIAL CO., LTD.
KT 4K02 (株)シンク･ラボラトリー
LS 2L97 新日鉄住金ソリューションズ(株)
KT 5K81 スタンレー電気(株)
KT 5K87 スタンレー電気(株)
KT 6K192 スミダコーポレーション(株)
KT 4K39 全国電子部品流通連合会
LS 2L60 センシリオン(株)
KT 5K98 (有)ソネット技研

た

KT 5K76 タイコ エレクトロニクス ジャパン合同会社
KT 5K107 (株)大真空
KT 6K187 DYNACAST
KT 5K167 太洋工業(株)
KT 6K194 太陽誘電(株)
KT 5K160 TAITRONICS 2014
KT 5K123 Taiwan Electrical and Electronic Manufacturers' Association (TEEMA)
6K139 AJATO CO., LTD.
6K130 APLUS INTEGRATED CIRCUITS INC.
6K132 BIZLINK INTERNATIONAL CORPORATION
6K138 BOLYMIN, INC.
6K150 Chilisin Electronics distributed by Tokyo Electron Device
6K141 CHUNGYI ENTERPRISE CORP.
6K128 ELKA INTERNATIONAL LTD.
6K137 FRANMAR INTERNATIONAL INC.
6K148 GI FAR TECHNOLOGY CO., LTD.
5K126 GLORY MARK ELECTRONIC LTD.
6K134 GT Contact Co., Ltd.
5K112 Industrial Technology Research Institute
Ever Power Lighting Equipment Co., Ltd.
Genesis Photonics Inc.
Just Power Integrated Technology Inc.
Sun Lumintech Co., Ltd.
Ukin Technology Co., Ltd.
6K147 JIH VEI ELECTRONICS CO., LTD.
6K136 JOINT TECH ELECTRONIC INDUSTRIAL CO., LTD.
5K122 JOULES MILES CO., LTD.
5K124 LENOO ELECTRONICS CO., LTD.
6K146 LITNERTEX CO., LTD.
6K135 MAX ECHO TECHNOLOGY CORPORATION
6K129 SUPERIOR TECH CO., LTD.
5K127 TAITEK COMPONENTS CO., LTD.
6K140 T-GLOBAL TECHNOLOGY CO., LTD.
6K144 3L ELECTRONIC CORPORATION
6K131 TRANS ELECTRIC CO., LTD.
6K149 UNEO INCORPORATED
5K120 WELL BUYING INDUSTRIAL CO., LTD.
6K143 WINSTAR DISPLAY CO., LTD.
6K142 YFC-BonEagle Electric Co., Ltd.
6K145 Yoketan Corporation
NEXT 3N09 ダウ･ジョーンズ／ウォール･ストリート ジャーナル
LS 2L37 (株)タグキャスト
KT 5K72 多治見無線電機(株)
LS 2L46 タックシステム(株)
LS 1L09 (株)谷沢製作所
LS 2L95 (株)タニタ

KT 5K93 田淵電機（株）
KT 6K193 （株）タムラ製作所
KT 5K83 千葉県
KT 5K83 千葉市
LS KT ー CHINA ELECTRONIC APPLIANCE CORP.
1L29 Ash Cloud Co., Ltd. Shenzhen
1L27 China Electronics Fair/China Information Technology Expo
4K14 CHONGQING KAIGE ELECTRONICS CO., LTD.
4K15 DSC（GUANG ZHOU）CORPORATION
1L33 HGD Industry Co., Ltd.
1L30 Hinen Electronics（Shenzhen）Co., Ltd.
4K13 NINGBO KEPO ELECTRONICS CO., LTD.
1L34 Shenzhen Baolifeng Opto-elec Co., Ltd.
4K55 Shenzhen City KaizhongHedong New Materials Co., Ltd.
1L31 ShenZhen DBK Electronics Co., Ltd.
1L32 Shenzhen Healthcare Electronic Technology Co., Ltd.
4K12 Shenzhen Jinghua Displays Co., Ltd.
4K07 SHENZHEN LUGUANG ELECTRONIC TECHNOLOGY CO., LTD.
4K06 SHENZHEN RIFDA LCD CO., LTD.
4K50 Shenzhen Xiehengda Electronics Co., Ltd.
4K10 Shenzhen Zeasset Electronic Technology Co., Ltd.
1L28 SUZHOU BORTLY HARDWARE ILLUMINATION ELECTRIC APPLANCE CO., LTD.
4K09 Xiamen SET Electronics Co., Ltd.
4K08 Yuehua Holding Group Co., Ltd.
1L26 ZheJiang Hiye Electronics Co., Ltd.
4K11 Zhejiang Wanma Group Special Electron Cable Co., Ltd.
LS 1L21 長信ジャパン（株）
LS 2L84 超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム（URCF）
アストロデザイン（株）
OKI
FA・システムエンジニアリング（株）
（株）KDDI研究所
合同会社3Dragons
筑波大学／視覚メディア研究室
中京テレビ放送（株）
シャープ（株）
法政大学／実世界指向メディア研究室
東京農工大学／高木研究室
京都大学／医学部附属病院／医療情報企画部
シスコシステムズ合同会社
東京大学／廣瀬・谷川研究室
KT 5K111 TDK（株）
LS 1L15 DXアンテナ（株）
KT 4K58 テクトロニクス
KT 5K97 （株）テクニスコ
LS 2L102 テクノブレーン（株）
NEXT 3N32 デジタルヘルスケア・プラザ
Personal Connected Health Alliance
（株）エー・アンド・デイ
（株）エムティーアイ
エヌ・テイ・ティ アイティ（株）
オムロンヘルスケア（株）
（株）コア　中部カンパニー
シャープ（株）
（株）東芝
LS 2L80 （株）寺田電機製作所
KT 6K189 （株）テルサント
（有）メニ・テック
LS 1L03 （一社）電子情報技術産業協会
LS 2L52 （株）デンソー
LS 1L10 （一社）電波産業会
KT 5K158 （株）電波新聞社
KT 5K95 東海光学（株）
KT 5K105 東海通信工業（株）
KT 5K92 （株）東京ウエルズ
LS 3L117 （株）東芝
LS 1L25 東洋電機（株）
NEXT 3N12 （一財）道路交通情報通信システムセンター（VICS センター）
NEXT 3N56 トヨタ自動車（株）
LS 2L62 （一社）TransferJetコンソーシアム
KT 4K26 トランスフォーム・ジャパン（株）

な

LS 2L64 長崎県
扇精光ソリューションズ（株）
（株）亀山電機
（有）ランカードコム
LS 2L40 ニチコン（株）
KT 4K48 日刊工業新聞社
LS 2L94 日経BP社
KT 5K73 ニッコー（株）
KT 5K69 日産化学工業（株）
KT 4K20 ニッパツ（日本発条（株））
LS 2L56 日本アンテナ（株）
KT 5K90 日本ケミコン（株）
KT 5K61 日本セック（株）／Civic Media Co., Ltd.
KT 6K176 日本電気硝子（株）
KT 5K108 日本特殊陶業（株）
KT 4K01 日本オートマチックマシン（株）
KT 4K44 （株）日本工業新聞社
KT 5K84 日本航空電子工業（株）
NEXT 3N18 日本信号（株）
LS 2L76 日本スペースイメージング（株）
KT 5K163 日本ナショナルインスツルメンツ（株）
LS 2L93 （株）日本ビジネス出版
KT 6K179 ノウルズ・エレクトロニクス・ジャパン（株）
KT 5K88 ノリタケ伊勢電子（株）
（株）ノリタケカンパニーリミテド

は

LS 3L118 バイオニア（株）
LS 2L42 HATS PLAZA
・PBXグループ
NEC
OKI
富士通（株）
・MMグループ（HDTV等）
NTT
・FAXグループ
CIAJ　画像情報ファクシミリ委員会
・10G-EPONグループ
OKI
住友電気工業（株）
富士通（株）
三菱電機（株）
・TTCグループ
（一社）情報通信技術委員会
LS 1L01 パナソニック（株）
KT 5K85 パナソニック（株）
KT 5K75 パナソニック（株）システムLSI事業部
KT 4K31 浜井電球工業（株）
KT 5K155 浜松ホトニクス（株）
LS 1L16 （株）ビーエスシー
LS 1L17 東広島市
KT 6K171 ビクトレックスジャパン（株）
LS 2L86 VISION-ELEC. TECHNOLOGY CO., LTD.
KT 6K178 日立金属（株）
KT 4K34 ひょうご・神戸投資サポートセンター
KT 5K96 平井精密工業（株）
LS 1L06 華為技術日本（株）
LS 2L85 Fitbit Inc.
LS 1L22 Boon Trading Japan（株）
LS 2L63 （株）フォーラムエイト
KT 5K82 （株）フジクラ
LS 2L55 富士通（株）
LS 2L61 プライムテックエンジニアリング（株）
NEXT 3N06 Bluetooth SIG
（株）アプリックス
エレコム（株）
（株）キャットアイ
シーエスアール（株）
ダイアログセミコンダクター B.V.
Nordic Semiconductor ASA
ラピスセミコンダクタ（株）
NEXT 4N57 プログラマブル デバイスプラザ
アートワーク（株）
カーボン・デザイン・システムズ・ジャパン（株）
国立大学法人熊本大学（末吉研究室）
地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
プロトタイピング・ジャパン（株）
ベリフィケーションテクノロジー（株）
ラティスセミコンダクター合同会社
NEXT 4N220 分解展示コーナー
LS 3L121 米国大使館　商務部
LS 3L120 ベイシスイノベーション（株）
NEXT 4N ベンチャーエリア
岩淵技術商事（株）
（株）SKRテクノロジー
ガラボン（株）
（株）ジゴワッツ
独立行政法人情報通信研究機構
（株）エイブルコンピュータ
TM委員会
（株）ブラスヴォイス
（株）MEDIAS
Toward 2020（T3）プロジェクト
（株）アクセルスペース
（株）Pluto
WHILL（株）
GUGEN
コア・ブースター・プロジェクト
スケルトニクス（株）
フェアリーデバイセズ（株）
（株）FOVE
（株）オリィ研究所
Mashup Awards
（株）Moff
（株）Trigence Semiconductor
ナイトライド・セミコンダクター（株）
（株）ノア
（有）Lab.3s
KT 4K30 BOARD OF INVESTMENT OF SRI LANKA
KT 5K106 北陸地域企業誘致連絡会
KT 5K109 北陸電気工業（株）
LS 1L04 北海道環境・エネルギー製品等販路開拓・拡大実行委員会
旭イノベックス（株）
臼井鋳鉄工業（株）
（株）環境設備計画
水素技術応用開発（株）
土屋グループ
（株）ディンプレックス・ジャパン
（株）ネクステック
PVG Solutions（株）
（株）フレイン・エナジー
ブレス工業（株）
（株）ホクスイ設計コンサル
北海道科学大学
ユニオンデーターシステム（株）
両面発電太陽電池を活用したコスト吸収型融
雪システム開発事業コンソーシアム
LS 2L99 香港貿易発展局
NEXT 3N55 本田技研工業（株）

ま

KT 5K67 （株）マウビック
KT 5K91 （株）マックエイト
NEXT 3N19 マツダ（株）
KT 5K168 ミック電子工業（株）
LS 2L43 三菱電機（株）
KT 6K196 ミツミ電機（株）
KT 6K197 （株）村田製作所
LS 3L119 （株）メイズ
LS 2L104 （株）メルシー
KT 5K166 （株）モトヤ

や

LS 2L103 矢崎総業（株）
矢崎エナジーシステム（株）
LS 1L11 （株）ヤマト
KT 5K62 ヤマト電子（株）
NEXT 3N11 ユカイ工学（株）
NEXT 4N ユニバーシティエリア
神奈川工科大学 情報工学科
国立大学法人九州工業大学 佐藤研究室
京都大、電気通信大、神戸デジタル・ラボ産学連
携開発チーム
京都大学エネルギー理工学研究所ADMIRE計画
慶應義塾大学 理工学部 桂研究室
神戸大学大学院理学研究科 木村研究室
東北大学 情報知能システム研究センター（IIS研
究センター）
豊橋技術科学大学／大成建設(株)
国立大学法人豊橋技術科学大学
名古屋工業大学 機械工学科 佐野・田中研究室
国立大学法人福井大学

ら

KT 6K170 （株）ライスター・テクノロジーズ
KT 4K27 リーダー電子（株）
NEXT 3N08 LIGARE TEAM
LIGARE（自動車新聞社）
トンガルマン
大阪イノベーションハブ
KT 5K63 ルビコン（株）
KT 6K186 レイデント工業（株）
LS 3L114 （株）レイトロン
KT 5K64 レシップ エスエルピー（株）
KT 6K177 ローム（株）
カイオニクス
ラピスセミコンダクタ（株）
LS 2L59 （株）ロジック・リサーチ
NEXT 3N24 （株）ロゼッタ

わ

NEXT 3N23 YRP研究開発推進協会／
ブロードバンド・ワイヤレス・フォーラム
NEXT 3N25 ワイヤレスパワーコンソーシアム

ピックアップ 1

出展傾向

●次世代映像技術は4K から、さらに先の8K へ

次世代映像技術（4K/8K）関連製品や技術など、前回までの「夢の技術」というトーンから一変して、実用域を意識したデモや展示ともに、さらに先を見すえた映像技術の紹介に注目が集まった。

三菱電機株式会社は、業界で初めて、4K 液晶パネルのバックライトに赤色レーザーとシアン色 LED を採用し、高精細と広色域により立体感のある映像を実現する4K 対応レーザー液晶テレビ「REAL（リアル）」LS1シリーズ65V 型、58V 型2機種を展示した。

NHK/JEITA ブースは、150インチ大型スクリーンと22.2マルチチャンネル立体音響を備えたステージで8K コンテンツを上映した。パネル展示では、4K、8K の配信技術の紹介、「8K スーパーハイビジョン対応・ハイブリッドキャスト」のデモンストレーションなど放送の「NEXT」を示す展示が行われていた。

パナソニック株式会社は、「4K WORLD」を中心としたブース展示を行うなかで、コンシューマープロダクツとビジネスソリューションズの両面から訴求した。4K コンシューマープロダクツでは、40V 型から85V 型までを揃えた「4K 対応ビエラ」を軸にして展示した。「4K PHOTO」デモコーナーでは、4K 動画対応デジタルカメラ “LUMIX” 「DMC-GH4」や4K 対応ビデオカメラ「HC-X1000」で撮影するデモが実施された。4K ビジネスソリューションズでは4K タブレット

「TOUGHPAD 4K」のほか、強い外光下でもスムーズなタッチで複数人での同時使用が可能な「4K 大型タッチパネルディスプレイ」を参考出品し、ビジネスシーンにおける4K 活用事例を提案した。 また、パナソニック・システム LSI 事業部は、キーテクノロジーステージにおいて、4K・8K 時代に重要な技術である新動画圧縮規格 HEVC 再生用 システム LSI を紹介した。

シャープ株式会社は、世界で初めてのフルスペック8K スーパーハイビジョンに準拠した、液晶ディスプレイを展示し、圧倒的な臨場感と迫力のある映像に、多くの人が見入っていた。なお、同技術は『CEATEC AWARD 2014』において総務大臣賞を受賞した。

●新たな液晶ディスプレイと、数々の応用技術

シャープ株式会社は、ゲートドライバを画素内に分散配置することで、「ディスプレイは四角」という常識を覆した「フリーフォームディスプレイ」を紹介した。自動車用メーターを想定したデモ機が数タイプ展示された。車載機器、ウェアラブル端末、家電などへの応用が期待される。

同社の「カーライフワールド」ゾーンでは、産業技術総合研究所と共同開発した「赤外線カラー暗視カメラ」が紹介されていた。赤外線にわずかに含まれる色情報から可視光撮影同様のカラー映像を実現するもので、ほぼ0ルクスの暗室内の様子を鮮明なカラー動画で映し出していた。「360度フリービューシステム」は垂直124度・水平190度が撮影できる小型カメラを自動車の4カ所に配置。360度全周映像に合成し、自由な角度から眺めることができる。

クラリオン株式会社は、「全周囲俯瞰カメラシステム」を紹介した。ブース内のポルシェのコックピットに座ると、前後左右4台のカメラから合成された俯瞰映像が体験できる。歩行者検知、車線検知、自動駐車機能なども搭載され、ポルシェ「パナメーラ」の工場装着オプションとして採用が決まっている。

パイオニア株式会社は、透明のスクリーンに映像を映し出す技術「シースループロジェクション」を参考出品した。透明スクリーンに投影される映像と背景が融合し、これまでにない映像表示を実現した。

オムロン株式会社の「透明プレート型空間投影技術」は、薄いアクリルプレートのエッジ側から微細なパターン加工を通した光を入射させることで立体感のある映像を映し出すもので、誘導サインや操作パネルへの応用が期待される。

富士通株式会社は、3次元ホログラムディスプレイ「zSpace」を提案した。ゴーグルを装着することで立体的なレビューが得られ、図面の整合性や設計上の問題を直感的に把握できる、ものづくりの支援技術として紹介された。

●実用化がはじまったメガネ型ウエアラブル端末

CEATEC JAPAN 2014で一気に開花した感があるのが、ウエアラブル端末だ。スマートウォッチ、活動量計、体組成計、スマートグラスなど、各社がさまざまなウエアラブル端末を出展した。

エプソン販売株式会社は、メガネ型デバイス「MOVERIO（モベリオ）」を大きくアピールした。GPS、地磁気、加速度、ジャイロの各センサと無線 LAN、Bluetooth などの機能を約88g のボディに詰め込んだ「BT-200」を装着し、画面に映されるガイドに従ってルービックキューブを完成させる体験が人気を集めていた。

株式会社東芝は、「東芝グラス」を参考出展した。プロジェクタを内蔵した右側テンプル（つる）部分が少し張り出しているが、重さはわずかに42g と軽量。メガネの上から装着でき、折りたたみもできる。工事や保守点検作業の指示、医療や介護の業務サポート、美術館や博物館での利用を視野に入れている。

コニカミノルタ株式会社は、独自のホログラフィック光学素子「HOE」と通信技術を融合させたメガネ型ウェアラブルコミュニケーターを出展。約80% のシースルー特性を備え、暗い倉庫内でも明るい屋外でも情報を視認しやすい。PC からダイレクトに文字やマークを挿入できるため作業の指示出し、方向指示にも活用できるという。

ミツミ電機株式会社は、半導体レーザーのベンチャー企業である株式会社 QD レーザーが開発した網膜走査型ディスプレイを備えた「レーザアイウェア」のプロトタイプをデモンストレーションした。網膜に直接投影するので、完全なシースルー画像が得られ、装着者の視力も選ばない。自在なサイズ、位置に描出できるうえ、高輝度・高色再現性・広視野角という特長も備えている。

富士通株式会社は、" マニュアルの要らない自動車整備 " として、AR 技術を融合させ画面上に指示を表示。装着者が腕のキーボードで応答する、体験型デモンストレーションを実施した。

●さまざまな可能性が広がるウエアラブル端末

腕時計型のウエアラブル端末を展示・紹介する出展者も大幅に増加した。ウエアラブル端末の中でも健康・スポーツ分野には多くの企業が意欲的に出展した。

華為技術日本（ファーウェイ・ジャパン）株式会社は、防水・防塵ウェアラブル端末、「TalkBand B1」を出展。時計、活動量計などを備え、睡眠リズムを自動認識する目覚まし設定や、端末から10m 以上離れると振動で通知するシステムなどを備えている。

エプソン販売株式会社は、脈拍と活動状態を記録し、専用アプリでエクササイズ状況やカロリー収支が管理できる「PULSENSE」、ランニング時の距離やペースなどを計測し WEB で管理・分析できる「WristableGPS」を展示した。

株式会社村田製作所は、赤ちゃんの足に装着しておくと体表面温度や寝返り回数などを記録しスマートフォンに転送できる端末や、散歩や外出、ミルク、睡眠時間などを簡単に記録して「育児日誌」をつくることもできる端末「ライフログツール」を提案した。

ローム株式会社は、加速度センサや近接照度センサ、UV センサなどをはじめとする合計7つのセンサと、グループ内で保有するローパワーアイコンおよび無線通信技術を使用したデモ機として、キーケース状の「ウェアラブル キーデバイス」を展示した。

株式会社 NTT ドコモは、体脂肪が分解・燃焼する際に皮膚から放出されるアセトンを測定して運動量を把握するウェアラブルデバイスを展示した。生活習慣の改善や成人病予防への応用が期待される、「皮膚アセトン測定」というユニークな技術を提案していた。

●各社から一斉に提案された次世代コックピット

各社から一斉に次世代コックピットシステムが提案され、人気を集めていた。

三菱電機株式会社は、「先回りエージェント」機能を備えたコックピットを展示した。ドライバーの操作や運転履歴から次に行う操作を類推し、フロントパネルやヘッドアップディスプレイ（HUD）に3つの候補を表示。運転者は音声かハンドルのグリップで選択するコックピットを提案した。

パイオニア株式会社は「AR HUD（エーアール　ヘッドアップディスプレイ）」を展示した。2012年に世界で初めて発売した HUD と AR 技術を融合させ、より少ない視線移動で情報が把握できる。

京セラ株式会社の「未来型コックピット」は、表面を振動させることで、物理スイッチやボリュームが存在するかのような触感を与えるタッチパネル式モニターを採用。ディスプレイ技術を駆使した HUD や液晶内蔵ルームミラーを備えている。

アルプス電気株式会社の「次世代型コックピット」は、視線検知技術を採用。左後方に接近車があると、HUD に「左ミラー確認」と表示する。ドライバーが左ミラーを見ると視線を検知して表示が消える。HUD にはエアコンやオーディオなどのスイッチが投影され、視線で操作できるほか、ジェスチャー入力にも対応。シート内のセンサは心拍などでドライバーの状態を把握することができる。

マツダ株式会社は、新型デミオに搭載した次世代の HMI（ヒューマンマシンインタフェース）「Heads-Up Cockpit（ヘッドアップコックピット）」を展示した。視線をほとんど動かすことなく、ダッシュボード上の透明ディスプレイから情報を得ることができる。また、スタンレー電気株式会社と共同開発した、発光部が４つのブロックに分割され、対向車のヘッドランプやテールランプを検知すると、その部分を消灯してまぶしさを軽減する「ALH（アダプティブ・LED・ヘッドライト）」も紹介された。

スタンレー電気株式会社は、対向車や先行車を検知し発光部を制御、ハイビームのまま走行してもまぶしくない「アダプティブ・ドライビング・ビーム」を提案した。

視線検知技術をわかりやすく展示していたのが、富士通株式会社だ。しゃれたバーのモックアップが用意され、カウンターに座った人の視線をセンサが検出、注視したポイントがモニターに表示されるデモンストレーションで、注目を集めていた。

●進化したカーナビと、多様化するナビ技術

次世代型コックピットと並んで各社が力を注いでいたのが、ナビゲーションの技術であった。

株式会社 NTT ドコモは、「対話型車両エージェント」を参考出展した。スマートフォンの通信機能を使い、クルマとドライバーが音声でコミュニケーションできる技術。画面やボタンを触らず操作できるので安全性の向上が可能となる。

また、ユニークな提案で体験待ちの行列ができていたのが、スマートフォンと Bluetooth を連携して目的地までの道のりを、触覚を通して導いてくれる「YUBI NAVI」コーナー。手のひらサイズのスティック状インターフェースが、次に曲がるべき方向を伝え道案内してくれる。視覚障害者も道案内できるほか、インターフェース装着者同士で合図を送り合うこともできるという新しい体験を提案していた。

トヨタ自動車株式会社の「T-Connect」は、ネットを介してカーナビ同士が通信する次世代テレマティクスサービス。アプリを追加し機能拡張できる「T-Connect Apps」が提供され、グルメ、観光地、天気情報などと連動できるほか、音声対話型エージェントを利用できる。

本田技研工業株式会社の「ROAD H ！ NTS（ロード ヒンツ）」は、ルートナビにとどまらず、ドライブルートや目的地のおすすめ飲食店情報などを伝えるサービスだ。店舗に近づくと情報が送られるプッシュ型を採用し、ドライブ中に名店や名所を知らずに通過しあとで後悔する・・・といった失敗を回避してくれる。情報はスマートフォンに転送でき、駐車場から先もナビしてくれる。

株式会社デンソーは QR コード技術を活用した新しいサービス「MapQR」を展示した。MapQR は、特定の場所の地図画像にその場所の位置情報データを重ねた2次元コードで、実際の地図の上に位置情報を表す QR コードを載せたもの。略地図代わりにガイドブックやパンフレットに印刷すると、紙媒体に掲載された位置情報をスマートフォンの地図やカーナビなどに簡単に送ることができる。

●無線技術～次世代5G からラスト１m まで～

ウェアラブル端末が一気に実用化した背景には、センサの小型化とならんで、Bluetooth®Smart をはじめとする無線通信技術と通信モジュールの小型化、低消費電力化技術が支えている。

株式会社東芝は、Bluetooth® Smart と NFC（フェリカ対応）タグをワンチップ化した評価システムなど、ビーコンデバイス用途を意識した展示が行われた。

ローム株式会社は、スマートメーター、交通インフラ、M2M や IoT（Internet of Things）用途での利用を想定した「特定小電力無線モジュール」を提案した。タブレット端末から簡単に家電製品が制御できるデモを実演した。

ミツミ電機株式会社は、新たな近距離無線規格として注目される Z-Wave 準拠の「920MHz 帯無線通信 Z-Wave® 準拠 最新500シリーズ」を提案した。メッシュネットワークを構成し、コントローラの電波が直接届かない場所の機器の操作ができるほか、省電力化が図れるなどの特長が注目される。

東洋電機株式会社と太陽誘電株式会社が共同開発する高速水中可視光通信装置が東洋電機ブースにおいて展示された。高速水中可視光通信装置は水中において映像、音声、計測情報などの大量データをワイヤレスで送ることができる装置。水中での映像撮影、養殖漁業、海洋計測、海洋土木など、その用途は多岐にわたると考えられる。

NEC は、2020年のサービス開始をめざし開発が急がれている5G 通信に向けた「スモールセル向け超多素子アンテナ」をアピールした。マトリクス状に配置したアンテナ素子を制御することで指向性を形成し電波干渉を防ぐとともに、周波数リソースを多重化し単位面積あたりの容量を飛躍的に向上させる技術として注目される。

京セラ株式会社は、米国の携帯電話会社「Verizon Wireless」向けの Android スマートフォン「Brigadier ブリガディア」を展示した。米国国防総省の調達基準「MIL-STD-810G」に準拠した防水・防塵・耐衝撃性能などを有した高耐久性スマートフォンで、タッチスクリーンにサファイアが採用されている。

株式会社 NTT ドコモは、スマートフォンやタブレットに SIM を装着しない「ポータブル SIM」を紹介した。「ポータブル SIM」を介して同番号で2台のスマートフォンを使い分けたり、動画を楽しむときはタブレットに切り替えたりできるうえ、セキュリティ領域を利用してサイト利用に必要な ID ／パスワードを一括管理したり、同じスマートフォンでもオフィス用の「ポータブル SIM」で使用する際は特定サイトのブロック、カメラ機能の無効化を図ることができるなど、個人が所有する端末（私有端末）を業務に活用する BYOD 用途へも応用できる。

●健康づくりと介護を支える技術

ウェアラブル端末の実用化が進む一方、ウェアラブル技術を健康増進や介護に応用する動きもはじまっている。

アイシン精機株式会社は、睡眠を見守り、眠りの質を測定する装置『ねむりモニター』を紹介した。自動車用電装品で培ったセンシング技術を応用し、ベッドの脚に装着するだけで身体の動きや離床を検知できる。患者の見守りや介護用途での普及をめざすという。

太陽誘電株式会社も「離床センサ」を展示した。ワイヤレスセンサネットワークを活用した見守りシステムのデモを行っていた。

デジタルヘルスケアプラザには、一般消費者向け健康機器とクラウドを併用した健康状態の把握やデータ管理、企業や病院、地域コミュニティ全体の健康管理、機関の連携などを図る会社の技術が展示された。

株式会社タニタは、コンパクトな活動量計のデータをスマートフォンや PC で確認できる「HealthPlanet（ヘルスプラネット）」、筋肉量や筋肉密度まで測定できる「筋質メーター（仮）」、息を吹きかけるだけで、今どれだけ脂肪を燃焼しているかわかる「呼気でわかる脂肪燃焼ナビ（仮）」など数々のサービスを提案した。

●人や物の移動をサポートするモビリティ

株式会社デンソーは、同社の小型・高出力モーターとセンサ技術を融合させた「X-mobility」を展示した。球状の脚内にモーターやバッテリー、通信モジュール、センサを内蔵。任意のアイテムに装着するだけで360度自在に移動するモビリティになるというアイデアあふれる提案だった。

ホンダ技研工業株式会社の「UNI-CUB（ユニ・カブ）」は、体重移動でマシンに進みたい方向を指示するモビリティ。ASIMO のセンシングやバランス技術が応用されている。会場を UNI-CUB で回るツアーも好評を博していた。

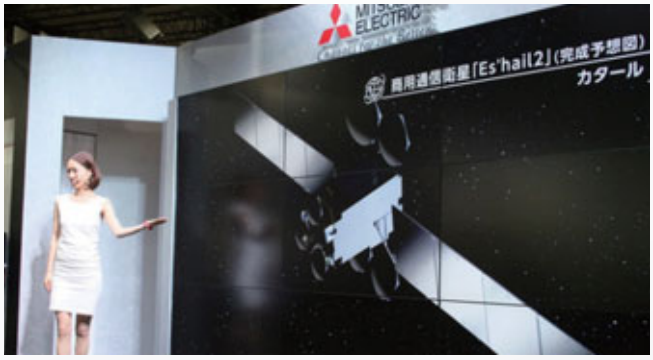
アイシン精機株式会社は「搭乗型移動ロボット」を展示した。３次元レーザー測域センサ、３次元距離画像カメラ、制御ユニットなどを搭載し、障害物や歩行者を検知すると自動減速することで最高速度を10km/h（現行6km/h）まで拡張する快適な移動を提案した。

●日本の強みを示す、重層的な素材産業

三菱電機株式会社は、加速器でイオンを加速し体の奥深い病巣を照射、がん治療に新たな可能性を開く「粒子線治療装置」の模型が展示されていた。すでに装置は稼働し、治療にも使われはじめている。

ローム株式会社は、加速器やプラズマ発生装置に欠かせない技術「超高耐圧パルス発生器向け SiC スイッチングモジュール」を紹介した。高電圧パルス発生器を、モジュールを組み合わせることで作成でき、最終製品の小型化に貢献する。

さらに、加速器に欠かせない高密度磁束を実現する数々の素材技術を、日立金属グループが展示した。磁力体感コーナーでは、強力な磁石のパワーを実感することができた。



1960年代より宇宙事業に取り組んできた三菱電機株式会社は、陸域観測技術衛星の「だいち2号」からの実画像、GPS の精度を高める準天頂衛星「みちびき」を紹介する一方、衛星開発で培った複合材料開発の一例として、アルミの約1/5の重量で3倍の回転に耐える炭素繊維一体成型送風ファンなどを展示。民生向け転用をアピールした。

日本電気硝子株式会社は、ガラスの利点と樹脂の利点を併せ持つ超薄板ガラス樹脂積層体「Lamion®」、コピー紙の1/3という30μmの極薄で曲げ伸ばしができる超薄板ガラス< G-Leaf® >を展示した。

新たな製品は、さまざまなマテリアルと電子技術が相まってはじめて実現できる。産業の重層的な厚みこそ日本の強さであることを、改めて実感することができた。

●エネルギーの課題に取り組む数々のソリューション

エネルギー問題にも数多くのソリューションが提案された。

京セラ株式会社は、台風にも耐えられるフロート上に太陽光パネル設置するシステムを紹介した。冷却効果による発電効率の向上、貯水蒸発量の軽減や藻の発生抑制効果が期待される「水上設置型ソーラーシステム」として注目される。

アルプス電気株式会社は、比較的小さな流れに設置できるマイクロ水力発電システムを、アイシン精機株式会社は「色素増感太陽電池」を展示し、サングラス状の覆いの下でも安定した発電が可能であるこ

とをアピールしていた。

HEMS 関連では、ニチコン株式会社が、日産リーフ（EV）を使った家庭用電力制御「EV パワー・ステーション」を提案した。EV への給電を余力のある夜間に行い、昼間ピーク時に EV が在宅している場合はそこから給電。さらにリーフの24kWh の電源を非常用に活用することもできる。

アンリツ株式会社は、さまざまなレイヤーの技術がワンストップでテストできる「M2M 無線センサーネットワーク試験」のデモンストレーションを行なった。

NEC は、「多数の需要家蓄電池を束ねてコミュニティグリッドを構築するエネルギークラウド技術」を提案した。本技術は、「CEATEC AWARD 2014」経済産業大臣賞に輝いた。消費者や事業者がもつ蓄電池をクラウドで集中管理し、大容量蓄電池のように制御。急激な電力需給変動にも対応可能なリアルタイムデマンドレスポンスを実現する。実証実験中だが、再生可能エネルギーの普及を加速させる技術として注目される。

NEC はこのほか、エコを徹底追求した最新クラウドデータセンターやバイオメトリクス認証技術、小惑星探査「はやぶさ2」の模型を紹介し注目を集めていた。

TDK 株式会社は、同社の強みである磁性技術に特化した展示を行った。中でも磁界共鳴を利用してケーブルなしで EV に電力を伝送する「非接触給電システム」では、3kW の電力伝送システムを紹介した。EV 用以外にも産業機器用途として1kW、3.3kW の非接触給電ユニットを提案し、幅広い範囲で実用化を目指しているという。5km/h・24時間の走行試験をクリアし実用化の目処はついているという。

また、豊橋技術科学大学と大成建設株式会社も共同で、電界結合方式による走行中給電のデモンストレーションを行った。

トヨタ自動車株式会社は、水素と空気中の酸素を反応させて発電し、モーターで走行する燃料電池自動車「FCV」の2014年発売予定車両と水素ステーションを展示した。

ホンダ技研工業株式会社は、「SUISO JAPAN powered by Honda」をコンセプトに、フォーミュラカーに見立てたモックアップで燃料電池自動車のイメージを紹介するとともに、スマート水素ステーションの実物大モックアップも展示していた。

●最先端のマイクロデバイステクノロジー

最先端の製品の背景に、新たな素材開発やデバイスの進化も見えてくる。車の電子化で注目される技術が、アクセルやハンドルを電子信号で制御するドライブ・バイ・ワイヤ技術だ。

TDK 株式会社は、トランスミッション内可動体の位置検知、シフトレバーの位置検知、サスペンションの変位量検知など最適なポジションセンサや、磁気ヘッドで培った TMR 素子をハンドル角検知用に応用した TMR 角度センサなど、磁性技術を応用したセンサを大きくアピールした。

ローム株式会社は、微細化技術をアピールした。世界最小部品 RASMID® シリーズの「0201チップ抵抗器」「1005/0603過電流保護素子」、大電流を扱う新たな USB 規格「USB Power Delivery」に適したトランシーバー IC なども展示していた。

株式会社タムラ製作所は、SiC-MOSFET の低損失動作を可能とする電圧精度を確保し SiC-MOSFET 破損の原因となるコモンモードノイズを低減することで性能を最大限に引きだすゲートドライバモジュール（開発中）や LED に酸化ガリウム基盤を利用し超高輝度を実現した LED などを展示した。

アルプス電気株式会社は、通信モジュールと各種のセンサをパッケージ化した製品を展示した。Bluetooth 通信と5種類のセンサを組み込みながら、一般的なめがねのつる内に納まるモジュールを展示し微小化技術をアピールした。

太陽誘電株式会社は、体積比を93.6%まで縮小した世界最小の小型・大容量積層セラミックコンデンサ「01005コンデンサ・インダクタ」や「Bluetooth Smart モジュール」などを展示した。このモジュールを埋め込み、リアルタイムで点数がわかるダーツゲームに長い行列ができていた。

株式会社村田製作所は、ウェアラブル機器などの HMI 用途に向けた超小型ポジションセンサと、それを組み込んだメガネを展示。新たな用途を提案した。

●会場を沸かせた、多「才」なロボットたち

デバイスメーカーが力を注いでいたのが、ロボットのデモンストレーションだ。

会場で特に外国メディアから注目され、多くの TV クルーが対戦を楽しんでいたのが、オムロン株式会社の「ラリー継続卓球ロボット」。球の軌道と速度を計測しラケットを制御する、人が打ち返しやすい場所に、人の球と同じくらいの速度で返球する「気配り」がミソとなる。「ラリー継続卓球ロボット」は、「米国メディアパネルイノベーション

アワード2014」グランプリを受賞した。

タイコ エレクトロニクス ジャパン（TE）では、ステージ上の大きな恐竜、「TE サウルス」が人気的だった。この「TE サウルス」は、「歩く」「話す」「踊る」の動きができ、スマートフォンで操作できる。

株式会社村田製作所は、チアリーディング部をデビューさせた。ステージには、玉乗り型ロボットが10体（10人）。一人ひとりは自律制御しつつ、全体では超音波と赤外線による位置把握などの連携制御を行っている。自律と連携を両立するチアリーディング部は、モビリティなどへの応用を想定している。

●感性の領域をめざすデジタル技術

シャープ株式会社は、「ココロエンジン」を紹介した。AI を家電に応用して家事をサポートするアイデアだ。「ココロエンジン」を搭載した家電同士が連携し、まるでロボットのようにアドバイスやヒントをくれる。

たとえば洗濯機の側にいなくても洗濯が終わったことを近くの別の家電が教えてくれたり、太陽光発電の発電量から天気を予測して乾燥機の運転を薦めたり、家電が人に寄り添うライフスタイルを提案する。

さらにこの技術をスマートフォンに応用したのが「エモパー」だ。電池が減ると「おなかが減りました」と音声で充電を催促、就寝時間が近づくと明日のアラームがまだセットされてないなどと知らせてくれる。AI 技術と、それを擬人化した「カワイイ演出」が見事だ。

株式会社東芝は、驚くほど人の容姿に近い手話ロボットのデモンストレーションを行なった。手、指など43箇所の関節を動かす動作アルゴリズムでなめらかな動きを実現。ヘルスケアへの応用を検討しているという。

クラリオン株式会社は、デジタル信号そのもので振動板を駆動させる「フルデジタルスピーカー／ヘッドフォン」の視聴を実施した。ハイレゾリューションサウンドにも対応し、人間の五感や感性に応える技術として注目される。

パナソニック株式会社では、そのハイレゾリューション音源に対応するオーディオとして復活した「テクニクス」ブランドの製品群を披露した。ハイレゾリューションは、サンプリング周波数44.1kHz 以上、量子化ビット数16bit 以上の音源を意味し、市販 CD の約6倍以上の情報量をもち、圧倒的な解像感と豊かできめ細やかな音質を備えている。視聴室は毎回整理券が配られる盛況で、往年のオーディオファンはもちろん、圧縮音源で育った若い世代からも熱い視線を集めていた。

パイオニア株式会社は、資生堂と共同開発した世界初の調光可能な有機 EL 照明を出展。面発光による柔らかな光で、メークしやすい自然な光を再現できる。

●ユニークな技術が光ったベンチャーエリア／ユニバーシティエリア

CEATEC JAPAN 2014では、「ベンチャーエリア」が創設され、ベンチャーならではのテクノロジやベンチャー発の最新情報がいち早く紹介された。また、大学研究機関と産業界の連携、情報交換の機会を提供する「ユニバーシティエリア」をベンチャーエリアに併設し、日本発、大学、ベンチャー企業の活動を広くサポートした。

WHILL 株式会社の「WHILL Model A」は、極めてスタイリッシュな車椅子。24個のタイヤで構成された前輪のおかげで、方向転換はもちろん軽々とその場で旋回ができるほか、7.5cm までの段差を越えることができる。

慶応義塾大学理工学部システムデザイン工学科（桂研究室）では、アームを操作して自分の肩などがマッサージできるセルフマッサージロボットを展示していた。触覚を伝える研究を応用した、いってみれば「超ハイテク孫の手」だが、力の感覚がフィードバックされ微妙な力加減まで再現できる。

ガラポン株式会社は、全番組録画機「ガラポン TV」を出展した。本体をアンテナと LAN ケーブルに接続するだけで、地上デジタルテレビ8局すべての番組をワンセグで2週間分全録できる。スマートフォンや PC からネット経由で視聴できる。ワンセグという軽いデータに着目、使いやすさに徹した見事なアイデアだ。

株式会社 Moff の「Moff Band（モフバンド）」は、一般発売に先がけてベンチャーブースで量産品をお披露目していた。バンドがスマートフォンと連携し、手の動きに合わせて音を出す。チャンバラごっこ、エアギターなど楽しみ方は多彩だ。

●土曜日企画も盛況

事前登録などをしなくても無料で入場できる10月11日（土）は、家族、子供、学生向けの体験イベントなどが多数開催され大盛況となった。

「作って学ぶ体験教室」では、マグネシウム燃料電池カーの組み立てを体験。歴史的に権威のある「全日本ロボット相撲大会」も大変な盛り上がりを見せ、若年層へ電子情報技術の素晴らしさを伝承した。

会期初日にはオープニングレセプションが開催されるなか、ノーベル物理学賞受賞の大ニュースが飛び込んできた。今回の受賞は次の世代にも大きな勇気と元気を与えた。問題解決と産業創造につながるイノベーション。日本の創造力と技術力にあらためて関心が集まった CEATEC JAPAN であった。

ピックアップ 2 CEATEC ニュース

Vol.001 2014.07.17

CEATEC NEWSが最先端の情報をいち早く提供致します。

Vol.002 2014.07.17

最先端IT・エレクトロニクス総合展「CEATEC JAPAN 2014」開催概要を発表!

Vol.003 2014.08.26

海外ジャーナリストが見た“CEATEC JAPAN”(1) テクノロジーの新たな“光”を探して。

Vol.004 2014.08.26

海外ジャーナリストが見た“CEATEC JAPAN”(2) 何度でも重ねたい最先端技術との出会い。

Vol.005 2014.08.26

ベイシスイノベーション株式会社が、iBeaconを使った世界初の水族館情報配信サービスを開始

Vol.006 2014.09.04

全番組録画機「ガラポンTV」を生み出した、ガラポン株式会社がCEATEC JAPAN 2014に出展!

Vol.007 2014.09.04

今年も開催!CEATEC JAPAN 2014米国メディアパネル・イノベーションアワード

Vol.008 2014.09.12

株式会社SKRテクノロジーが宣伝効果抜群の透過型液晶モニターをCEATEC JAPAN 2014で展示

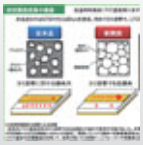
Vol.009 2014.09.16

神奈川工科大学 情報工学科はスマートフォンが持つ潜在能力とその可能性を活かして、新たな技術、システムをCEATEC JAPANで紹介

VVol.010 2014.09.17

株式会社JUICE DESIGN NUIシステム「TeLePa」

Vol.011 2014.09.22

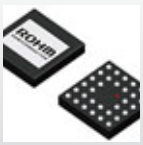


平井精密工業株式会社、高Q誘電体セラミックスを用いた、世界初のミリ波帯LTCC多層基板をCEATEC JAPANで紹介

Vol.012 2014.09.25

NKKスイッチズ株式会社が世界最小クラスの有機ELディスプレイを搭載した操作用スイッチを展示

Vol.013 2014.09.25



ローム株式会社が今年も自社ブース 特設セミナー会場で「学生のための技術セミナー」を開催!

Vol.014 2014.09.25

海外ジャーナリストが見た“CEATEC JAPAN”(3)最新の技術情報とインスピレーションの宝庫。

Vol.015 2014.09.26

株式会社ジョルテ スマホとタブレット向けのカレンダー&システム手帳アプリ「ジョルテ」を展示

Vol.016 2014.09.26

アプリックスが、近距離の情報だけを受信することができるショートレンジBeaconの発売を開始

Vol.017 2014.09.26

シャープ株式会社が、CEATEC JAPAN 2014でディスプレイデザインの自由度を飛躍的に向上させる、「フリーフォームディスプレイ」を展示

Vol.018 2014.09.29

JEITA Nextイノベーションコンファレンス「データマネジメント」

Vol.019 2014.10.01

三菱電機株式会社が、業界初、バックライトに赤色レーザーを採用した、4K対応三菱レーザー液晶テレビ「REAL」LS1シリーズ新商品を発売

Vol.020 2014.10.02

株式会社フォーラムエイト 3つの主要アイテムでCEATEC JAPANに出展

Vol.021 2014.10.02

CEATEC JAPAN2014 タイコエレクトロニクスジャパンブースで「TEオリジナルハローキティ」をプレゼント

Vol.022 2014.10.02

ビジネスメンター株式会社
Web捺印サービス
「Brownie for Stamper」を
出展

Vol.023 2014.10.02

東洋電機株式会社
太陽誘電株式会社と
共同開発する高速水中可視
光通信装置を出展

Vol.024 2014.10.02

超臨場感コミュニケーション
産学官フォーラム（URCF）
3D映像アプリケーションと
コンテンツを中心に展示

Vol.025 2014.10.02

（一社）TransferJetコンソー
シアム、「使ってみればすごく
速くて便利!」を実感できる
ブースを展開

Vol.026 2014.10.05

株式会社谷沢製作所
ヘルメットカメラ「Uメイト／
U-BOX BT」で
CEATEC JAPANに初出展

Vol.027 2014.10.05

京大、電通大、KDL、
「暮らしを変える!未来予測の
データ活用技術」のデモを
CEATEC JAPANで展示

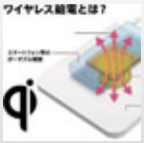
Vol.028 2014.10.07

京セラTCL ソーラー合同
会社が、世界最大の水上設
置型太陽光発電システムの
設置を開始

Vol.029 2014.10.07

京セラが米国で発表した
Verizon向け高耐久性スマート
フォン「Brigadier（ブリガデ
ィア）を CEATEC JAPAN
2014で国内初展示

Vol.030 2014.10.07



ワイヤレスパワーコンソー
シアム ワイヤレス給電の世界
が広がるブースを展開

Vol.031 2014.10.07

株式会社ピーエスシー
P-Launcher/BCR･ID-
Connector/BCR と
DocuMakerで
新しいデータ活用を提案

Vol.032 2014.10.07

ローム株式会社らが、
高電圧パルス発生器向けの
SiC搭載スイッチモジュール
を開発

Vol.033 2014.10.08

経済産業省 T3プロジェクト
ハードウェアベンチャーの
可能性を社会に提示

Vol.034 2014.10.08

株式会社大真空
新製品を展示

Vol.035 2014.10.08

パナソニック株式会社
システムLSI事業部が、業界
初の4K60p HEVCデコーダ
「ProXStream EX」を発表

Vol.036 2014.10.08

三菱電機株式会社
自動車向け「簡単操作イン
ターフェイス」のデモを展示

Vol.037 2014.10.08

クラリオン株式会社、
フルデジタルスピーカー
システムを積極展開

Vol.038 2014.10.08

三菱電機株式会社の「ひまわ
り8号」CEATEC JAPAN初日
に打ち上げ成功

Vol.039 2014.10.08

スミダコーポレーション株式
会社 車載機器用、民生機器用、
産業機器用を3本柱として
出展

Vol.040 2014.10.09

京セラグループ 自動車にも使わ
れる液晶ディスプレイを製造
する京セラグループは、技術の
粋を集め自動車のコックピット
を作成して展示している。

Vol.041 2014.10.09

交換用プロジェクターランプ
のBoon Trading Japan
株式会社 CEATEC JAPANに
初出展

Vol.042 2014.10.09

CEATEC JAPAN 2014
オープニングレセプション
開催!

Vol.043 2014.10.09

パナソニック株式会社
タッチ操作できる
世界最大級の4Kモニターを
展示

Vol.044 2014.10.09

ニチコン株式会社
充電器一体型DC−DCコン
バータ搭載の電気自動車を
展示

Vol.045 2014.10.09

シャープ株式会社
「フルスペック8K液晶ディス
プレイ」が総務大臣賞を受賞

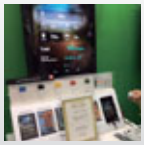
Vol.046 2014.10.09

NTTドコモ
皮膚から出るアセトンを
測定して、体脂肪燃焼を
「見える化」するデバイスを
展示

Vol.047 2014.10.09

レシップエスエルピー株式
会社 リチウムバッテリ採用
の屋外無停電電源装置で
CEATEC JAPANに初出展

Vol.048 2014.10.09



ローム株式会社 CEATEC
AWARD 2014 ソーシャル・
イノベーション部門 準グラ
ンプリ受賞の「ウェアラブル
キーデバイス」を展示

Vol.049 2014.10.09

株式会社東芝、
近接超高速無線伝送技術
「TransferJet™」の
USBモジュールなどを展示

Vol.050 2014.10.09

富士通
楽しいショッピングを
演出する個客プロモーション
を提案

Vol.051 2014.10.09

タイコ エレクトロニクス
ジャパン ステージで、
巨大な恐竜が「歩く」、「話す」、
「踊る」!

Vol.052 2014.10.09

華為技術日本（ファーウェイ・ジャパン）最新機種を紹介

Vol.053 2014.10.09

アイティーアスト 独自の新技術『レストグラフィー』で名刺に顔がでない顔写真を提案

Vol.054 2014.10.09

パナソニック株式会社 高級オーディオブランド「Technics」の復活に、来場者の熱い支持

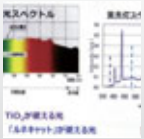
Vol.055 2014.10.09

アイシン精機 眠りを測る&見守る新技術を紹介

Vol.056 2014.10.09

富士通 3D技術による“モノを作らないものづくり”を提案

Vol.057 2014.10.09



株式会社東芝、室内光でも除菌・消臭効果のある酸化タングステン触媒「ルネキャット®」をCEATEC JAPANに初出展

Vol.058 2014.10.09

千葉県・千葉市 CEATEC JAPANで企業向け工業団地をPR

Vol.059 2014.10.10

パイオニア 車とネットワークがつながる新しいカーライフをプロジェクションマッピングで紹介

Vol.060 2014.10.10

自動車部品メーカーのデンソー株式会社は、インホイールモーター「X-mobility」やスマートフォン対応アプリ専用リモコン「KKP（くるくるピ）」などを展示している。

Vol.061 2014.10.10

NTTドコモ 歩きスマホしなくても、指に伝わる触感でナビゲーション

Vol.062 2014.10.10

技術ベンチャーの ユカイ工学株式会社 コミュニケーションロボット「BOCCO」を展示

Vol.063 2014.10.10

エプソン販売株式会社、従来比約3分の1の軽さのスマートグラス MOVERIO「BT-200」シリーズを展示

Vol.064 2014.10.10

本田技研工業株式会社、スマート水素ステーションの実大模型を展示

Vol.065 2014.10.10

レイトロンが自立支援向け コミュニケーションロボット『Chapit』を紹介

Vol.066 2014.10.10

コニカミノルタ メガネ型ウェアラブルコミュニケーターを体験

Vol.067 2014.10.10

NHKとJEITA共催で、最新技術とサービスの最前線を展示中

Vol.068 2014.10.10

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会、CEATEC JAPANとしては初の16年ぶりブース出展

Vol.069 2014.10.10

「健康をつくる」タニタの提案

Vol.070 2014.10.10

Bluetooth SIGメンバー企業7社が最新のBluetooth製品の展示

Vol.071 2014.10.10

アルプス電気株式会社 近未来コックピットやセンサネットワークモジュールなど最新の製品・技術を披露

Vol.072 2014.10.10

ローム株式会社 商業施設や医療現場の状況把握に最適な「SynapSensor」のデモンストレーションを実施

Vol.073 2014.10.10

オムロンの卓球ロボットは、機械が人に合わせてくれる、心優しいロボット

Vol.074 2014.10.11

本田技研工業株式会社「走る発電所」を実現する可搬型インバーターボックスを展示

Vol.075 2014.10.11

ITヘルスケアの標準化を推進する コンティニュア・ヘルス・アライアンスが今年も出展

Vol.076 2014.10.11

CEATEC AWARD 2014 部門賞決定!

Vol.077 2014.10.11

マツダ株式会社、夜間走行の安全性を高める新技術「アダプティブ・LED・ヘッドランプ」を初公開

Vol.078 2014.10.11

熊本大学、「末吉研究室」「日の丸FPGA」と「自己修復ディペンダブル」の研究を展示

Vol.079 2014.10.11

シャープ株式会社 暗闇でもカラー撮影できる赤外線暗視カメラ

Vol.080 2014.10.11

日本ケミコン株式会社 CEATEC JAPANで「電気二重層キャパシタ」を展示

Vol.081 2014.10.11

米国メディアパネル・イノベーションアワード2014 グランプリはオムロン株式会社“卓球ロボット”が受賞

Vol.082 2014.10.11

マツダ株式会社
アクセラをベースとした
自動走行システム搭載車を
展示

Vol.083 2014.10.11

ネットワンシステムズ株式会社
マルチクラウド統合管理
プラットフォーム「CliQr」や
WAN仮想化ソリューション
「velocloud」などを展示

Vol.084 2014.10.11

京セラ タフネススマートフォン
「TORQUE G01」の3つの性能
を強力アピール

Vol.085 2014.10.11

Korins（コリンス）、
節電に役立つ「スマートエネ
ルギー測定器SEM3000」を
出展

Vol.086 2014.10.11

太陽誘電株式会社、
世界最小のコンデンサ・イン
ダクタ「01005」を展示

Vol.087 2014.10.11

慶應義塾大学 桂研究室、
肩マッサージ用のヘルスケア
ロボットを展示

Vol.088 2014.10.11

日本電気硝子株式会社、
ゼロ膨張ガラス「ZERO」ほか
最先端技術を6つのカテゴリー
別に紹介

Vol.089 2014.10.11

NECの新サーバーセンター、
新冷却システムで消費電力
を4割削減

Vol.090 2014.10.11

TDK、
ワイヤレス給電の超小型
ユニットを参考出展

Vol.091 2014.10.11

トヨタ自動車株式会社、
新世代テレマティクス
「T-connect」をアピール

Vol.092 2014.10.11

人材スカウトの
テクノブレーン株式会社、
特許分析システム「ウルトラ・
パテント」をデモ展示

Vol.093 2014.10.11

NECが
世界中で活用されている
生体認証システムの
導入事例を紹介

Vol.094 2014.10.11

村田製作所が
bluetooth® Smart
モジュールとセンサによる
新しいライフログツールを
提案

Vol.095 2014.10.11

オムロンが
振動発電を利用した
完全自立型の
センシングユニットを考案

Vol.096 2014.10.13

シャープが考える車の安全、
360度フリービューシステム

Vol.097 2014.10.13

NECが治安維持を支える
最新の映像解析技術を紹介

Vol.098 2014.10.13

タムラ製作所で
高輝度LEDを実現する
酸化ガリウム基盤のデモ

Vol.099 2014.10.13

アンリツ株式会社、
M2M無線センサーネット
ワーク試験の様子を公開

Vol.100 2014.10.13

パイオニア、
「シースループロジェクション」
がさらに進化して登場

Vol.101 2014.10.13

WHILLがめざしたのは、
機能性とデザインが
融合したスタイリッシュな
パーソナルモビリティ

Vol.102 2014.10.13

ミツミ電機株式会社、
920MHz帯無線通信
Z-Wave®準拠 モジュールや
業界最小サイズの
タクティールスイッチを展示

Vol.103 2014.10.13

パナソニック、
Technics C700シリーズを
試聴!

Vol.104 2014.10.15

CEATEC JAPAN 2014、
来場者の様々な声を
ピックアップ。

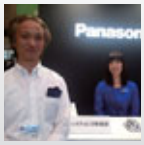
Vol.105 2014.10.15

『ジュニア&キッズ
作って学ぶ体験教室』を開催

Vol.106 2014.10.15

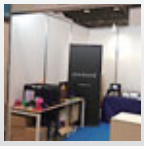
『ハードウェアベンチャーの
可能性』と題して、CEATEC
JAPANの最終日、ホール4の
オープンステージでパネル
ディスカッションが行われた。

Vol.107 2014.10.15



CEATEC JAPAN 2014の
出展者の声を
聞かせていただきました

Vol.108 2014.10.15



アメリカ大使館・商務部、
CEATEC JAPANで
アメリカ企業を応援

Vol.109 2014.10.15

CEATEC JAPAN 2014
登録来場者数150,912人
（2013年比9,564人増、
同6.8%増）と上昇に転じ、
閉幕

キーノートスピーチ・ゲストスピーチ・NEXT イノベーションセッション・特別講演・スペシャルセッション

CEATEC JAPAN2014 のコンファレンスでは、産業界のリーダーがメッセージを発信するキーノート、ゲストスピーチの他、新技術･新製品の発表･紹介や、カテゴリーごとの出展者セミナーなど、開催期間中 120 の講演・セミナーなどが開催された。

10月7日（火）

キーノートスピーチ

K-01　14:00-14:45　**新技術で創る新時代～新技術における顧客への貢献～**

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 会長
株式会社豆蔵ホールディングス 代表取締役社長　荻原 紀男 氏

キーノートスピーチ

K-02　15:00-15:45　**ICT が拓く未来～安心、安全、快適な社会へ～**

株式会社東芝　取締役　副会長　佐々木 則夫 氏

キーノートスピーチ

K-03　16:00-16:45　**強い IT・エレクトロニクス産業がリードする、ビジネス・社会イノベーション**

富士通株式会社　代表取締役社長　山本 正已 氏

特別講演

SP1-01　10:30-13:00　**経済産業省 新産業創出フォーラム**

- **「稼ぐ力」の強化による「経済の好循環」の実現　～情報関連施策を中心に～**　経済産業省 商務情報政策局長　富田 健介 氏
- **ビッグデータ利活用の推進について**　経済産業省 商務情報政策局 情報経済課長　佐野 究一郎 氏
- **官民ビッグデータを活用した『地域経済分析システム』について**　中小企業庁 事業環境部調査室長　水野 正人 氏
- **経済産業省における医療機器産業政策について**　経済産業省 商務情報政策局 医療・福祉機器産業室長　土屋 博史 氏

ゲストスピーチ

G-01　11:00-12:00　**Cloud is the “Game Changer” ～クラウドが変える IT エコシステム～**

アマゾン データ サービス ジャパン株式会社 代表取締役社長　長崎 忠雄 氏

10月8日（水）

キーノートスピーチ

K-04　10:00-11:00　**2020年に向けた我が国のモバイル / モビリティサービス ～東京五輪をグローバル展開に向けた契機に～**

【モデレータ】　株式会社三菱総合研究所 経営コンサルティング本部　商品・サービス戦略グループ 主任研究員　大山 元 氏
【パネリスト】　株式会社 NTT ドコモ・ベンチャーズ 取締役副社長　秋元 信行 氏
株式会社ナビタイムジャパン トータルナビ事業 事業責任者 兼サービス開発6部 部長　萩野 良尚 氏
楽天株式会社 トラベル事業　編成・マーケティング部 マネージャー　宇田川 敦史 氏

NEXT イノベーション

NEXT-01　11:15-12:30　**ウエアラブルと IoT は次のスマホか : ビジネスとライフスタイルのクール IT**

ウェアラブル

- **挨拶**　アメリカ大使館 商務部 ICT 産業ユニット 上席商務専門官　斉藤 りか 氏
- **トレンドセッション**
  ウエアラブルと IoT は次のスマホか : ビジネスとライフスタイルのクール IT
  IT ジャーナリスト　湯川 鶴章 氏
  株式会社ジョリーグッド 代表取締役 CEO　ウエアラブル・テック・エキスポ 総合ディレクター　上路 健介 氏
- **これからの働き方を変える、IoT 時代のクラウドデバイスについて**　グーグル株式会社 エンタープライズ部門　日本代表 マネージングディレクター　阿部 伸一 氏
- **ウェアラブルで人々の生活をより良く**　ジョーボーン セールス＆マーケティング部　ジェネラルマネージャー（日本代表）　岩崎 顕悟 氏
- **マイクロソフトの新たな時代の幕開け / クラウドとデバイスのイノベーション**　日本マイクロソフト株式会社 マイクロソフトテクノロジーセンター センター長　澤 円 氏

NEXT イノベーション

NEXT-02　12:45-13:45　**ウェアラブルデバイスの動向と将来**　神戸大学大学院 工学研究科電気電子工学専攻 教授　塚本 昌彦 氏

ウェアラブル

NEXT イノベーション

NEXT-03　14:00-15:00　**クラウドで Sler はどう変わるか? どう変わったか?**　サイボウズ株式会社 代表取締役社長 青野 慶久 氏

ソフトウェア／コンテンツ

スペシャルセッション

SP-02　14:00-17:30　**第5世代移動通信システム国際ワークショップ2014**

- **歓迎挨拶 :**　① 総務省　総務大臣政務官　長谷川 岳 氏　② 国際電気通信連合 無線通信部門（ITU-R）研究委員会担当部 部長　コリン ラングリー 氏
- **プレゼンテーション :**　【キーノートスピーカー】第5世代移動通信 システム国際ワークショップ2014 組織委員会委員長　吉田 進 氏（京都大学 特任教授 名誉教授）
  【スピーカー】ITU-R 第5研究委員会作業部会 D（WP5D）副議長　ハカン オルセン 氏（エリクソン）
  第5世代インフラストラクチャー協会役員会 議長　第5世代官民パートナーシップ（5G Public-Private Partnership）　ヴェルナー ムーア 氏（ノキア）
  中国 IMT-2020プロモーション協会 副議長　ワン ジキン 氏（中国情報産業部電信研究院）
  韓国 第5世代フォーラム 運営委員会 議長　ハン ヨンナン 教授（韓国科学技術院）
  一般社団法人電波産業会（ARIB）2020 and Beyond Ad Hoc リーダ　中村 武宏 氏（NTT ドコモ）
- **パネルディスカッション :**　【モデレータ】関口 和一 氏（日本経済新聞社 論説委員 編集委員）
  【パネリスト】ハカン オルセン 氏、ヴェルナー ムーア 氏、ワン ジキン 氏、ハン ヨンナン教授、中村 武宏 氏

10月9日（木）

キーノートスピーチ

K-05 10:00-11:00 **ICT による成長戦略　～地域における産業の活性化と人口増～**　総務省 情報通信国際戦略局 情報通信国際戦略局長　鈴木 茂樹 氏

NEXT イノベーション

NEXT-04 11:30-13:00 **第5回「ヘルスケア産業イノベーションフォーラム」**
～ NEXT – ヘルスケア×ロボット技術産業の革新と新市場の創出に向けて ～

ヘルスケア・医療　ロボティクス

●ロボット介護機器開発・導入促進事業について　経済産業省 製造産業局　産業機械課　課長補佐（技術担当）平田 卓也 氏
●介護医療支援パートナーロボットの開発状況　～すべての人に移動の自由を～　トヨタ自動車株式会社 パートナーロボット部 部長　玉置 章文 氏

NEXT イノベーション

NEXT-05 13:30-14:30 **ロングテール時代における楽天のデータ戦略**　楽天株式会社 楽天技術研究所 / 代表 森 正弥 氏

データマネジメント

NEXT イノベーション

NEXT-06-1 14:45-15:45 **ビッグデータ活用の5つのワナ＆経営視点での戦略的活用術**
日本マネジメント総合研究所 LLC シニア・ビッグデータ・ストラテジスト / 理事長 戸村 智憲 氏

セキュリティ／サーベランス

NEXT イノベーション

NEXT-06-2 16:00-17:00 **ビッグデータの理想と現実**　国立情報学研究所 教授　佐藤 一郎 氏

セキュリティ／サーベランス

特別講演

SP3-01 11:30-12:30 **「未来はこう変わる」最新ワークプレイス事例に紐解く、次に求めるテクノロジーとオフィス環境の融合】**
ゲンスラー アンド アソシエイツ インターナショナル リミテッド　アジア地区デザインディレクター プリンシパル　東京オフィス　天野 大地 氏
ゲンスラー アンド アソシエイツ インターナショナル リミテッド　ワークプレイス / コンサルティング部門リーダー プリンシパル
ワシントン D.C. オフィス　ジャネット・ポーグ・マクローリン 氏

10月10日（金）

NEXT イノベーション

NEXT-07 13:00-15:15 **自動運転の実現に向けて**

モビリティ

13:00 – 13:30　**一研究者から見た自動車の自動運転の課題**　慶應義塾大学 大学院政策・メディア研究科 教授　大前 学 氏
13:30 – 14:00　**全ての人に「走る歓び」を提供し続けるための自動運転技術**
マツダ株式会社 常務執行役員 ビジネス戦略・商品・デザイン・コスト革新担当 R&D リエゾン室長　藤原 清志 氏
14:05 – 15:15　**パネルディスカッション**　■パネリスト　慶應義塾大学 大学院政策・メディア研究科 教授　大前 学 氏
マツダ株式会社 技術研究所 主幹研究員　栃岡 孝宏 氏
株式会社野村総合研究所 グローバル製造業コンサルティング部 エレクトロニクス産業グループ グループマネージャー　畫間 敏慎 氏
経済産業省 製造産業局 自動車課 電池・次世代技術・ITS 推進室長　吉田 健一郎 氏
■モデレータ　日経 Automotive Technology 編集長　林 達彦 氏

特別講演

SP4-01 10:30-12:30 **新しいスマートメーター実装**
～スマートメーターとスマートハウスの相互接続へ～

エネルギー／環境

経済産業省資源エネルギー庁 電力・ガス事業部 電力市場整備課 課長補佐　日髙 圭悟 氏
JSCA スマートハウス・ビル標準・事業促進検討会 副座長 / 神奈川工科大学 HEMS 認証支援センター 所長 / エコーネットコンソーシアム アドバイザリーフェロー　一色 正男 氏
中部電力株式会社 お客さま本部 配電部 次世代配電系統グループ グループ長　植地 修也 氏
JSCA スマートハウス・ビル標準・事業促進検討会 副座長 / 資源エネルギー庁スマートメーター制度検討会 委員 / エコーネットコンソーシアム アドバイザリーフェロー　梅嶋 真樹 氏
一般社団法人エコーネットコンソーシアム 評議員　児玉 久 氏
日本電信電話株式会社 研究企画部門 プロデュース担当（スマートコミュニティプロデュース）担当部長（チーフプロデューサ）　木村 誠 氏
株式会社東芝 社会インフラシステム社 電力流通システム事業部グリッドソリューション推進部 部長　斎藤 英揮 氏
東京電力株式会社 スマートメーター推進室 副室長　中嶋 好文 氏
関西電力株式会社 電力流通事業本部ネットワーク 技術部門専任部長（スマートグリッド）　松浦 康雄 氏
パナソニック株式会社 全社 CTO 室 エネルギープラットフォーム事業開発室 室長　水野 治展 氏
WS1 Chair, G3-PLC Alliance　Richard Schomberg 氏

特別講演

SP4-02 14:00-15:00 **世界最先端 IT 国家創造宣言について**　内閣官房 内閣情報通信政策監（政府 CIO）　遠藤 紘一 氏

特別講演

SP4-03 15:30-17:00 **Bluetooth が実現する新しい IoT “ あらゆるモノのインターネット ”**

通信／NET

15:30 – 15:50　**CONNECTING YOUR IMAGINATION**
Bluetooth SIG., Inc. Mr. Vincent Gao
Technical Program Manager, Application Developer Program

15:50 – 16:20　**Bluetooth Smart Wearables IoT & DFU**
Nordic Semiconductor ASA カントリー・マネージャー　山崎 光男 氏
16:20 – 16:40　**Innovation with Bluetooth Smart**
Dr. Hamid Admadi
Vice President and Chief Innovation Officer CSR Technologies Inc, San Jose, California
16:40 – 17:00　**ワイヤレス・センサネットワークに最適なデバイス**
ラピスセミコンダクタ株式会社 無線通信 LSI 開発ユニット　野田 光彦 氏

▶IT・エレクトロニクスの未来へとつなぐ、さまざまな講演・セミナー・パネルディスカッションなどを開催しました。

10.7 水

総務省 ICT イノベーションフォーラム2014

SP1　10:00-17:00　国際会議場3階 301-304会議室

総務省では、社会経済ニーズに応え、イノベーションを実現する情報通信分野の研究開発の推進に戦略的に取り組んでいます。
本フォーラムは、総務省が推進する研究開発のうち、「ICT重点技術の研究開発」及び「戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）」について、研究開発成果に関する講演や展示等を行うことにより、その利活用や社会展開を推進することを目的としています。

10:00 – 10:10
●開会挨拶　総務省 大臣官房総括審議官 武井 俊幸 氏

10:10 – 10:40
●特別講演
「言葉の壁を超えるグローバルコミュニケーション」
独立行政法人情報通信研究機構
ユニバーサルコミュニケーション研究所 研究所長
木俵 豊 氏

10:45 – 15:40
●成果発表（オーラルセッション／ポスターセッション）
ICT 重点技術の研究開発　(8課題10件)
戦略的情報通信研究開発推進事業 (SCOPE)　(47課題)

15:40 – 16:20
●イノベータースペシャルトーク
「ビッグデータ処理技術の進化とエッジヘビーコンピューティング」
株式会社 Preferred Infrastructure 代表取締役 最高経営責任者
西川 徹 氏

16:20 – 16:35
●総務省の取り組みの紹介
「総務省における研究開発施策の検討状況について」
総務省 情報通信国際戦略局 技術政策課長　野崎 雅稔 氏

10.8 水

GCCE2014 特別シンポジウム・基調講演

SP2-01　10:00-13:30　国際会議場2階 コンベンションホール A

女性エンジニアが拓く!輝く未来

●主催者挨拶：
IEEE Consumer Electronics Society WIE Chair　野中 誉子 氏

●来賓挨拶：日本の男女共同参画の現状と推進施策について
男女共同参画局推進課 推進担当補佐　湯澤 麻起子 氏

●オープニングキーノート：大学入試をベンチマークとして総合的知的タスクに挑戦する人工知能プロジェクト
国立情報学研究所 社会共有知研究センター センター長　新井 紀子 氏

●テクニカルキーノート1：グラスレス3D レグザ TM 開発の道のりと、東芝らしいユーザーエクスペリエンス（UX）デザイン
株式会社東芝 デザインセンター 戦略デザイン推進部 兼
研究開発センター インタラクティブメディアラボラトリー　福島 理恵子 氏

●テクニカルキーノート2：ソーシャルメディア分析の効果と影響
千葉商科大学 准教授　橋本 隆子 氏

●パネルディスカッション：
【モデレーター】独立行政法人 情報通信研究機構 監事　土井 美和子 氏
【パネリスト】新井 紀子 氏、福島 理恵子 氏、橋本 隆子 氏

● IEEE WIE 紹介
IEEE R10 Women In Engineering コーディネイター (2011-2014)
IEEE Women In Engineering 次期会長 (2015)　橋本 隆子 氏

国際学会の現状と展望

●主催者挨拶：
IEEE Consumer Electronics Society　会長　Stefan Mozar 氏

● User-Oriented Innovation Triggered by Societies
映像情報メディア学会　次期会長　土井 美和子 氏

● The Institute of Electronics and Information Engineers (IEIE), Korea
IEIE（韓国電子情報学会）　会長　Young Shik Moon 氏

● Future Direction of IEEE Consumer Electronics Society
IEEE Consumer Electronics Society　会長　Stefan Mozar 氏

●パネルディスカッション
【モデレーター】Stefan Mozar 氏
【パネリスト】土井 美和子 氏、Young Shik Moon 氏

10.8 水

CS2-G1　11:00-12:00　国際会議場2階 201会議室

世界における4K/8K テレビ市場動向

Futuresource Consulting Ltd.
Senior Market Analyst Home Electronics　Mr. Jack Wetherill

NET2-12　12:30-13:30　国際会議場2階 201会議室

2012年のロンドン大会：Wi-Fi からセキュリティまで、最新の技術を集めた世界のショーケースだった。

BT ジャパン株式会社 BT ジャパン CTO
ヘッドオブソリューション・エンジニアリング（AMEA 地域）　フィリップ モリス 氏

CS2-G3　14:00-15:00　国際会議場2階 201会議室

モビリティ社会でのウェアラブル市場動向

Futuresource Consulting Ltd.
Associate Director, Consumer Electronics　Mr. Simon Bryant

CS2-G4　15:30-16:30　国際会議場2階 201会議室

モバキャス市場活性化に向けた今後の展望

ISDB-T マルチメディアフォーラム

【モデレーター】
上智大学文学部 新聞学科 教授 文学部新聞学科長　音 好宏 氏

【パネリスト】
株式会社 mmbi
株式会社フジテレビジョン
日本映画衛星放送株式会社
株式会社 AXN ジャパン
株式会社アニマックスブロードキャスト・ジャパン
株式会社スカパー・エンターテイメント

NET2-01　10:00-11:00　国際会議場3階 301A 会議室

アクセシビリティセミナー2014ー情報通信アクセス協議会ー Web アクセシビリティ－海外の気になる動きと日本国内の最新動向

株式会社インフォアクシア 代表取締役　植木 真 氏

NET2-02　11:30-12:30　国際会議場3階 301A 会議室

アクセシビリティセミナー2014ー情報通信アクセス協議会ー Web アクセシビリティの標準規格「JIS X 8341-3:2010」準拠のための試験方法（最新版）

株式会社ミツエーリンクス 第二本部 第一部 部長　中村 精親 氏

NET2-03　13:00-14:00　国際会議場3階 301A 会議室

最近の HATS におけるトピックスの紹介 ～ G3-PLC、10G-EPON 等～

●通信機器の相互接続性確保に向けて
ー高度通信相互接続推進会議 (HATS) の最近の活動についてー
HATS 推進会議 沖電気工業株式会社 通信システム事業本部 統括部長
高呂 賢治 氏

● HATS G3-PLC レイヤ3・レイヤ4相互接続試験活動
HATS 推進会議 株式会社東芝 電力流通システム事業部
グリッドソリューション推進部 スマートメーターシステム技術部 / 参事
神田 充 氏

● Ethernet PON の相互接続性試験に関する取り組みと標準化活動
HATS 推進会議 日本電信電話株式会社
NTT アクセスサービスシステム研究所 光アクセス基盤プロジェクト
光アクセス基盤 SE グループ グループリーダ、主幹研究員
鈴木 謙一 氏

NET2-04　14:30-15:30　国際会議場3階 301A 会議室

携帯電話や無線 LAN だけではない電波政策

総務省 総合通信基盤局 電波部 電波政策課 統括補佐　根本 朋生 氏

NET2-05　16:00-17:00　国際会議場3階 301A 会議室

2014年度携帯電話の利用実態調査 “70代も加えた1,400人への留置調査実施 既存キャリアサービス以外の利用の活発化も”

一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会
①移動通信委員会・企画調査 WG 主査
（株式会社日立国際電気 モバイルシステム営業本部 担当部長）　青柳 雄二 氏
②株式会社シード・プラニング 主席研究員／コンサルタント　杉本 昭彦 氏

S2-02　11:00-12:00　国際会議場3階 301B 会議室

組込み系ソフトウェア開発の課題分析と提言 ～アーキテクトをどのように育てるのか～ （JEITA 調査結果報告）

沖電気工業株式会社
ソリューション&サービス事業本部 ソフトウェアセンタ技術部
ソフトウェアエンジニアリングチーム シニアスペシャリスト　五味 弘 氏

NET2-13　13:00-14:30　国際会議場3階 301B 会議室

技術基準認証制度に関する最新動向

総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部 電気通信技術システム課 課長補佐
川崎 光博 氏
総務省 総合通信基盤局 電波部 電波環境課 電波環境推進官　小笠原 通晴 氏
一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会
適合性評価委員会 委員長（京セラ株式会社）　山本 慶和 氏

10.8 水

NET2-14 15:00-17:00 国際会議場3階 301B 会議室

JEITA CE 部会セミナー2014
～次世代放送に関する最新動向と展望～

●テレビドラマにおける4K の魅力と課題
株式会社 WOWOW 制作局ドラマ制作部 岡野 真紀子 氏

●4K 放送の現状と BT.2020の検討
スカパー JSAT 株式会社 有料多チャンネル事業部門
事業戦略室 事業戦略部 開発チーム サービス開発主幹 今井 豊 氏

●放送通信融合時代におけるこれからのテレビとは
NHK 放送文化研究所 メディア研究部 主任研究員 村上 圭子 氏

SP2-11 10:00-13:00 国際会議場3階 302会議室

JEITA 標準化セミナー
「スマートなヒューマンライフと標準化活動」

●国が推進する産業振興・発展のための国際標準化政策について
経済産業省 産業技術環境局 国際電気標準課 統括基準認証推進官 辻本 崇紀 氏

●スマートホームの通信技術の現状
国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 教授 丹 康雄 氏

●スマートコミュニティに基づいた社会システムの実現と標準化
独立行政法人 産業技術総合研究所 統合知能研究グループ長 谷川 民生 氏

●医療・ヘルスケア事業のグローバル化と国際標準化
日本光電工業株式会社
技術戦略本部 基本技術部 標準化推進担当 課長 倉部 勇一 氏

E2-03 14:00-17:00 国際会議場3階 302会議室

JEITA 環境フォーラム2014

●気候変動枠組条約締約国会議に向けた取り組み
経済産業省 産業技術環境局 環境政策課 地球環境対策室 室長 田尻 貴裕 氏

●温暖化対策のための技術政策のあり方
ー IPCC の知見を踏まえてー
気候変動に関する政府間パネル（IPCC）統括執筆責任者
一般財団法人 電力中央研究所 上席研究員 杉山 大志 氏

●電機・電子機器における国際標準化の概要
ーグローバルビジネスに影響を与える環境標準規格の方向性ー
IEC TC111 国際議長
株式会社日立製作所 知的財産権本部国際標準化推進室 主管技師長
市川 芳明 氏

●ミドリムシを活用した新産業の可能性について
～エネルギーから食糧問題まで～
株式会社ユーグレナ 取締役研究開発部長 鈴木 健吾 氏

S2-11 10:00-11:00 国際会議場3階 303会議室

Android Wear Developer Future
株式会社トップゲート Android エンジニア 小林 明大 氏

S2-12 11:30-12:30 国際会議場3階 303会議室

モバイル／ウエアラブルデバイスにおける UX
株式会社エクサ コンサルティング推進部 担当課長 安藤 幸央 氏

S2-13 13:00-14:00 国際会議場3階 303会議室

アプリ開発における BaaS 活用のシナリオ
日本マイクロソフト株式会社
デベロッパーエクスペリエンス&エバンジェリズム統括本部 エバンジェリスト
渡辺 友太 氏

S2-14 14:30-15:30 国際会議場3階 303会議室

iOS の最新技術動向
株式会社ユビレジ 岸川 克己 氏

S2-15 16:00-17:00 国際会議場3階 303会議室

IoT のセキュリティ脅威と今後の動向
NPO 日本ネットワークセキュリティ協会 IoT セキュリティ WG
株式会社シマンテック セキュリティソリューション SE 部
シニアプリンシパルセールスエンジニア
兜森 清忠 氏

CS2-S1 11:00-12:00 国際会議場3階 304会議室

第5世代セルラネットワークのためのミリ波通信技術
Opening
Prof. Kei Sakaguchi
(Osaka Univ)

「Harvesting Millimeter Wave Spectrum for 5G – Ultra High Wireless Capacity – Challenges and Opportunities – a view from the MiWEBA project」
Mr. Thomas Haustein (HHI)
Head Wireless Communications and Networks – Fraunhofer Heinrich-Hertz-Institute

「Antennas, Propagation and Transceiver IC Technologies for Millimeter Wave Radio Systems for 5G Networks -the Tokyo Tech Wireless Fiber Project-」
Prof. Makoto Ando (Tokyo Tech)
Past President IEEE AP Society,
URSI Vice-President, IEICE Vice- President,
Dept. Electrical & Electronic Engineering,
Tokyo Institute of Technology

「5G UDN Capacity and mmWave Solution」
Dr. Wen Tong (Huawei)
Huawei Fellow, IEEE Fellow,
Huawei Technologies Canada

「Remarks from Ministry of Internal Affairs and Communications, Japan」
Mr. Kazuyoshi Suzuki (MIC)
SENIOR OFFICER FOR INNOVATIVE TECHNOLOGY PROMOTION,
MIC Global ICT Strategy Bureau Technology Policy Division,
The ministry of Internal Affairs and Communications

「3GPP-style Statistical Channel Models and Directional Beamforming Models for Outdoor and Indoor Millimeter-Wave Wireless Communications」
Mr. Mathew K. Samimi (NYU)
Mr. George N. Wong (NYU)
Prof. Theodore S. Rappaport (NYU)
NYU Wireless, Polytechnic School of Engineering, New York University

「Exploiting mmWave-based Smart Antennas Technologies for Next Generation Cellular Networks」
Dr. Wonbin Hong (Samsung Electronics)
Principal Engineer, Samsung Electronics

「5G mmWave Communication:Network Archive and Platforms」
Dr. Geng WU, (Intel)
Chief architect and director of Standards and Advanced Technologies,
Mobile Communications Group at
Intel Corporation

E2-13 12:15-13:15 国際会議場1階 101B 会議室

プリンターの技術動向
『ちょっと変わってきた電子写真とインクジェット、根強い感熱・熱転写とドットインパクト』
一般社団法人電子情報技術産業協会
プリンター専門委員会 プリンター技術分科会
株式会社リコー 画像エンジン開発本部 技術企画室 シニアスペシャリスト
木村 重昭 氏

E2-14 13:45-14:45 国際会議場1階 101B 会議室

省エネルギー／エネルギー効率をさらに向上させるには?

13:45-14:15
●「連携制御」の概要と導入事例
一般社団法人 電子情報技術産業協会（JEITA）
制御・エネルギー管理専門委員会 WG1連携制御 副主査
アズビル株式会社
アドバンスオートーメーションカンパニー エンジニアリング本部
アドバンスト・ソリューション部 最適計画グループ マネージャー 鈴木 康央 氏

14:15-14:45
● ISO50001「国際標準のエネルギー管理手法
～エネルギー性能指標（EnPI）導入ガイド～」を活かすために
一般社団法人 電子情報技術産業協会（JEITA）
エネルギーマネジメント標準化専門委員会
横河電機株式会社
IA-MK 本部 グリーンファクトリー推進室 標準化推進グループ 大内 俊之 氏

S2-21 15:00-16:00 国際会議場1階 101B 会議室

IT × !～ Innovation by surprise ～
『IT に驚きと革新を　そんなニュービジネスの提案!』
ビジネスプランコンテスト優勝&準優勝チーム

10.9 木

SP3-03 14:00-17:00 国際会議場2階 201会議室

JEITA デザインフォーラム～未来洞察からシナリオ創造ーデザインの活かし方ー」

●未来洞察からシナリオ創造 ーデザインの活かし方ー
国立大学法人 一橋大学 大学院 商学研究科 准教授 鷲田 祐一 氏

●事例紹介「ユーザーに寄り添うパブリックトイレデザイン」
TOTO 株式会社 デザイン本部 プロダクトデザイン部 主席デザイナー 谷 稔 氏

パネルディスカッション
【パネリスト】 鷲田 祐一 氏　谷 稔 氏
【モデレーター】JEITA デザイン委員会 山崎 明 氏

DM3-01 10:00-11:00 国際会議場3階 301A 会議室

カセットハードディスク国際規格 "iVDR" の現状と今後の展開
一般社団法人 iVDR コンソーシアム 理事長 助田 裕史 氏

10.9 木

DM3-02　11:30-12:30　国際会議場3階 301A 会議室

ITトレンド調査報告・ビッグデータ、クラウドの取り組み

一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）
ITプラットフォーム事業委員会 委員長　村野井 剛 氏
一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）
ITプラットフォーム事業委員会 プラットフォーム企画専門委員会 委員長
石橋 賢一 氏
一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）
ITプラットフォーム事業委員会 ネットワークストレージ WG 主査
岸本 哲哉 氏

H3-01　12:45-13:45　国際会議場3階 301A 会議室

「計算」技術が拓くメディカル応用

東北大学大学院情報科学研究科 准教授　張山 昌論 氏

H3-02　14:00-15:00　国際会議場3階 301A 会議室

ヘルスソフトウェア規制と自主ガイドラインの展望

日本光電工業株式会社
技術戦略本部基本技術部 標準化推進担当　酒井 由夫 氏

H3-03　15:30-16:30　国際会議場3階 301A 会議室

新世代医療機器向けマルチコア Solution への期待と課題

オリンパス株式会社 VES 開発部4グループ グループリーダー　中野 恵一 氏

CS-3-S1　11:00-13:30　国際会議場3階 304会議室

ソリューションビジネスに役立つ「HD-PLC」
～技術とその活用事例の紹介～
＜第一部＞

●開催挨拶：HD-PLC アライアンス　会長　荒巻　道昌　氏
●講演1：ソリューションビジネスにおける当社の「HD-PLC」
パナソニック株式会社 AVC ネットワークス社 PLC 事業推進室 室長
宮崎 富弥 氏
●講演2：普及を加速化する「HD-PLC3」ソリューション
HD-PLC アライアンス マーケティング WG チームリーダー
株式会社メガチップス 第3事業部 営業部第2グループ
田中 昭和 氏
●講演3：産業用途への「HD-PLC」活用
株式会社メガチップス AS 事業部 マーケティング室　楊　帥 氏
●ソリューション展示（講演会場内で実施）
＜第二部＞
●講演4：機器への組み込みに最適な「HD-PLC3」新規格「Inside」のご紹介
ローム株式会社 LSI 商品戦略本部 産業機器担当 グループリーダー
山野 靖展 氏
●講演5：M2M を加速する「HD-PLC」組込ソリューション
ミツミ電機株式会社 車載事業部 通信 MOD 推進部 技術営業課 課長
安間 敏彦 氏
●講演6：普及を加速化する「HD-PLC 3」ソリューション
株式会社ユビキタス 事業本部 コネクティビティ事業部 事業企画部
シニアマネージャー　小島 茂 氏
●標準評価装置を使った「HD-PLC」の性能評価
九州計測器株式会社 自社製品 販促室　田中 武海 氏

CS-3-S4　15:30-16:30　国際会議場3階 304会議室

TPK の新しいタッチスクリーンフォーメンション

TPK Touch Solutions Group President & CEO　孫 大明 氏

SS3-01　11:30-12:30　国際会議場1階 101B 会議室

映像監視カメラシステム動向
～安心・安全な社会実現に向けて～

三菱電機株式会社 情報技術総合研究所監視メディアシステム技術部
グループマネージャ　西川 博文 氏

電子情報通信学会

SP3-02　13:30-17:20　国際会議場2階 コンベンションホール A

未来をデザインする ICT

13:30-13:35
開会挨拶　電子情報通信学会 会長　酒井 善則 氏

13:35-14:05
基調講演　ICT の未来とイノベーション　総務省 大臣官房総括審議官　武井 俊幸 氏

14:05-14:35
基調講演　ICT と未来の高等教育　放送大学学園 理事長　白井 克彦 氏

14:35-14:40
休憩

14:40-16:20
パネリストによる講演
オープンコラボレーションが拓く未来：ICT と社会の融合　日本電信電話株式会社代表取締役副社長　篠原 弘道 氏
4K・8K の展望と未来への期待　日本放送協会放送技術研究所所長　黒田 徹 氏
ビッグデータによる未来のデザイン　国立情報学研究所所長　喜連川 優 氏
未来を拓くコネクテッド・インフラストラクチャー　富士通株式会社エグゼクティブフェロー　雄川 一彦 氏
民学産公官の協働による ICT 街づくりが開く未来　三鷹市長　清原 慶子 氏

16:20-17:15　**パネル討論**

17:15　**閉会挨拶**　電子情報通信学会 次期会長　小柴 正則 氏

電子情報通信学会

9:00-13:00　国際会議場3階 301B 会議室

●研究専門委員会企画
電子ディスプレイシンポジウム「これからのディスプレイ材料」
電子ディスプレイ研究専門委員会

電子情報通信学会

14:00-17:00　国際会議場3階 301B 会議室

●研究専門委員会企画
頼れる無線による頼れる遠隔制御
高信頼制御通信研究専門委員会

電子情報通信学会

14:00-18:00　国際会議場3階 302会議室

●研究専門委員会企画
電子ディスプレイシンポジウム「これからのディスプレイ材料」
電子ディスプレイ研究専門委員会

電子情報通信学会

9:00-13:00　国際会議場3階 303会議室

●東京支部シンポジウム
第5世代モバイル通信とウェアラブルデバイスが拓く新しい社会への期待とそれを支える最新技術動向

電子情報通信学会

14:00-17:00　国際会議場3階 303会議室

●研究専門委員会企画
無線電力伝送が支える新しい社会
無線電力伝送研究専門委員会

10.10 金

CS4-B4　15:30-16:45　国際会議場 コンベンションホール B

太陽光発電と蓄電池を利用したエネルギー蓄電システムの動向および医療用加速器電源などパワーエレクトロニクス機器と関連デバイス

ニチコン株式会社 取締役 執行役員 NECST 事業本部長　山口 忠博 氏

CS4-G1　11:00-12:00　国際会議場2階 201会議室

V-Low マルチメディア放送 1DAY コンファレンス　Vol.1
V-LOW　マルチメディア放送が実現する放送と通信の融合について

株式会社フェイス 執行役員 メディア戦略室 室長　石井 貞之 氏

CS4-G2　13:00-14:00　国際会議場2階 201会議室

V-Low マルチメディア放送 1DAY コンファレンス　Vol.2
ハイレゾリューションオーディオの現状と、V-Low マルチメディア放送
～新たなる高音質オーディオの可能性～

オンキヨーエンターテイメントテクノロジー株式会社 代表取締役社長
山下 慎介 氏

CS4-G3　14:30-15:30　国際会議場2階 201会議室

V-Low マルチメディア放送 1DAY コンファレンス　Vol.3
2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組の現状について

内閣官房参与
内閣官房2020年オリンピック・パラリンピック東京大会推進室長　平田 竹男 氏

CS4-G4　16:00-17:00　国際会議場2階 201会議室

V-Low マルチメディア放送 1DAY コンファレンス　Vol.4
2020年の IT 政策と V-LOW マルティメディア放送

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 教授　中村 伊知哉 氏

10.10 金

D4-01 10:00-12:15 国際会議場3階 301A 会議室

JEITA ディスプレイデバイスフォーラム 2014
～未来を描くディスプレイ～

●フレキシブル有機デバイスが拓く未来のヒューマンインタフェース
東京大学 教授 染谷 隆夫 氏

●フレキシブルディスプレイ開発とプリンテッドエレクトロニクス技術
独立行政法人 産業技術総合研究所
フレキシブルエレクトロニクス研究センター センター長 鎌田 俊英 氏

● CAAC-OS 技術とフォルダブルディスプレイへの応用
株式会社半導体エネルギー研究所 執行役員 AT 管理部 部長 山元 良高 氏

●ハイレゾ映像の展望 オーディオ・ビジュアル評論家 麻倉 怜士 氏

EC4-01 12:30-14:30 国際会議場3階 301A 会議室

第11回 JEITA 電子材料セミナー
「エレクトロニクス社会を支える磁石のはなし～
原料調達から最新磁石動向とその応用～」

●「レアアースを中心とした磁石原材料の需給動向」
独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構（JOGMEC）
資源探査部 探査第2課 課長代理 増田 一夫 氏

●「最新の磁石材料の紹介と技術動向について」
日立金属株式会社 磁性材料カンパニー 技術グループ グループ長 森本 仁 氏

●電動車駆動用標準モータの開発
日立オートモティブシステムズ（株）パワートレイン＆電子事業部
パワートレイン設計本部 EP 機器設計部 齋藤 泰行 氏

A4-01 15:30-17:00 国際会議場3階 301A 会議室

～自動車のネットワーク化の将来と課題～

(1) 車載通信の展望
IHS グローバル株式会社 IHS テクノロジー / 調査部長 南川 明 氏

(2) つながる自動車のセキュリティ
独立行政法人情報処理推進機構 セキュリティセンター
情報セキュリティ技術ラボラトリー 主任 中野 学 氏

CS-4-S3S4 14:00-16:15 国際会議場3階 304会議室

今後の IoT 社会に向けて求められる課題と取り組み
独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)
NEDO 電子・材料・ナノテクノロジー部長 岡田 武 氏
東京大学生産研究所教授 桜井 貴康 氏
中央大学理工学部教授 竹内 健 氏
超低電圧デバイス技術研究組合（LEAP）研究本部長 住広 直孝 氏
九州大学大学院システム情報科学研究院 教授 村上 和彰 氏
ベッコフオートメーション 代表取締役社長 川野 俊充 氏

電子情報通信学会
10:00-13:00 国際会議場3階 301B 会議室
●研究専門委員会企画
次世代スマートグリッドが目指すべき方向
ICT スマートグリッド技術時限研究専門委員会

電子情報通信学会
14:00-17:00 国際会議場3階 301B 会議室
●研究専門委員会企画
これからの社会を見据えた、新たな価値創造に役立つ AI
人工知能と知識処理研究専門委員会

電子情報通信学会
13:00-17:00 国際会議場3階 302会議室
●研究専門委員会企画
ビッグデータ利用とエンタテイメントを支える
パターン認識・メディア理解
パターン認識メディア理解研究専門委員会

電子情報通信学会
10:00-15:00 国際会議場3階 303会議室
●研究専門委員会企画
ユーザを支えるコンピューティングおよび一般
コンピュータシステム研究専門委員会

10.11 土

GK 13:00-15:30 国際会議場2階 201会議室

大学生向け業界研究セミナー
『世界のインフラに貢献する IT・エレクトロニクス業界の現状と未来』

13:00 – 13:05
『IT・エレクトロニクス産業とは』
一般社団法人 電子情報技術産業協会 常務理事 長谷川 英一 氏

13:05 – 13:25
『最先端ICTを活用した人にやさしい豊かな社会の実現を目指して』
富士通株式会社 テクニカルコンピューティング・ソリューション事業本部
科学システムソリューション統括部長 石原 康秀 氏

13:25 – 13:45
『Human Smart Community をめざす東芝の取り組み』
株式会社 東芝 研究開発センター 首席技監 福島 伸 氏

13:45 – 14:05
『グローバルでリージョナルな課題を解決し
インフラ構築に貢献する計測と制御』
横河電機株式会社 人財本部 シニア・アドバイザー 柴田 友厚 氏

14:05 – 15:00
『世界の IT・エレクトロニクスを支える電子部品業界特集』
アルプス電気株式会社 技術本部第2商品開発部 部長 神田 幹雄 氏
京セラ株式会社 自動車部品事業本部 自動車部品開発部長 奥田 憲男 氏
TDK 株式会社 技術本部 先端技術開発センター 副センター長 越智 厚雄 氏
一般社団法人 電子情報技術産業協会 常務理事 長谷川 英一 氏

15:00 – 15:30 **質疑応答**

新技術・新製品セミナー／出展者セミナー

10.7 火

NW-01 11:00-12:00 国際展示場ホール6
影絵ジェスチャーで操作する空間コンピュータ
株式会社 JUICE DESIGN 代表取締役 諫山 太郎 氏

NW-03 14:00-15:00 国際展示場ホール6
一使い方のイノベーション一ミリ波を用いた
非接触超高速ダウンロード
日本電信電話株式会社
NTT 未来ねっと研究所 第一推進プロジェクト
非接触高速コンテンツ転送 DP ディレクタ 清水 雅史 氏

10.8 水

NW-05 11:00-12:00 国際展示場ホール6
指先ひとつで測定できる世界初のバイタルチェックシステム
OXiM 株式会社 CSO エフード バロン 氏

NW-07 14:00-15:00 国際展示場ホール6
Beacon を使った来日観光客向け社会インフラ
株式会社アブリックス Deep Embedded エバンジェリスト 今井 環 氏

NW-08 15:30-16:30 国際展示場ホール6
屋内位置情報サービス「TAGCAST」が実現する
スマートライフ 株式会社タグキャスト 代表取締役 鳥居 暁 氏

10.9 木

ES-09 11:00-12:00 国際展示場ホール6
高効率スイッチング電源回路の評価技術
テクトロニクス アプリケーション・エンジニア 宮崎 強 氏

ES-10 12:30-13:30 国際展示場ホール6
共鳴型ワイヤレス給電の効率を決める
Q の評価法と考え方 有限会社ソネット技研 石飛 徳昌 氏

NW-11 14:00-15:00 国際展示場ホール6
電子機器の最新の熱設計動向
表面実装抵抗器の新しい負荷軽減曲線の使い方
KOA 株式会社 技術顧問 株式会社サーマルデザインラボ 代表取締役 国峯 尚樹 氏
KOA 株式会社 ものづくりイニシアティブ技創りセンター 平沢 浩一 氏

NW-12 15:30-16:30 国際展示場ホール6
通信・放送分野における新技術の標準化動向
一般社団法人電波産業会 企画国際部長 雨宮 明 氏

10.10 金

NW-13 11:00-12:00 国際展示場ホール6
共鳴型ワイヤレス給電の効率を決める新しい設計指標
有限会社ソネット技研 石飛 徳昌 氏

NW-14 12:30-13:30 国際展示場ホール6
高速・広帯域通信時代の最新ノイズ計測技術
テクトロニクス RF アプリケーション・エンジニア 鹿取 俊介 氏

NW-15 14:00-15:00 国際展示場ホール6
アルミ電解コンデンサの最新技術動向
ニチコン株式会社 コンデンサ事業本部 事業戦略室 主任 山中 和也 氏

NW-16 15:30-16:30 国際展示場ホール6
IoT社会を見据えた真の次世代ファイアウォール【クラビスター】
株式会社ミライト
ソリューション事業本部ICT営業本部SE部 担当次長 浜本 聡 氏
Clavister AB Worldwide Channel Manager,
Business Development Manager, RoW シノブ・ファンルーヴ 氏 他

オープンステージプログラム

新たに展示会場内に200名規模のオープンステージを設置。CEATEC JAPAN の新たな情報発信の場を確立しました。

10.7 火

12:20-12:35
フェアリーデバイセズ株式会社

12:40-13:15
視線追跡機能付きヘッドマウントディスプレイの医療福祉への展開
株式会社 FOVE/ オリィ研究所
株式会社 FOVE 技術開発部 ハードウェア開発課 CIO
趙 漠居 氏

13:20-13:35
動作拡大型スーツ " スケルトニクス "
スケルトニクス株式会社 代表取締役 CEO
白久 レイエス樹 氏

13:40-13:55
パワーバリアレスへの挑戦
アクティブリンク株式会社
代表取締役社長　藤本 弘道 氏

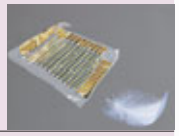
14:00-14:35
Jawbone のウェアラブルから始まる "Internet of you"
Jawbone
セールス & マーケティング ジェネラルマネージャー
岩崎 顕悟 氏

14:40-14:55
Runtastic for docomo ～機能素材 "hitoe" を活用したウェア型デバイスと連携可能なスポーツサービス～
株式会社 NTTドコモ ライフサポートビジネス推進部
ヘルスケア事業推進 担当部長
安部 成司 氏

16:00-16:15
今話題の日本発スマートロック「Akerun」の行き着く先は？ IoT ベンチャーが目指すヒトとモノをつなげる世界
株式会社フォトシンス 代表取締役社長　河瀬 航大 氏

10.8 水

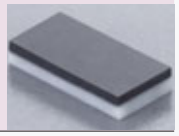
10:40-10:55
生体調和エレクトロニクスと新しいウェアラブルの世界
東京大学 染谷生体調和エレクトロニクスプロジェクト
東京大学大学院 工学系研究科電気系工学専攻 染谷研究室
染谷生体調和エレクトロニクスプロジェクト グループリーダー
網盛 一郎 氏



11:20-11:55／13:20-13:55
ウェアラブルおよび IoT が可能にするフィジカルなユーザー体験と「モノ」の本質的な変化について
株式会社 Moff 代表取締役社長　高萩 昭範 氏

12:45-13:00
次世代型スマートハウス向けエネルギーシステムの実証実験
株式会社村田製作所
技術・事業開発本部 デバイス開発センター 係長
宮本 博之 氏

14:20-14:35
電子機器のライフサイクルトレーサビリティーへの新技術
株式会社村田製作所
新規商品事業部 応用技術商品部 RFID 事業推進プロジェクト 係長
木村 育平 氏



14:40-14:55
コミュニケーションロボットが IoT のハブに。家族をつなぐ留守番ロボット「BOCCO」
ユカイ工学株式会社 代表　青木 俊介 氏

15:00-15:15
画質を捨てた全録機ガラポン TV が熱狂的に支持されるワケ
ガラポン株式会社 代表取締役社長　保田 歩 氏

15:20-15:55
電力管理・分析サービス「ELP」を中心とした IoT での取り組み
株式会社 Sassor 代表取締役　石橋 秀一 氏

10.9 木

10:15-11:15
CEATEC AWARD 2014 各部門表彰式

11:40-12:35
米国メディアパネル イノベーションアワード 表彰式

13:00-13:35
『小ロット海外生産が可能にしたハードウェア・スタートアップのグローバル・ニッチ戦略』
株式会社 Cerevo 代表取締役　岩佐 琢磨 氏

13:40-13:55
次世代型スマートハウス向けエネルギーシステムの実証実験
株式会社村田製作所
技術・事業開発本部 デバイス開発センター 係長
宮本 博之 氏

14:00-14:15
全く新しいシステム連携・データ移行手段 P-Launcher/ID-Connector
株式会社ピーエスシー 販売企画部 根岸 法人 氏

14:20-14:35
メガネ型ウェアラブルが普及する5つの理由
株式会社 JUICE DESIGN 代表取締役　諫山 太郎 氏

14:40-14:55
エプソンのセンシング商品について
エプソン販売株式会社 販売推進本部 新事業推進部 課長
寺沢 俊弘 氏

15:00-15:35
『小ロット海外生産が可能にしたハードウェア・スタートアップのグローバル・ニッチ戦略』
株式会社 Cerevo 代表取締役　岩佐 琢磨 氏

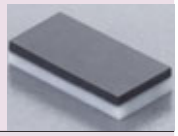
10.10 金

10:40-10:55
エプソンのセンシング商品について
エプソン販売株式会社 販売推進本部 新事業推進部 課長
寺沢 俊弘 氏

11:40-12:15
燃料電池自動車の開発
トヨタ自動車株式会社
広報部 企画室 担当部長　中井久志 氏

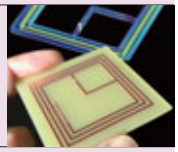
12:20-12:35
『ビーコンがもたらすスマートライフ』
株式会社タグキャスト 代表取締役　鳥居 暁 氏

12:40-12:55
電子機器のライフサイクルトレーサビリティーへの新技術
株式会社村田製作所 新規商品事業部 応用技術商品部 RFID 事業推進プロジェクト 係長
木村 育平 氏



13:00-13:35
JINS MEME がもたらす未来
株式会社ジェイアイエヌ R&D 室 マネジャー　井上 一鷹 氏
慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科 教授　稲見 昌彦 氏

13:40-13:55
電磁界シミュレータを使った共鳴型ワイヤレス給電の設計と解析例
有限会社ソネット技研 代表取締役　石飛 徳昌 氏



15:00-16:55
Mash Up 予選会

10.11 土

10:45-12:15
各社が思いを描く新たなテレビ視聴体験
パネルディスカッション
【パネラー】
パナソニック株式会社 AVC ネットワークス社 次世代プラットフォーム開発センターサーバ開発グループ サーバ開発チーム 参事
郷原 邦男 氏
ガラポン株式会社 代表取締役社長　保田 歩 氏
日本テレビ放送網株式会社 インターネット事業局 インターネット事業部担当副部長
太田 正仁 氏
メディア論ブログ・あやぶろ編集長
氏家 夏彦 氏
【モデレータ】
小寺 信良 氏

13:00-14:50
ハードウェアベンチャーの可能性
パネルディスカッション
【パネラー】
情報技術大学院大学 教授　小林 茂 氏
株式会社 Moff 代表取締役　高萩 昭範 氏
インダストリアルデザイナー／プロダクトストラテジスト　久下 玄 氏
富士通株式会社 インテグレーションサービス部門 戦略企画室長　柴崎 辰彦 氏

15:00-16:55
Mash Up

CEATEC JAPAN 2014「NEXT イノベーションプラザ」特別セッション

エレクトロニクスが牽引する社会イノベーションの最前線
～コア技術活用の勘所を知るキーパーソンが現実のカギを語る～
主　催：日経テクノロジーオンライン / 日経 BP クリーンテック研究所
協　賛：（株）村田製作所

10.7 火

11:15-11:45
日経 Automotive Technology
「ぶつからないクルマ実車試験と自動車の未来」
日経 Automotive Technology 編集長　林 達彦 氏

15:10-15:55
コア技術活用の勘所を知るキーパーソンが語る（1）
「新世代エネルギーシステムを支える分散型電源、その普及の鍵を探る」
国立大学法人 東京工業大学 特命教授 東京都市大学 教授　柏木 孝夫 氏
（株）村田製作所 執行役員 技術・事業開発本部 デバイス開発センター センター長
岡田 剛和 氏
<モデレータ> 日経テクノロジーオンライン 編集長　狩集 浩志 氏

10.8 水

12:00-12:35
日経エレクトロニクス「iPhone 6/6 plus 分解」
日経エレクトロニクス 副編集長　中道 理 氏

16:00-16:55
日経エレクトロニクス「トリリオンセンサーの衝撃」
日経エレクトロニクス 副編集長　三宅 常之 氏
日経デジタルヘルス
「ソーシャルホスピタル ～デジタルヘルス産業創出への提言～」
日経デジタルヘルス 編集長　小谷 卓也 氏

10.9 木

16:10-16:55
コア技術活用の勘所を知るキーパーソンが語る（2）
「電力変換ロスをなくせ！高圧直流給電技術の最新動向」
東北大学大学院 環境科学研究科 教授　田路 和幸 氏
（株）村田製作所 パワーモジュール商品事業部 事業部長　森島 靖之 氏
<モデレータ>
日経テクノロジーオンライン 編集長　狩集 浩志 氏

10.10 金

11:00-11:30
日経ものづくり
「製造業による農業の革新ー走り出したインダストリアル農業ー」
日経ものづくり副編集長　吉田 勝 氏

14:10-14:55
コア技術活用の勘所を知るキーパーソンが語る（3）
「モノ、ヒト、環境のセンシングがもたらす社会イノベーション」
東京理科大学大学院 イノベーション研究科 教授　田中 芳夫 氏
（株）村田製作所 デバイス事業本部 センサ事業部 事業部長　児堂 義一 氏
（株）ユビキタス 取締役 事業本部長　長谷川 聡 氏
<モデレータ>　日経 BP クリーンテック研究所副所長　河井 保博 氏

ベンチャーエリア／ユニバーシティエリア ミニステージ

本年より新設したベンチャーエリア／ユニバーシティエリアでは 50 名規模のミニステージを開催。商工会議所ビジネススクエアからの登壇も含め、日本の新たなモノづくりの方向性を示す機会と、さらなるビジネス機会を創出する場となりました。

10.7 水

11:00 -11:30 ユニバーシティエリア
ハーモニアス人間支援ロボットによるヘルスケア
慶應義塾大学 理工学部 桂研究室

11:40 -12:10 ユニバーシティエリア
三原色合波光源を用いた超小型ディスプレーの開発
国立大学法人 福井大学

12:20 -12:50 ユニバーシティエリア
石炭，石油，バッテリに続く第４世代ビークル
豊橋技術科学大学 / 大成建設（株）

13:00 -13:30 ベンチャーエリア
ガラポン TV が具現化する理想のテレビ視聴
ガラポン（株）

13:45 -14:45 商工会議所ビジネススクエア
M2M に最適な鍵の隠蔽メカニズムを備えた軽量暗号
東京システムハウス（株）

15:00 -15:30 ユニバーシティエリア
大学の材料研究用先端実験施設を産業界へ開放
～無償利用のトライアルユースもあります～
京都大学 エネルギー理工学研究所 ADMIRE 計画

15:40 -16:10 ベンチャーエリア
気持ちが伝わる筆談チャット！新感覚コミュニケーションアプリ
「手書き電話 UD」で広がる世界
（株）プラスヴォイス（NICT）

16:20 -16:50 ベンチャーエリア
「モノ」にログイン機能を追加する IoT 向け認証基盤のご紹介
（株）ジゴワッツ

10.8 水

11:00 -11:30 ユニバーシティエリア
世界中の人々が力と運動を感じ合う
双方向コミュニケーションの展開
国立大学法人 豊橋技術科学大学

11:40 -12:10 ベンチャーエリア
生体信号（脳波・筋電位・脈拍）開発ツールキットのご紹介
岩淵技術商事（株）

12:20 -12:50 ユニバーシティエリア
腹腔鏡下手術用触診システムと関連する触覚テクノロジーの紹介
名古屋工業大学 機械工学科 佐野・田中研究室

13:00 -13:30 ユニバーシティエリア
暮らしを取り巻くあらゆるものから未来を予測する
「関係性技術」の性能検証と実用化への取り組み事例
京都大、電気通信大、神戸デジタル・ラボ 産学連携開発チーム

13:45 -14:45 商工会議所ビジネススクエア
AR 活用事例と関連技術の今
（株）ブラージュ

15:00 -15:30 ベンチャーエリア
360°パノラマ「バーチャルツアー」と編集ソフト「めでぃパノ」
（株）MEDIAS（NICT）

10.9 木

11:40 -12:10 ユニバーシティエリア
腹腔鏡下手術用触診システムと
関連する触覚テクノロジーの紹介
名古屋工業大学 機械工学科 佐野・田中研究室

13:00 -13:30 ベンチャーエリア
ガラポン TV が具現化する理想のテレビ視聴
ガラポン（株）

13:45 -14:45 商工会議所ビジネススクエア
アルカテル・ルーセントによる最新のワイヤレス・
アクセスポイント、統合認証ソリューションのご紹介
（株）ユーテック

15:00 -15:30 ユニバーシティエリア
身体革命：身体性を時空間拡張するモーションコピーシステム
慶應義塾大学 理工学部 桂研究室

10.10 金

11:00 -12:00 商工会議所ビジネススクエア
Web 捺印サーバー「Brownie for Stamper」のご紹介
～新機能と利用例を含めた業務効率のご提案～
ビジネスメンター（株）

12:20 -12:50 ユニバーシティエリア
石炭，石油，バッテリに続く第4世代ビークル
豊橋技術科学大学 / 大成建設（株）

13:00 -13:30 ベンチャーエリア
UV-LED は UV ランプを越えたか？
～高効率技術とその応用～
ナイトライド・セミコンダクター（株）

13:45 -14:45 商工会議所ビジネススクエア
nStyler を利用した OculusRift 向けデータ製作
（株）グラップス

15:00 -15:30 ユニバーシティエリア
暮らしを取り巻くあらゆるものから未来を予測する
「関係性技術」の性能検証と実用化への取り組み事例
京都大、電気通信大、神戸デジタル・ラボ 産学連携開発チーム

15:40 -16:10 ベンチャーエリア
気持ちが伝わる筆談チャット！新感覚コミュニケーションアプリ
「手書き電話 UD」で広がる世界
（株）プラスヴォイス（NICT）

16:20 -16:50 ベンチャーエリア
360°パノラマ「バーチャルツアー」と編集ソフト「めでぃパノ」
（株）MEDIAS（NICT）

出展状況

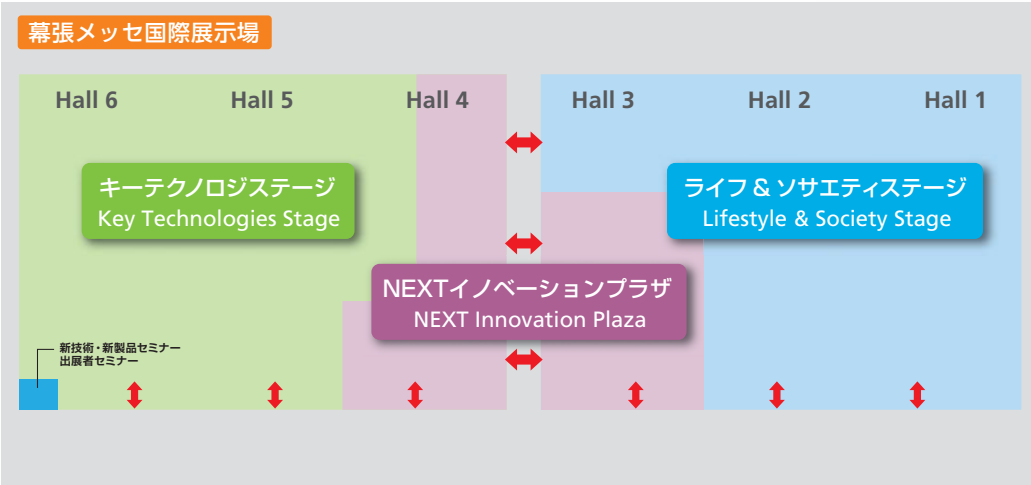
展示エリア	出展者数			小間数
	国内	海外	合計	
ライフ&ソサエティ ステージ	133	50	183	751
キーテクノロジ ステージ	101	93	194	545
NEXT イノベーションプラザ	163	7	170	316
合計	397	150	547	1,612

海外出展者数の内訳（24カ国・地域／150社）

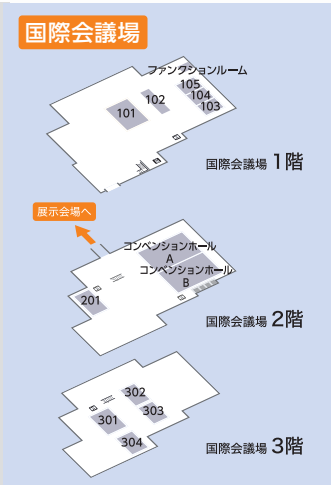
地域	国・地域数／出展者数	国・地域別の出展者数
アジア地域	11カ国・地域／107社	台湾45／中国35／韓国13／香港4／マレーシア3／シンガポール2／インド1／インドネシア1／スリランカ1／タイ1／フィリピン1
ヨーロッパ地域	11カ国・地域／22社	スイス4／ドイツ4／イギリス3／スウェーデン2／フランス2／ベルギー2／アイルランド1／オーストリア1／オランダ1／ノルウェー1／ハンガリー1
北米地域	1カ国・地域／20社	アメリカ20
大洋州地域	1カ国・地域／1社	オーストラリア1

会場構成

■展示エリア

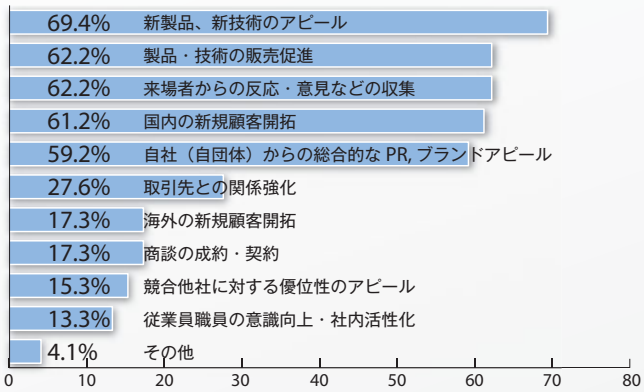


■コンファレンスエリア

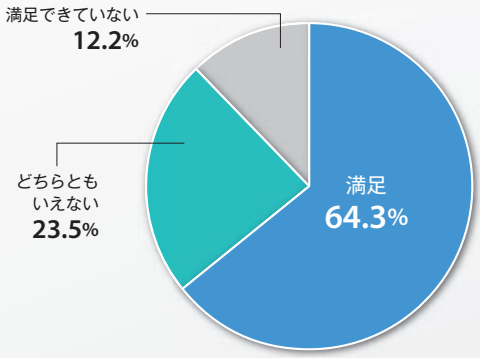


出展者アンケート

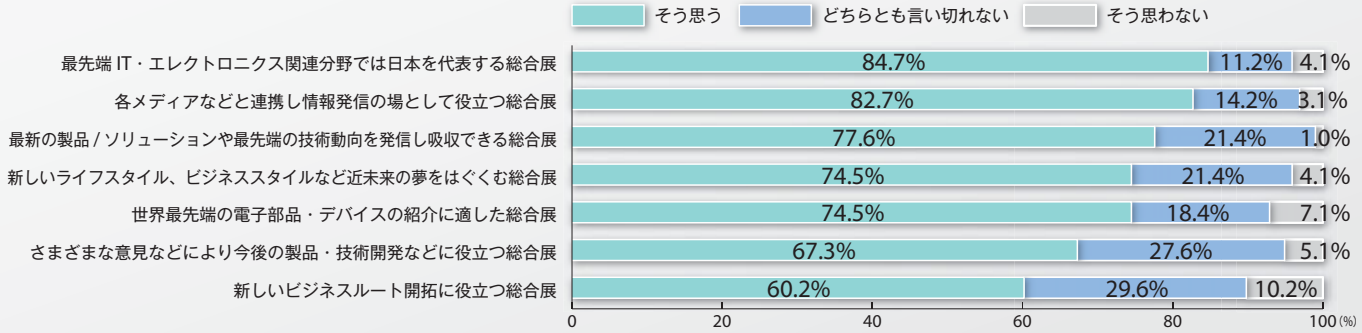
■今回の出展目的（複数回答）



■総合満足度



■ CEATEC JAPAN の印象度

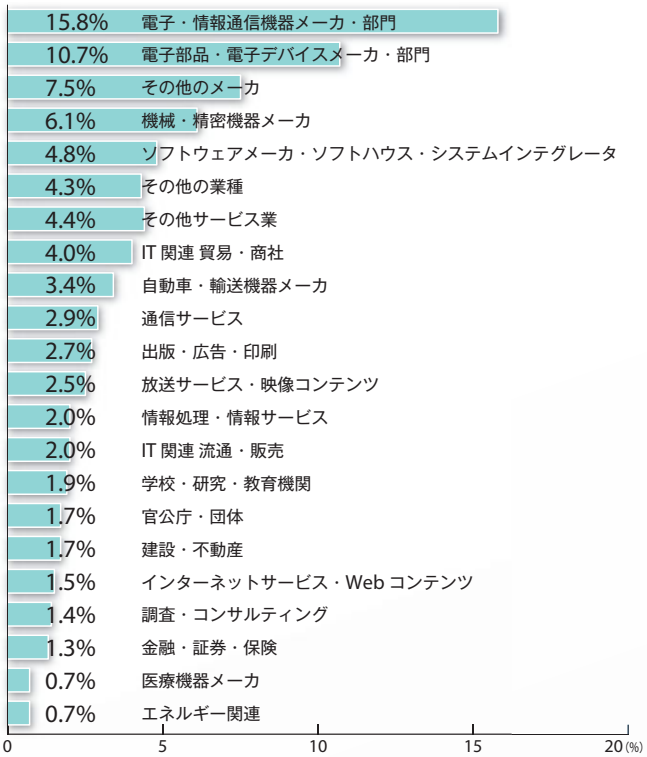


来場者数

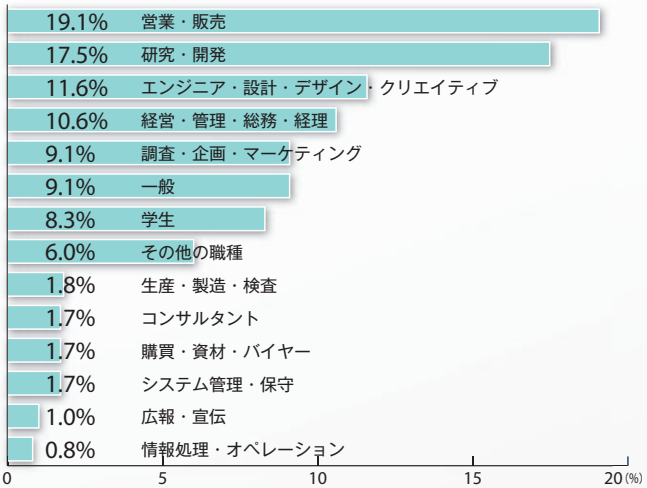
	7日（火）	8日（水）	9日（木）	10日（金）	11日（土）	合　計
登録来場者数	15,751	25,595	27,876	36,556	19,426	125,204
海外登録来場者	556	585	325	349	192	2,007
登録プレス数	801	273	169	178	125	1,546
出展関係者	5,530	4,196	4,118	4,263	4,048	22,155
合　計	22,638	30,649	32,488	41,346	23,791	150,912

来場者の属性

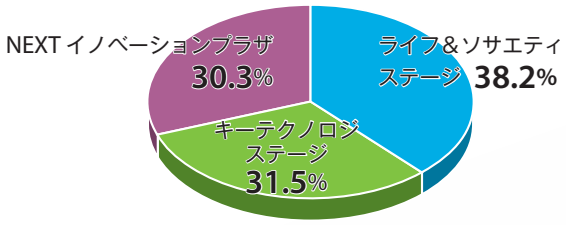
■業種



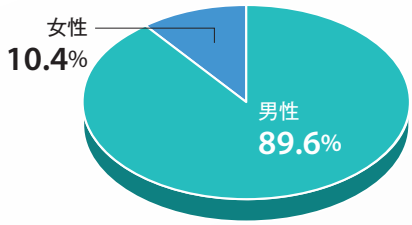
■職種



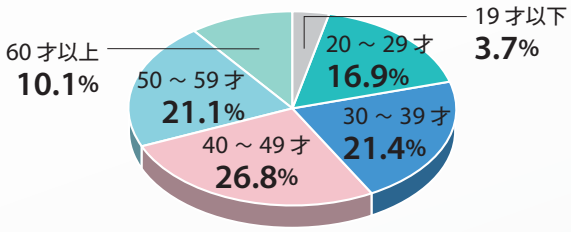
■一番関心のあるエリア



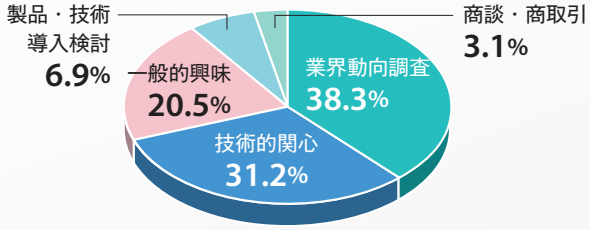
■性別



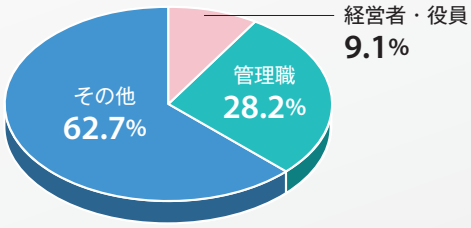
■年齢



■来場目的

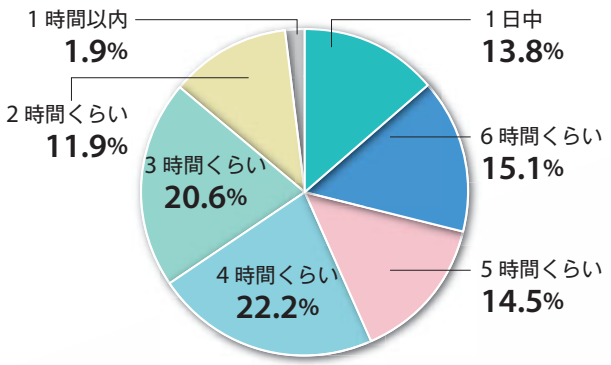


■職制

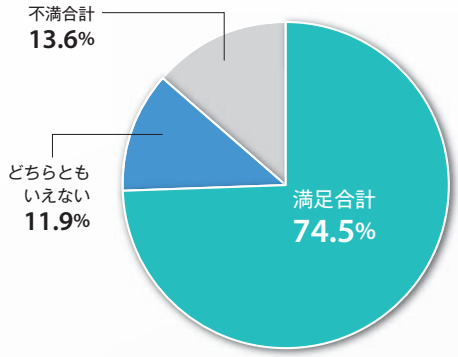


来場者アンケート　※ VIP を除く事後来場者アンケート結果より

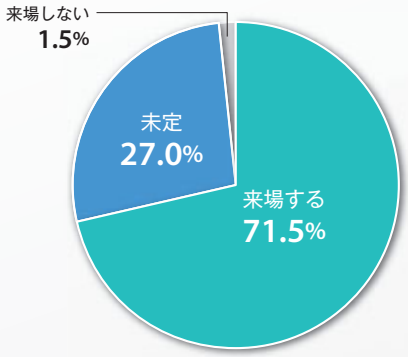
■『CEATEC JAPAN 2014』で滞在された時間を教えてください



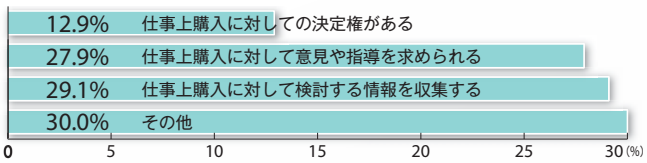
■『CEATEC JAPAN 2014』全体を通して、どの程度満足しましたか



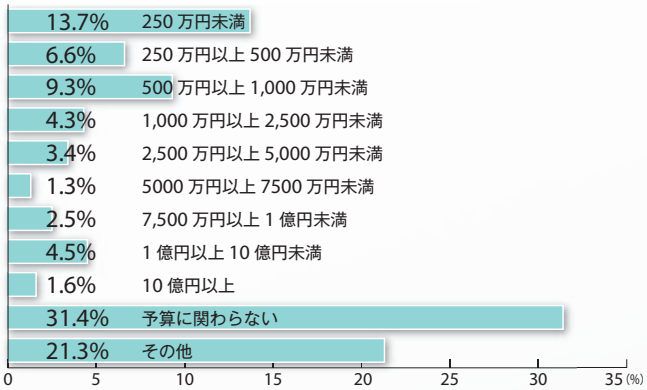
■次回の『CEATEC JAPAN』にご来場いただけますか



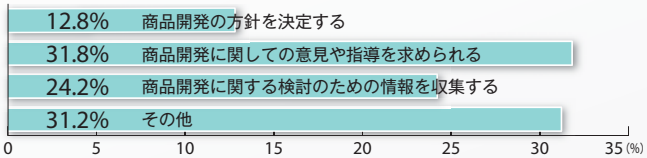
■ IT 関連製品・サービスの購入・導入への関与度



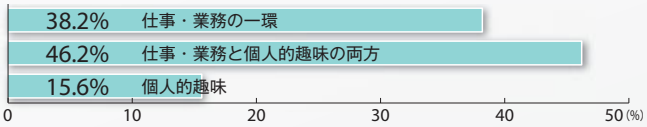
■ IT 関連製品・サービスの購入の年間予算



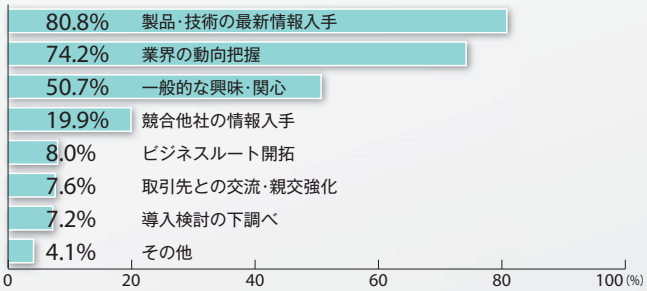
■自社商品開発に際しての本人の役割



■来場者目的詳細①



■来場目的詳細②（複数回答の場合）



広報・プロモーション

(1) CEATEC JAPAN 2014 プレスリリース（報道発表）

① 2/17　CEATEC JAPAN 2014出展募集を開始
② 7/17　10月7日開幕、開催概要決定！
③ 9/16　開催発表記者会見／メディアコンベンション10月6日（月）開催のご案内
④ 10/6　台風18号による開催発表記者会見／メディアコンベンション開催中止のお知らせ
⑤ 10/7　10月7日 (火) から幕張メッセにて開幕
⑥ 10/9　CEATEC AWARD 2014総務大臣賞・経済産業大臣賞 各部門グランプリ・準グランプリ決定
⑦ 10/10　速報：CEATEC JAPAN 2014米国メディアパネル・イノベーションアワード受賞者決定 (Business Wire)
⑧ 10/11　最先端 IT· エレクトロニクス総合展 CEATEC JAPAN 2014、盛況のうちに閉幕

(2) 海外プレスリリース配信（English）

① 3/6　Cutting-edge IT & Electronics Comprehensive Exhibition Exhibitor applications are now being accepted for CEATEC JAPAN 2014
② 7/17　CEATEC JAPAN 2014 Opens on October 7th and Exhibition Outline Decided
③ 9/21　Invitation to Press Conference and Media Convention Held on Monday, October 6, 2014 (Business Wire)
④ 10/6　CEATEC JAPAN 2014 Opens on October 7 (Tue) at Makuhari Messe
⑤ 10/10　The Winners of CEATEC JAPAN 2014 Innovation Awards "As Selected by U.S. Journalists" (Business Wire)

(3) 出展者プレスリリース件数

（CEATEC JAPAN 2014 公式 Website 掲載分のみ）

日本語：**67** 件（前年比 39件の増加）
英　語：**12** 件（前年比 8件の増加）

(4) 国内外向け出展者プレスリリース件数

（CEATEC JAPAN 2014 ワイヤーサービス利用分）

合計：**62** 件
※日本、中国（中国本土・香港・台湾）、アメリカの通信社のネットワークよりグローバルに拡散

英　　語：**19** 件　中国語：**16** 件
その他の言語：**16** 件　日本語：**11** 件
（前年比 22件の増加）

(5) 登録来場プレス数：

1,546 名（うち海外101名）

(6) オンラインニュース掲載数

国内 **3,264** 件　海外 **6,047** 件

■ CEATEC JAPAN 2014を取り上げた国内のオンラインニュース

※9/1から11/30まで掲載状況から抜粋。

◇ニュースサイトを中心に様々な角度から複数の注目される記事が掲載されました。

日経テクノロジーオンライン	Mac お宝鑑定団 Blog	建通新聞
MSN デジタルライフ	IT Media News	livedoor ニュース
Yahoo! ニュース Japan	Mixi ニュース	EconomicNews
財経新聞	とれまがニュース	ハフィントンポスト
EE Times Japan	iPROS	家電ニュース
エキサイト	トレーダーズショップmジョルダンニュース!	ダイヤモンド・オンライン
マイナビニュース	コネタ by au ニュース	みんなの株式
朝日新聞社	Cloud News Japan	日経プレスリリース
ガジェット通信	ニコニコニュース	夕刊アメーバニュース
AV Watch	@nifty	Biglobe ニュース
goo ニュース	Infoseek ニュース	Mapion
ウーマンエキサイト	Car Watch	ITmedia LifeStyle
現代ビジネス	Wireless Wire News	ケータイ Watch
Zakzak	S-Max	日本経済新聞
Nikkei Asian Review	東京 IT 新聞	Solar Power Plant Business
Hermitage Akihabara	アメーバニュース	SankeiBiz
ビジネスネットワーク	医療 NEWS	インターネットコム
ヤフーニュースビジネス	スラッシュドット	goo 自動車 & バイク
OCN 自動車 & バイク	レスポンス自動車ニュース	So-net ニュース
GREE ニュース	Infoseek Tech	Carview!
MSN 自動車	車選び .com	Akihabara News
日刊工業新聞	MONOist	イー・ロジット
Logistics Today	nikkei BPnet	Fastening journal
ログミー	GAME Watch	Cybozu.net
4Gamer.net	サーチナ	Yomerumo
NewSphere	キッズ @nifty	リセマム
自動車新聞社ニュース	Japan Today	株式会社デンソー
Auto Prove	e 燃費	快適家電 Life
Gizmodo Japan	日経ビジネス オンライン	ジェイパブ
Pronweb Watch	日刊工業新聞 Business Line	EDN Japan
週刊アスキー PLUS	kabutan.jp	ダイヤモンド・オンライン
Stereo Sound	PC Watch	ASCII.jp
iza：イザ！	OKGuide	Ketchapp!
Eco Front	Nikken Times	Business Media 誠
CNET Japan	Autocone	Internet Watch
Engadget 日本語版	日刊！目のニュース	RBB Today
ChinaPress	ニュースオン	News-Check
アゴラ	ZUU Online	ロイター .co.jp
CodeZine	ねとらぼ	共同通信社
Mobile ASCII	Openers Japan	47NEWS
Appllio	BCN ランキング	楽天 woman
読売新聞	ITmedia News スマート	Kyodo News
ウレぴあ総研	J-Net21	毎日新聞
オクトバ	au one ニュース	JIJI Press
Meetroid	デジカメ Watch	家電 Watch
マイライフニュース	N Plus, Inc.	Potaru
ITmedia +D モバイル	The Japan Times	ITmedia PC USER
中日新聞	産経アプリスタ	Blogos
ITPro	CycleStyle	レコードチャイナ
価格 .com 新製品ニュース	週刊ダイヤモンド	iPhone ニュース
Inside	The Japan News	キーマンズネット
日経メディカル オンライン	App Review	東京新聞
IT ライフハック	クラウド Watch	iPhone Mania
Appli Biz	クリッカー	映像新聞
Sanspo.com	Andro Wire	Autoblog JP
PC Online	日経トレンディネット	シルバー新報
The Bridge	@DIME	Astand
BCN Bizline-IT	ネタりか	エンジニア type
RO69	Japan Air Conditioning, Heating & Refrigeration News	HMV Online
My J:Com	Qetic	TECH Ascii
Noodls-Japan	産経ニュース	Billboard JAPAN

※順不同／敬称略

(7) 国内の新聞・雑誌掲載記事数

455 件
うち全国紙記事掲載件数：**100** 件（前年比35%増加）

■ CEATEC JAPAN 2014を取り上げた国内の新聞／雑誌記事

※9/4から11/28までの掲載状況から抜粋。

■新聞

日本経済新聞	日本経済新聞 (夕刊)	日経産業新聞	読売新聞
読売新聞 (夕刊)	読売新聞（大阪）	朝日新聞	朝日新聞 (夕刊)
朝日新聞（大阪）	朝日新聞（愛知）	毎日新聞	毎日新聞 (夕刊)
毎日新聞（大阪）	産経新聞	産経新聞（大阪）	東京新聞
北海道新聞	中日新聞	西日本新聞	日刊工業新聞
日刊自動車新聞	電波新聞	日刊産業新聞	サンケイエクスプレス
サンケイエクスプレス（大阪）	Fuji Sankei Business i	日経ＭＪ	情通新聞
映像新聞	通信興業新聞	半導体産業新聞	電気新聞
電波タイムズ	家電流通新聞	電化新聞	日本情報産業新聞
化学工業日報	繊維ニュース	溶接ニュース	日刊燃料油脂新聞
日刊建設工業新聞	日刊建設産業新聞	建設通信新聞	全国賃貸住宅新聞
鉄鋼新聞	科学新聞	日本印刷新聞	新聞之新聞
日本証券新聞	株式新聞	交通毎日新聞	毎日小学生新聞
世界日報	新報スポニチ	夕刊デイリー	夕刊フジ
スポーツニッポン	報知新聞	日刊油業報知新聞	The Japan Times

その他 50 以上の各地方紙 など　※順不同／敬称略

■雑誌

ビデオ SALON	販促会議	週刊文春	週刊新潮
週刊現代	サンデー毎日	週刊住宅	週刊ビル経営
デジタル・サウンド・マーケット	週刊カメラタイムズ	TV ガイド関東版 / 関西版	Get Navi
デジタル TV ガイド関東版 / 関西版		スカパー！ＴＶガイド / プレミアム	
ベストカー	週刊 Car& レジャー	CAR and DRIVER	Senka21
月刊自家用車	CAR トップ	CAR GRAPHIC	オートメカニック
driver	テレコミュニケーション	Mac Fan	家電批評
ZAITEN	オフィスマガジン	プレーン	MEN'S NON・NO
子供の科学	週刊アスキー	Windows 100%	DIME
VIDEO JOURnAL	IT& 家電ビジネス	I/O	月刊公論
経済界	財界	週刊 BCN	日経 TRENDY
日経エコロジー	日経 NETWORK	日経ものづくり	日経エレクトロニクス

など　※順不同／敬称略

◆主な新聞見出しキーワード

■ CEATEC JAPAN 開幕	■ウエアラブル端末	■次世代カー
■スマホの次	■ 8K テレビ	■オーディオ
■新型タブレット	■卓球ロボ	■プロ専用将棋ロボ
■自動運転	■自動走行システム搭載車	■センサー技術
■家族の交流ロボ	■ 4K テレビ	■技術で夢を形に
■街の蓄電池一元管理	■車載デバイス	■ソフトと「対話」でナビ
■スマートハウス	■電力自給自足	■ T3 プロジェクト
■ FCV	■水素社会	■高い機能性・優位性
■次世代ヘッドランプ	■青色 LED	■映像競う
■ロボット「人間らしさ」表現	■ユニークなロボット	■最先端ロボ　来場者魅了
■省エネ PR	■チアリーディング	■京滋企業　ハイテク競演
■学習玩具	■新しい成長事業	■非接触通電技術
■半導体製品	■先進ディスプレイソリューション	■人にやさしい技術
■デスクノート	■シーテック アワード	■ NEXT デバイス
■スクリーン化	■健康維持	■新磁性材料
■ ICT 技術活用サービス	■測定技術向上	■網膜走査型ディスプレイ
■台湾 最新インダクタ	■ 4K 符号化システム	■水素計量機…など

(8) 国内テレビ放映実績

放映時間合計：**5** 時間 **34** 分 **52** 秒

放送日	放送局	番組名≪放映時間≫
10/6（月）開催前日	NHK	NHK ニュース≪ 1'23 ≫、首都圏ネットワーク≪ 2'34 ≫、ニュースウオッチ 9 ≪ 6'32 ≫、NEWS WEB ≪ 0'52 ≫
	日本テレビ	情報ライブ ミヤネ屋≪ 2'03 ≫、news every ≪ 1'38 ≫、NEWSZERO ≪ 0'43 ≫
	TBS	ひるおび≪ 1'05 ≫、N スタ≪ 8'44 ≫、NEWS23 ≪ 0'36 ≫
	テレビ朝日	スーパー J チャンネル≪ 1'21 ≫
	テレビ東京	NEWS アンサー≪ 4'42 ≫、ワールドビジネスサテライト≪ 5'33 ≫
	BS ジャパン	ワールドビジネスサテライト（再）≪ 5'33 ≫
10/7（火）開催初日	NHK	おはよう日本（生中継）≪ 7'48 ≫
	日本テレビ	Oha!4NEWSLIVE ≪ 3'42 ≫、ZIP! ≪ 0'57 ≫
	TBS	はやチャン！≪ 0'36 ≫、朝チャン≪ 6'39 ≫、ひるおび！≪ 15'14 ≫、
	フジテレビ	めざましテレビ（生中継）≪ 10'59 ≫とくダネ！≪ 3'25 ≫、ニュースピーク（生中継）≪ 2'59 ≫
	テレビ朝日	グッド！モーニング≪ 6'31 ≫、モーニングバード≪ 1'17 ≫、ワイド！スクランブル第 2 部≪ 15'42 ≫
	テレビ東京	News モーニング・サテライト≪ 2'06 ≫、ワールドビジネスサテライト≪ 5'32 ≫
	千葉テレビ	NEWS ちば 600 ≪ 3'30 ≫、NEWS ちば 930（再）≪ 3'30 ≫
	テレビ大阪	夕刊チャンネル≪ 4'37 ≫
	北海道放送	今日ドキッ！≪ 2'05 ≫
	BS ジャパン	ワールドビジネスサテライト（再）≪ 5'32 ≫
	CS353 BBC World News	BBC WORLD NEWS（生中継）≪ 3'00 ≫
10/8（水）	フジテレビ	めざましテレビ≪ 6'00 ≫
	テレビ朝日	ワイド！スクランブル第 1 部≪ 14'38 ≫
	テレビ東京	ワールドビジネスサテライト≪ 10'19 ≫
	BS ジャパン	ワールドビジネスサテライト（再）≪ 10'19 ≫
	CS353 BBC World News	BBC WORLD NEWS（生中継）≪ 3'00 ≫、BBC WORLD NEWS（生中継）≪ 2'18 ≫
10/9（木）	NHK	おはよう日本≪ 1'06 ≫
10/10（金）	BS ジャパン	BS ニュース日経プラス 1 0≪ 6'40 ≫
	KBS 京都	Kyo:BjZ ≪ 14'25 ≫
10/11（土）	NHK	ニュース・天気予報≪ 0'50 ≫
	フジテレビ	スーパーニュース・ウィークエンド≪ 1'25 ≫
10/15（水）	日本テレビ	news every ≪ 3'11 ≫
10/17（金）	KBS 京都	Kyo:BjZ ≪ 16'17 ≫
10/18（土）	日本テレビ	センサーズ≪ 8'11 ≫
	CS353 BBC World News	CLICK（クリック）≪ 14'51 ≫
10/19（日）	CS353 BBC World News	CLICK（クリック）再放送 ≪ 14'51 × 3 ≫
10/22（水）	毎日放送	ちちんぷいぷい≪ 16'01 ≫
10/24（金）	NHK BS-1	great gear ≪ 11'48 ≫

（2014年10/6-11/26まで放映から主なものを抜粋）

(9) グローバル／海外向けテレビ放映実績

放映時間合計：**13** 時間 **48** 分 **07** 秒

●全世界 : BBC WORLD（英国時間） ※全世界はアジア（日本）も含みます。

"Live" News by LJ	10/8 ≪ 3'00 ≫≪ 2'18 ≫
Click	10/18 ≪ 14'51 × 2 ≫ , 10/19 ≪ 14'51 × 2 ≫

●全世界 : NHK WORLD/jitv (Japan International Broadcasting Television) (日本時間)

Newsline	10/10 ≪ 3'30 × 7 ≫
Great Gear	11/17 ≪ 11'48 × 1 ≫ , 11/18 ≪ 11'48 × 3 ≫

●米国：BBC WORLD（英国時間）

Click	10/21 ≪ 14'51 ≫

●米国：AWE (former Wealth TV)

11/20, 11/22 ≪ 1'51 × 2 ≫

●米国：MTV (Music Television)

Tech News	11/27 ≪ 1'30 ≫

●米国 : ESPN 2

Motor TV	12/1 ≪ 2'40 ≫ , 12/6 ≪ 2'40 ≫

● カナダ :TSN/TSN2

Motor TV	12/1 ≪ 2'40 ≫ , 12/6 ≪ 2'40 ≫

●米国 : スペイン語放送局 - MundoFox, NTN24（東海岸時間）

1) MundoFox

Noticias - "Cellulars"	10/16 ≪ 2'27 ≫
Noticias - "Home and Automobiles"	10/28 ≪ 2'50 ≫

2) NTN24

CTS Salud Ciencia et Technologia "Cellulars" /"Home and Automobiles"	10/28 ≪ 5'17 ≫

●中央アメリカ : NTN24（米国：東海岸時間）

CTS Salud Ciencia et Technologia "Cellulars" /"Home and Automobiles"	10/28 ≪ 5'17 ≫

●南アメリカ（コロンビア）・米国 : RCN-TV (米国：東海岸時間)

Noticias - "Cellulars"	10/13 ≪ 2'27 ≫
Noticias - "Home and Automobiles"	10/25 ≪ 2'50 ≫

●南アメリカ（コロンビア）・米国 CMI TV・Cox Cable Network (米国 : 東海岸時間)

CLICK - "Cellulars"	10/21 ≪ 2'14 ≫
CLICK - "Home and Automobiles"	10/28 ≪ 2'14 ≫

●南アメリカ（コロンビア）・米国 RED MAS NOTICIAS (米国：東海岸時間)

Noticias - "Cellulars"	10/24 ≪ 2'27 ≫
Noticias - "Home and Automobiles"	10/27 ≪ 2'50 ≫

●カナダ：Ici Explora/CBC (米国：東海岸時間)

Planète Techno "CEATEC report-1"	10/10 ≪ 6'53 × 2 ≫ , 10/11 ≪ 6'53 ≫ , 10/13 ≪ 6'53 ≫ , 10/14, ≪ 6'53 ≫
Planète Techno "CEATEC report-2"	10/17 ≪ 14'10 × 2 ≫ 10/19 ≪ 14'10 ≫ , 10/21 ≪ 14'10 ≫ , 10/22 ≪ 14'10 ≫

●カナダ：G4TV (米国：東海岸時間)

Reviews on The Run	10/21 ≪ 3'25 ≫

●ヨーロッパ (フランス): France 2 (フランス時間)

Télématin (CEATEC 2014 ストーリー 1)	10/10 ≪ 3'45 ≫
Télématin (CEATEC 2014 ストーリー 2)	10/27 ≪ 4'40 ≫

●ヨーロッパ (フランス): France 5 (フランス時間)

Le magazine de la santé	10/23 ≪ 12'40 ≫

●ヨーロッパ (フランス): LCI (フランス時間)

Plein Ecran – CEATEC 2014 ①	10/12 ≪ 11'24 × 2 ≫ , 10/13 ≪ 11'24 ≫ , 10/14 ≪ 11'24 ≫ , 10/15 ≪ 11'24 ≫ , 10/16 ≪ 11'24 ≫
Plein Ecran – CEATEC 2014 ②	10/19 ≪ 10'35 × 2 ≫ , 10/20 ≪ 10'35 ≫ , 10/21 ≪ 10'35 ≫ , 10/22 ≪ 10'35 ≫ , 10/23 ≪ 10'35 ≫ ,

●ヨーロッパ (英国): BBC (英国時間)

BBC News Channel	10/18 ≪ 14'51 × 4 ≫ , 10/19 ≪ 14'51 × 3 ≫
BBC Breakfast	10/18 ≪ 14'51 ≫ , 10/19 ≪ 14'51 ≫
BBC 2	10/20 ≪ 14'51 ≫

●ヨーロッパ (スペイン): NTN24 (米国：東海岸時間)

CTS Salud Ciencia et Technologia "Cellulars" /"Home and Automobiles"	10/28 ≪ 5'17 ≫

●アジア : Phoenix Television (香港時間)

Trendy Guide (レポート①)	10/23 ≪ 10'15 ≫ , 10/24 ≪ 10'15 × 2 ≫
Trendy Guide (レポート②)	10/24 ≪ 10'17 ≫ , 10/25 ≪ 10'17 × 2 ≫
Trendy Guide (レポート③)	10/30 ≪ 10'05 ≫ , 10/31 ≪ 10'05 × 2 ≫

●アジア (インド): TV Today Network (インド時間)

Headlines Today	10/13 ≪ 1'48 × 2 ≫

●中近東：BBC Persian TV (英国時間)

Farsi Click - CEATEC 2014	10/24 ≪ 17'02 ≫ , 10/25 ≪ 17'02 ≫ , 10/26 ≪ 17'02 ≫ , 10/27 ≪ 17'02 ≫ , 10/28 ≪ 17'02 ≫ , 10/29 ≪ 17'02 ≫ , 10/30 ≪ 17'02 ≫

（2014年10/6-11/26まで放映から主なものを抜粋）

(10) メディアパートナー

関連業界紙誌・WEB メディア等と協力し、業界を挙げて IT・エレクトロニクス産業を盛り上げました。また、様々な相互協力により新しい来場者層への業種・職種ターゲットを絞った PR をすることができました。

◆ CEATEC JAPAN 2014 Prime Media Partner

◆ CEATEC JAPAN 2014 Media Partner

(11) CEATEC JAPAN オフィシャルメールマガジン

過去の来場者および新規入場登録者、約15万件に向けて配信、本年度は HTML メールを含め24件のメール配信を行いました。

(12) CEATEC ニュース

CEATEC JAPAN のみどころや、出展者情報など話題性の高い情報を全138件配信しました。

(13) PR ツール（印刷物）の作成

① DM 招待券（和英）・封筒を作成し、出展者・主催団体・関係団体・メディアを中心に広く配布しました。

②コンファレンスプログラム／会場案内図（和英）を作成し、会期中を通じ、全来場者に向けて配布しました。

CEATEC JAPAN 公式 Website

年間を通じて様々な情報をリアルタイムにお伝えしました。各種プレスリリースや必要アイテム・情報を集約し、開催にあたっては、来場者入場事前登録、コンファレンス聴講予約の機能を付加しました。出展者各社見どころの更新、CEATEC ニュース記事のアップ、出展者プレスリリースの掲載、各種企画の案内などの各種来場者向け情報発信を効果的に行い大変多くの方に閲覧いただいています。

■セッション

999,891（前年比115%）　（2014 7/1～2014 10/31）

※「セッション」は、Website に訪問・接続・ログインしたユーザーが、サイト内を閲覧し、離脱・切断・ログオフするまでの、一連の行動をまとめたものをいいます。セッションはブラウザが閉じられたり一定時間反応がないと終了します。同義として「ビジット数」「訪問数」とも呼ばれます。

■ CEATEC ニュース 記事掲載数

記事（日本語）：**109** 件　記事（英語）：**29** 件

■ CEATEC TV

YouTube などに各社出展ブース情報を集約し、国内外への情報発信力を強めました。
協力：アイティメディア（株）

動画件数 **32** 件
※2014 12/5現在

■ CEATEC JAPAN 2014特設サイトリンク集

掲載リンク数：**24** 件　合計クリック数：**12,101** 回

出展各社の CEATEC JAPAN 2014特設サイトを公式 Website で紹介。 効果的な情報発信を促進し、相乗効果を生みました。

■ソーシャルネットワーク対応

◆ CEATEC JAPAN 公式 Facebook

「いいね」数 **6,344** 件（前年比131%）

※2014 12/5現在

◆ CEATEC JAPAN 公式 Twitter

フォロワー数 **2,975** 件（前年比114%）
関連つぶやき件数 **30,257** 件

※2014 09/01～2014 10/31

※つぶやき内に、「CEATEC」「ceatec」または「シーテック」を含むもの

開　催　概　要

Exhibit Outline

名　称

CEATEC JAPAN 2014　シーテック ジャパン 2014
（**C**ombined **E**xhibition of **A**dvanced **Tec**hnologies）

開催趣旨

▶通信・情報・映像が融合したデジタルネットワーク時代を反映した、最新の技術・製品・システム・ソフトを一堂に集め、その成果を情報発信する。
▶各分野ごとに最新成果や最新動向を発信することにより専門性を発揮し、各ユーザの関心・期待・ニーズに応える。
▶通信・情報・映像分野における日本、アジア最大の情報発信・交流メディアとして、グローバルレベルの最新成果、最新動向、活力を世界に発信する。
▶関連産業界が一丸となって広く社会に問いかけ、産業の一層の進展と社会貢献を促すとともに、デジタルネットワーク時代における生活文化、経済、社会の発展に貢献する。

会　期

2014年10月7日（火）～11日（土）午前10時～午後5時

会　場

幕張メッセ　千葉市美浜区中瀬2-1

入　場

全来場者登録入場制
▶当日登録：入場料 一般1,000円・学生500円（学生20名以上の団体および小学生以下は入場無料）
▶Web 事前登録者・招待券持参による当日登録者：入場無料
▶無料公開日（10月11日）：入場無料（18才以上は入場登録が必要）

主　催

CEATEC JAPAN 実施協議会
▶一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会（CIAJ）
▶一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）
▶一般社団法人コンピュータソフトウェア協会（CSAJ）

後　援

▶総務省、外務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省（建制順）
▶独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）／独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）／独立行政法人産業技術総合研究所／独立行政法人情報通信研究機構（NICT）／独立行政法人情報処理推進機構（IPA）／独立行政法人中小企業基盤整備機構／日本政府観光局（JNTO）
▶千葉県／千葉市
▶日本放送協会／一般社団法人日本民間放送連盟
▶一般社団法人日本経済団体連合会／日本商工会議所／東京商工会議所／千葉商工会議所
▶米国大使館商務部／駐日欧州連合代表部／英国大使館貿易・対英投資部／カナダ大使館／フランス大使館企業振興部―ユビフランス

（順不同）

協賛団体

▶一般社団法人電気通信事業者協会／一般社団法人電気通信協会／一般財団法人インターネット協会／一般社団法人情報通信技術委員会／一般財団法人日本情報経済社会推進協会／一般社団法人IT 検証産業協会／一般社団法人コンピュータ教育振興協会
▶一般社団法人電波産業会／一般社団法人衛星放送協会／一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟／一般社団法人日本 CATV 技術協会
▶全国家電流通協議会／全国電機商業組合連合会／全国電子部品流通連合会／一般社団法人日本コンピュータシステム販売店協会／日本電子機器輸入協会
▶一般社団法人日本電機工業会／一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会／一般社団法人日本オーディオ協会／一般社団法人日本医療機器工業会／一般社団法人日本電気計測器工業会／一般社団法人日本電気制御機器工業会／一般社団法人カメラ映像機器工業会／一般社団法人組込みシステム技術協会／一般社団法人日本電子回路工業会
▶一般社団法人日本自動車工業会／特定非営利活動法人 ITS Japan／一般社団法人日本自動車部品工業会
▶電気事業連合会／一般財団法人新エネルギー財団／一般財団法人省エネルギーセンター／一般社団法人日本電気協会／一般社団法人電池工業会／一般社団法人太陽光発電協会／一般社団法人日本風力発電協会／一般社団法人ソーラーシステム振興協会
▶一般社団法人住宅生産団体連合会／一般社団法人日本機械工業連合会／一般社団法人日本ロボット工業会／一般社団法人日本冷凍空調工業会
▶一般財団法人デジタルコンテンツ協会／一般社団法人日本映像ソフト協会／一般社団法人日本書籍出版協会／一般社団法人日本レコード協会

（順不同）

協賛学会

▶一般社団法人映像情報メディア学会／公益社団法人応用物理学会／一般社団法人画像電子学会／一般社団法人情報処理学会／一般社団法人電気学会／一般社団法人電子情報通信学会

（五十音順）

グローバル パートナー

▶ Consumer Electronics Association（CEA）/ International CES（USA）
▶ Messe Berlin / IFA（Germany）
▶ Messe München International / electronica（Germany）, electronica & Productronica China（China）
▶ Hanover Fairs / CeBIT（Germany）

（順不同）

アジアパートナー

▶ China Council for the Promotion of International Trade, Electronics & Information Industry Sub-Council（CCPIT ECC）
▶ China Electronic Chamber of Commerce（CECC）
▶ China International Software & Information Service Center（CiSiS）
▶ The Hong Kong Electronic Industries Association（HKEIA）
▶ Taiwan External Trade Development Council（TAITRA）

（アルファベット順）

Asia Electronics Exhibition Cooperate Conference（AEECC ※）メンバー
▶ China Electronic Appliance Corporation（CEAC）
▶ Hong Kong Trade Development Council（HKTDC）
▶ Korea Electronics Association（KEA）
▶ Taiwan Electrical and Electronic Manufacturers' Association（TEEMA）

※ Asia Electronics Exhibition Cooperate Conference（AEECC）は1997年に組織され、各国・地域で開催している展示会間の PR・広報協力などに関して相互協力関係を構築しています。

（アルファベット順）

運　営

CEATEC JAPAN 運営事務局
（一般社団法人日本エレクトロニクスショー協会）
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービル5階
電話：（03）6212-5233　FAX：（03）6212-5226

CEATEC JAPAN 2014閉幕に際して

CEATEC JAPAN2014の5日間、全ての会期が終了し、無事に閉幕の運びとなりました。
これも一重に、ご出展各位と、関係各方面のご支援、ご協力の賜物と、心より感謝申し上げます。
本年は、「NEXT- 夢を生みだし、未来を描け」をテーマに、日本および、世界24カ国･地域から547社の出展をいただき、開催期間中には、150,912名（2013年比9,564人増、同6.8% 増）と、大変、多くの皆様にご来場いただきました。
今回の CEATEC JAPAN も皆様のご尽力により、あたらしいライフスタイルを彩る多様な IT･エレクトロニクス技術と、それを支える最先端の電子部品･デバイスが一堂に会し、国内外の幅広いユーザ等に効果的に情報発信をすることができました。
IT･エレクトロニクス産業は、近年、自動車やヘルスケア、インフラやエネルギー、農業など、生活や産業のあらゆる分野においてイノベーションを牽引する存在になっています。
日本が真に活性化するためには、“ 既存のプレイヤーが元気になる ” ということに加え “ 新たなプレイヤーが芽吹き、社会が変わっていく ” ということが必要不可欠と考えます。
CEATEC JAPAN は、今後もイノベーティブな未来を創り出そうとするプレイヤーが一堂に会するプラットフォームとなり、多種多様な交流の産物として、新たなビジネスを生む場となることを目指してまいります。
会期中には、「CEATEC AWARD 2014」および、「米国メディアパネル･イノベーションアワード」の各賞も次々と発表され、CEATEC JAPAN と共に、更に世界的に紹介されることが見込まれます。
本年の CEATEC JAPAN は、IT･エレクトロニクス産業から派生する様々な産業との関わりの深化が、業界内外においても具体的に、見えた開催であったといえます。
常に時代を先取りし、最新･最先端を発信する CEATEC JAPAN は、この時代の変化を確実に捉え、技術･製品･サービスのイノベーションと市場の創造･拡大･活性化に貢献する場であり続けるために、より一層の努力を続けてまいります。
出展各位、関係各位のご尽力にあらためて敬意を表し、深く感謝申し上げるとともに、次回も変わらぬお力添えを賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

CEATEC JAPAN 2014
実行委員会　委員長　園原　茂

CEATEC JAPAN 2014 実施報告書　2014年12月発行　編集：CEATEC JAPAN 運営事務局（一般社団法人日本エレクトロニクスショー協会）〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービル　電話：(03)6212-5233　FAX：(03)6212-5226　www.ceatec.com